

盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅷ

—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡平成22～24年度発掘調査①—

台太郎遺跡

飯岡沢田遺跡

夕覚遺跡

2016.9

独立行政法人 都市再生機構

盛岡市・盛岡市教育委員会

盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅷ

—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡平成22～24年度発掘調査①—

台太郎遺跡

飯岡沢田遺跡

夕覚遺跡

2016.9

独立行政法人 都市再生機構

盛岡市・盛岡市教育委員会

序

盛岡市は、東北地方の東部を南北に縦断する北上川と、その支流である雫石川・中津川が合流する地点に中心市街地が形成され、北に雄大な岩手山と姫神山を望む、岩手県の県庁所在地です。その都市骨格は、約400年前に戦国大名南部氏により築城された総石垣の盛岡城を中心とした城下町であり、藩政そして県政の中心として、また交通の要衝として栄えてきました。

近年の盛岡市は、平成4年4月に南に隣接する都南村と、平成18年1月に北に隣接する玉山村と合併し、人口約30万人、面積約886平方キロメートルという北東北の拠点都市となるとともに、平成20年4月には中核市へ移行しました。

この中心市街地の南西部、雫石川の南に広がる田園地帯に職住近接の新市街地を形成しようというのが「盛南開発構想」で、全体計画の約7割にあたる313.5ヘクタールを整備するのが「盛岡南新都市開発整備事業」です。事業主体は独立行政法人都市再生機構（旧地域振興整備公団）で、平成3年12月に事業認可、土地区画整理事業の整備手法により平成7年11月より着工され、平成25年10月に事業が完了しました（愛称「ゆいとびあ盛南」）。

この事業に伴い、当該区域内に所在する埋蔵文化財包蔵地17遺跡、計約90ヘクタールのうち、整備工事によって消滅を余儀なくされる遺跡の発掘調査を、平成5年度から当市教育委員会と公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが行い、平成24年度に野外調査を完了したところであります。

本報告書は、当市教育委員会が平成22年度から24年度に実施した発掘調査のうち、台太郎遺跡ほか計3遺跡の調査成果について報告するものです。市民の皆様をはじめ、各学校や教育機関・研究者等の方々に、当該地域の歴史を知るための資料としてご活用いただければ幸いと存じます。

最後になりましたが、発掘調査を実施するにあたり、多大なるご協力やご指導を賜りました都市再生機構岩手都市開発事務所ならびに岩手県教育委員会生涯学習文化課、公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターに対し深く感謝申し述べると共に、発掘調査にご理解とご協力をいただきました地権者各位ならびに地元関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

平成28年9月

盛岡市教育委員会

教育長 千葉 仁一

例 言

1 本書は、岩手県盛岡市本宮・向中野・南仙北・飯岡新田に所在する盛南地区遺跡群において、「盛岡南新都市開発整備事業（通称：盛南開発）」及び関係事業に伴い平成22年度から24年度に実施した発掘調査の報告書である。なお、「盛南地区遺跡群」の名称については、事業区域内に所在する計17遺跡を包括する総称として使用し、本書ではそのうち台太郎遺跡・飯岡沢田遺跡・夕覚遺跡の調査成果を報告する。

2 本書の編集及び刊行事務は盛岡市遺跡の学び館が行い、編集・執筆作業を津嶋知弘が担当した。

3 遺構平面位置は、日本測地系 平面直角座標 X系を座標変換した調査座標で表示した。

・調査座標軸は、日本測地系第 X系に準じる

・調査座標原点

台太郎遺跡 X -35,500 Y +26,500 → R X ±0 R Y ±0

飯岡沢田遺跡 X -35,550 Y +25,750 → R X ±0 R Y ±0

夕覚遺跡 X -35,000 Y +26,000 → R X ±0 R Y ±0

4 高さは、標高値をそのまま使用した。

5 土層断面図は堆積のしかたを重視し、線の太さを使い分けた。層相の観察にあたっては『新版標準土色帖』（農林水産省農林水産技術会議事務局監修）を使用した。

層名の記号は次のとおりとした。

記 号	
遺構内堆積土	A～I 層
カマド崩壊土	J 層
カマド構築土	K 層
床構築土	L 層
地形堆積土（遺物包含層含む）	I（ローマ数字）～層

6 遺構記号は次のとおりとした。




記 号			
竪穴建物跡	RA	溝跡・堀跡	RG
掘立柱建物跡	RB	配石・集石遺構	RH
掘立柱柱列跡	RC	井戸跡	RI
土坑	RD	土器埋設	RP
竪穴状遺構	RE	古墳・円形周溝ほか	RX
焼土遺構	RF	土坑墓ほか	RZ

7 「竪穴建物跡」は、従来「竪穴住居跡」と呼称されてきたものであるが、文化庁文化財部記念物課監修『発掘調査のてびき』（2010）での定義に従い、名称変更している。

8 遺構番号は、県埋文センター調査遺構番号との整合を図りつつ、資料整理の便宜上から以下のとおりとした。

本調査精査遺構：3桁または4桁の遺跡内連続番号（基本的に県埋文センター調査遺構番号に連続）

9 遺構平面図の線種は次のとおりとした。

検出	実線 
推定	破線 
時期差	一点鎖点 

- 10 古代の竪穴建物跡のカマド方向は、カマド本体中心（炊き口）から煙道先端（煙出し）を結んだ線の方向の傾きとした。
- 11 古代の土器区分は、土師器・須恵器・あかやき土器に分類した。「あかやき土器」の名称は、ロクロ使用の酸化煙焼成土器（坏類，甕類，鉢）に使用し，ロクロ使用の内面黒色処理の坏類は土師器に分類した。
- 12 古代の土器の実測図作成については，坏類は口縁部残存1/4以上かつ底部まで残存するもの，甕類は口縁部残存1/4以上かつ体部まで残存するものを基本とし，必要に応じて破片実測も行った。また拓本は，須恵器甕類のタタキ目等器面調整が確認できるものとした。
- 13 出土遺物の実測図化・トレースは，（株）タックエンジニアリングに委託した。
- 14 出土遺物の写真撮影は，津嶋知弘が行った。
- 15 発掘調査に伴う出土遺物及び諸記録は，盛岡市遺跡の学び館で保管している。
- 16 当該調査の一部については，現地説明会資料等により報告しているものもあるが，本書の記載内容をもって訂正する。

「盛岡南新都市開発整備事業」及び関係事業に係る発掘調査報告書（平成27（2015）年度末現在）

〈公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター（本報告）〉

- 1995年3月『本宮熊堂B遺跡第1次発掘調査報告書—盛南開発事業関連遺跡発掘調査—』第226集
- 1996年3月『小幅遺跡第2次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業—』第244集
- 1996年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成7年度）』第246集〔小幅遺跡6次〕
- 1996年11月『小幅遺跡第4次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第265集
- 1997年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成8年度）』第266集〔宮沢遺跡4次，本宮熊堂A遺跡7次〕
- 1998年3月『小幅遺跡第5次・第7次発掘調査報告書—盛岡西バイパス建設事業関連発掘調査—』第267集
- 1998年3月『大宮北遺跡・本宮熊堂A遺跡発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第281集
〔大宮北遺跡4次，本宮熊堂A遺跡6次〕
- 1998年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成9年度）』第282集〔稲荷遺跡3次，野古A遺跡9次・10次〕
- 1999年3月『熊堂B遺跡第5次・台太郎遺跡第16次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第293集
- 1999年1月『本宮熊堂B遺跡第4次・鬼柳A遺跡第4次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第308集
- 1999年3月『台太郎遺跡第15次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第309集
- 1999年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成10年度）』第311集〔飯岡才川遺跡2次〕
- 2000年1月『向中野館遺跡第3次・小幅遺跡第10次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第338集
- 2000年3月『向中野館遺跡第4次・小幅遺跡第11次・台太郎遺跡第19次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第321集
- 2000年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成11年度）』第340集〔小幅遺跡13次・14次〕
- 2001年3月『台太郎遺跡第22次発掘調査報告書—盛岡東警察署警察官待機宿舎建設事業関連発掘調査—』第365集
- 2001年3月『台太郎遺跡第18次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第369集
- 2002年11月『台太郎遺跡第26次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第416集
- 2002年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成12年度）』第370集〔鬼柳A遺跡7次，本宮熊堂B遺跡9次・11次，
小幅遺跡15次・16次，飯岡才川遺跡4次〕
- 2002年2月『熊堂B遺跡第10次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第377集
- 2002年3月『飯岡才川遺跡第3次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第393集
- 2002年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成13年度）』第397集〔台太郎遺跡36次，細谷地遺跡6次〕
- 2003年3月『台太郎遺跡第23次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第415集
- 2003年3月『台太郎遺跡第35次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第417集
- 2003年3月『台太郎遺跡第44次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第422集
- 2003年3月『細谷地遺跡発掘調査報告書—第4・5次調査—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第414集
- 2003年3月『飯岡沢田遺跡第3次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第418集
- 2003年3月『飯岡沢田遺跡第5次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第419集
- 2003年3月『野古A遺跡第12次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第420集
- 2003年3月『野古A遺跡第15次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第421集
- 2003年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成14年度）』第423集〔矢盛遺跡4次，稲荷遺跡5次〕
- 2004年2月『矢盛遺跡第3次・熊堂B遺跡発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第451集
- 2004年3月『本宮熊堂A遺跡第17次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第453集
- 2004年3月『細谷地遺跡第8次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第454集

2004年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成15年度）』第455集〔稲荷遺跡6次、本宮熊堂B遺跡19次、台太郎遺跡50次・52次、野古A遺跡19次・20次、飯岡才川遺跡5次・6次、細谷地遺跡7次〕

2004年12月『本宮熊堂B遺跡第13・15・20次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第467集

2005年2月『本宮熊堂B遺跡第18次発掘調査報告書—国道46号盛岡西バイパス建設事業関連遺跡発掘調査—』第458集

2005年2月『台太郎遺跡第51次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第468集

2005年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成16年度）』第469集〔稲荷遺跡8・9次、台太郎遺跡53次、矢盛遺跡5次〕

2005年12月『矢盛遺跡第6次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第488集

2006年2月『飯岡沢田遺跡第9・10次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第489集

2006年2月『本宮熊堂A遺跡第24次・本宮熊堂B遺跡第25次発掘調査報告書—一般国道46号盛岡西バイパス建設事業関連遺跡発掘調査—』第470集

2006年3月『台太郎遺跡第54次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第486集

2006年3月『本宮熊堂B遺跡第27次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第487集

2006年3月『平成17年度発掘調査報告書』第490集〔宮沢遺跡11次、本宮熊堂B遺跡30次・31次〕

2007年2月『飯岡才川遺跡第8・9次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第494集

2007年3月『細谷地遺跡第9次・第10次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第500集

2007年2月『野古A遺跡第23・24・29次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第501集

2007年3月『本宮熊堂A遺跡第26・29次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第502集

2007年3月『向中野館遺跡第5・6次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第503集

2007年2月『向中野館遺跡第7・8次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第504集

2008年1月『飯岡才川遺跡第12次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第515集

2008年1月『矢盛遺跡第10・11次・向中野館遺跡第9次・台太郎遺跡第58次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第516集

2008年2月『飯岡才川遺跡第7・13次・細谷地遺跡第12次・矢盛遺跡第9次発掘調査報告書—一般国道46号盛岡西バイパス建設事業関連遺跡発掘調査—』第508集

2008年2月『細谷地遺跡第13次・第14次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第513集

2008年2月『細谷地遺跡第15次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第514集

2008年3月『平成19年度発掘調査報告書』第524集〔細谷地遺跡18次、矢盛遺跡14次〕

2009年2月『矢盛遺跡第12・13次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第534集

2009年2月『細谷地遺跡第16・17次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第535集

2009年3月『平成20年度発掘調査報告書』第546集〔飯岡才川遺跡15次、矢盛遺跡20次、焼野遺跡1・2次〕

2009年12月『矢盛遺跡第18・19次発掘調査報告書—盛岡南新都市土地区画整理事業関連遺跡発掘調査—』第555集

2010年2月『細谷地遺跡第19・20次発掘調査報告書—盛岡南新都市土地区画整理事業関連遺跡発掘調査—』第556集

2010年3月『向中野館遺跡第10・11次発掘調査報告書—盛岡南新都市土地区画整理事業関連遺跡発掘調査—』第557集

2010年3月『平成21年度発掘調査報告書』第571集〔矢盛遺跡25・26次〕

2011年3月『細谷地遺跡第24・25次 向中野館遺跡第12・13次発掘調査報告書—盛岡南新都市土地区画整理事業関連遺跡発掘調査—』第577集

2011年2月『矢盛遺跡第23・24次発掘調査報告書—盛岡南新都市土地区画整理事業関連遺跡発掘調査—』第578集

2011年3月『台太郎遺跡第66次発掘調査報告書—盛岡南新都市土地区画整理事業関連遺跡発掘調査—』第579集

2011年2月『飯岡才川遺跡第16次発掘調査報告書—盛岡南新都市土地区画整理事業関連遺跡発掘調査—』第580集

2012年3月『矢盛遺跡第27次・野古A遺跡第30次発掘調査報告書—盛岡南新都市土地区画整理事業関連遺跡発掘調査—』第594集

2012年3月『細谷地遺跡第26次発掘調査報告書—盛岡南新都市土地区画整理事業関連遺跡発掘調査—』第595集

2012年3月『平成23年度発掘調査報告書』第603集〔矢盛遺跡29次〕

2013年3月『飯岡才川遺跡第17～19次発掘調査報告書—盛岡南新都市土地区画整理事業関連遺跡発掘調査—』第618集

〈盛岡市教育委員会〉

1998年3月『盛岡市埋蔵文化財調査年報—平成5・6年度—』〔南仙北遺跡12・13・14次〕

2002年3月『盛岡市内遺跡群—平成13年度発掘調査報告—』〔台太郎遺跡40・41次〕

2005年3月『盛岡市内遺跡群—平成15年度・16年度発掘調査報告—』〔台太郎遺跡55次〕

2007年3月『盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅰ—盛岡南新都市開発整備事業平成5～12年度発掘調査①—大宮北遺跡・小幡遺跡・宮沢遺跡・鬼柳A遺跡—』〔大宮北遺跡8・9次，小幡遺跡8・12・17次，宮沢遺跡5次，鬼柳A遺跡5次〕

2008年3月『盛岡市内遺跡群—平成18・19年度発掘調査報告—』〔大宮北遺跡11・13次〕

2009年3月『盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅱ—盛岡南新都市開発整備事業平成5～12年度発掘調査②—稲荷遺跡・本宮熊堂A遺跡・本宮熊堂B遺跡・野古A遺跡・飯岡沢田遺跡・飯岡才川遺跡・向中野館遺跡・細谷地遺跡・矢盛遺跡・南仙北遺跡—』〔稲荷遺跡1・1次補足，本宮熊堂A遺跡2・2次補足，本宮熊堂B遺跡3・3次補足・8・11次，飯岡沢田遺跡1・2次，飯岡才川遺跡1次，向中野館遺跡1・2次，細谷地遺跡2次，矢盛遺跡2次，南仙北遺跡15～17・22～24・27・28・30～32・35次〕

2010年11月『盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅲ—盛岡南新都市開発整備事業平成5～12年度発掘調査③—台太郎遺跡—』〔台太郎遺跡9～14・17・20・21・24・25・27～34次〕

2012年5月『台太郎遺跡—「フローラルアベニュー向中野」宅地造成に伴う緊急発掘調査報告書—』〔台太郎遺跡73次〕

2012年9月『盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅳ—盛岡南新都市開発整備事業平成13～18年度発掘調査①—台太郎遺跡—』〔台太郎遺跡37～39・42・43・45～49・56・57次〕

2014年1月『盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅴ—盛岡南新都市開発整備事業平成13～18年度発掘調査②—大宮北遺跡・小幡遺跡・宮沢遺跡・鬼柳A遺跡・稲荷遺跡・本宮熊堂A遺跡・本宮熊堂B遺跡・野古A遺跡—』〔大宮北遺跡10次，小幡遺跡18・21・22次，宮沢遺跡6～10・12次，鬼柳A遺跡8次，稲荷遺跡4・7・10～12次，本宮熊堂A遺跡16・22次，本宮熊堂B遺跡21・23・28次，野古A遺跡13・14・16～18・21・22・25～28次〕

2014年3月『盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅵ—盛岡南新都市開発整備事業平成13～18年度発掘調査③—飯岡沢田遺跡・飯岡才川遺跡・細谷地遺跡・矢盛遺跡・南仙北遺跡—』〔飯岡沢田遺跡4・6～8・11次，飯岡才川遺跡10・11次，細谷地遺跡11次，矢盛遺跡7・8次，南仙北遺跡37～39次〕

2014年3月『台太郎遺跡—株式会社クリナップ盛岡営業所建設工事に伴う緊急発掘調査報告書—』〔台太郎遺跡77次〕

2014年9月『盛岡市内遺跡群—平成24・25年度発掘調査報告書—』〔台太郎遺跡78・79次〕

2015年3月『盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅶ—盛岡南新都市開発整備事業平成19～21年度発掘調査①—大宮北遺跡・小幡遺跡・宮沢遺跡・本宮熊堂B遺跡・台太郎遺跡・飯岡沢田遺跡・飯岡才川遺跡・細谷地遺跡・矢盛遺跡・夕覚遺跡—』〔大宮北遺跡11～14・15次，小幡遺跡23次，宮沢遺跡13次，本宮熊堂B遺跡32・33次，台太郎遺跡59～65・67～70次，飯岡沢田遺跡12次，飯岡才川遺跡14次，細谷地遺跡21～23次，矢盛遺跡15～17・21・22次，夕覚遺跡1～6次〕

2015年9月『台太郎遺跡—「フローラルアベニュー向中野2丁目」宅地造成に伴う緊急発掘調査報告書—』〔台太郎遺跡80次〕

目次

第1章 経過

第1節 調査の経過	1
第2節 発掘調査作業の経過	2
第3節 資料整理作業の経過	2
第4節 体制	3

第2章 遺跡群の位置と環境

第1節 地理的環境	5
第2節 歴史的環境	6

第3章 調査成果

第1節 台太郎遺跡（第71・72・74～76調査）	10
第2節 飯岡沢田遺跡（第13次調査）	22
第3節 夕覚遺跡（第7・10次調査）	25

第4章 総括

1 調査のまとめ	27
----------------	----

表

遺構図版

遺物図版

写真図版

報告書抄録

表 目 次

挿表1	盛南地区遺跡群調査一覧表〔平成22～24年度〕	2
挿表2	盛南地区遺跡群所在地住居表示整備一覧表	7
挿表3	古代竪穴建物跡一覧表	26
第1表	台太郎遺跡第74次調査Ⅰ区竪穴建物跡主柱穴規模等一覧表	33
第2表	台太郎遺跡第74次調査Ⅱ区竪穴建物跡主柱穴規模等一覧表	33
第3表	台太郎遺跡第74次調査Ⅲ区竪穴建物跡主柱穴規模等一覧表	33
第4表	飯岡沢田遺跡第13次調査竪穴建物跡主柱穴規模等一覧表	33
第5表	台太郎遺跡第72次調査ピット計測表	34
第6表	台太郎遺跡第74次調査Ⅰ区ピット計測表	34
第7表	台太郎遺跡第74次調査Ⅱ区ピット計測表	35
第8表	台太郎遺跡第74次調査Ⅲ区ピット計測表	35
第9表	台太郎遺跡第72次調査遺構土層観察表	36
第10表	台太郎遺跡第74次調査Ⅰ区遺構土層観察表(1)	37
第11表	台太郎遺跡第74次調査Ⅰ区遺構土層観察表(2)	38
第12表	台太郎遺跡第74次調査Ⅰ区遺構土層観察表(3)	39
第13表	台太郎遺跡第74次調査Ⅱ区遺構土層観察表	40
第14表	台太郎遺跡第74次調査Ⅲ区遺構土層観察表(1)	41
第15表	台太郎遺跡第74次調査Ⅲ区遺構土層観察表(2)	42
第16表	飯岡沢田遺跡第13次調査遺構土層観察表(1)	43
第17表	飯岡沢田遺跡第13次調査遺構土層観察表(2)	44
第18表	台太郎遺跡第72次調査出土土器観察表	45
第19表	台太郎遺跡第74次調査Ⅰ区出土土器観察表	45
第20表	台太郎遺跡第74次調査Ⅱ区出土土器観察表	46
第21表	台太郎遺跡第74次調査Ⅲ区出土土器観察表	46
第22表	台太郎遺跡第74次調査Ⅰ区出土中世陶器観察表	46
第23表	台太郎遺跡第74次調査Ⅰ区・Ⅲ区出土土製品・石製品・鉄製品観察表	47
第24表	飯岡沢田遺跡第13次調査出土土器観察表	47

目 次

挿図1	盛南地区遺跡群位置図	8	第21図	台太郎遺跡第74次調査Ⅰ区	
挿図2	遺跡位置図	9		RG424堀跡, RG475溝跡, ピット	80
第1図	台太郎遺跡全体図	51	第22図	台太郎遺跡第74次調査Ⅰ区RG424堀跡,	
第2図	飯岡沢田遺跡・飯岡才川遺跡全体図	55		RG597方形周溝, RG475・612溝跡, ピット	81
第3図	夕覚遺跡全体図	59	第23図	台太郎遺跡第74次調査Ⅱ区全体図	82
第4図	台太郎遺跡第72次調査区全体図	63	第24図	台太郎遺跡第74次調査Ⅱ区	
第5図	台太郎遺跡第72次調査Ⅰ区全体図	64		RA666竪穴建物跡	83
第6図	台太郎遺跡第72次調査Ⅰ区		第25図	台太郎遺跡第74次調査Ⅱ区	
	RA652竪穴建物跡(1)	65		RG273堀跡, RG497・613溝跡, ピット	84
第7図	台太郎遺跡第72次調査Ⅰ区		第26図	台太郎遺跡第74次調査Ⅱ区	
	RA652竪穴建物跡(2)	66		RD2173土坑, RG273・461溝跡, ピット	85
第8図	台太郎遺跡第72次調査Ⅰ区		第27図	台太郎遺跡第74次調査Ⅲ区全体図	86
	RE086竪穴状遺構	67	第28図	台太郎遺跡第74次調査Ⅲ区	
第9図	台太郎遺跡第72次調査Ⅰ区			RA667竪穴建物跡(1)	87
	RE085竪穴状遺構, RD2137土坑	68	第29図	台太郎遺跡第74次調査Ⅲ区	
第10図	台太郎遺跡第72次調査Ⅰ区			RA667竪穴建物跡(2)	88
	RD2138~2141土坑	69	第30図	台太郎遺跡第74次調査Ⅲ区	
第11図	台太郎遺跡第72次調査Ⅰ区			RD2174~2178土坑	89
	RG602~605溝跡, ピット	70	第31図	台太郎遺跡第74次調査Ⅲ区	
第12図	台太郎遺跡第74次調査Ⅰ区全体図	71		RG461堀跡, ピット	90
第13図	台太郎遺跡第74次調査Ⅰ区		第32図	台太郎遺跡第74次調査Ⅲ区	
	RA661竪穴建物跡	72		RG461堀跡, RG402溝跡, ピット(1)	91
第14図	台太郎遺跡第74次調査Ⅰ区		第33図	台太郎遺跡第74次調査Ⅲ区	
	RA662竪穴建物跡	73		RG461堀跡, RG401溝跡, ピット(2)	92
第15図	台太郎遺跡第74次調査Ⅰ区		第34図	飯岡沢田遺跡第13次調査区全体図	93
	RA663竪穴建物跡	74	第35図	飯岡沢田遺跡第13次調査区北部全体図	94
第16図	台太郎遺跡第74次調査Ⅰ区		第36図	飯岡沢田遺跡第13次調査区南部全体図	95
	RA664竪穴建物跡	75	第37図	飯岡沢田遺跡第13次調査	
第17図	台太郎遺跡第74次調査Ⅰ区			RA032竪穴建物跡(1)	96
	RA665竪穴建物跡	76	第38図	飯岡沢田遺跡第13次調査	
第18図	台太郎遺跡第74次調査Ⅰ区			RA032竪穴建物跡(2)	97
	RD2168・2170~2172土坑	77	第39図	飯岡沢田遺跡第13次調査RA033竪穴建物跡	98
第19図	台太郎遺跡第74次調査Ⅰ区		第40図	飯岡沢田遺跡第13次調査	
	RD2163~2167・2169土坑	78		RE007竪穴状遺構, RD162・163土坑	99
第20図	台太郎遺跡第74次調査Ⅰ区RG424堀跡,		第41図	飯岡沢田遺跡第13次調査RD164~167土坑	100
	RG597方形周溝, RG612溝跡, ピット	79	第42図	飯岡沢田遺跡第13次調査RD168~172土坑	101
			第43図	飯岡沢田遺跡第13次調査RG023・024溝跡	102

第44図	台太郎遺跡第72次調査RA652出土土器 (1) …	105
第45図	台太郎遺跡第72次調査RA652出土土器 (2) …	106
第46図	台太郎遺跡第72次調査RD2140出土土器 ……	107
第47図	台太郎遺跡第74次調査 I 区RA661出土土器 …	108
第48図	台太郎遺跡第74次調査 I 区RA662出土土器 …	109
第49図	台太郎遺跡第74次調査 I 区RA664出土土器 …	110
第50図	台太郎遺跡第74次調査 I 区 RA663・665, RD2163, ピット出土土器 ……	111
第51図	台太郎遺跡第74次調査 II 区 RA666, RG273・461, ピット出土土器 ……	112
第52図	台太郎遺跡第74次調査 III 区RA667出土土器 …	113
第53図	台太郎遺跡第74次調査 III 区 RA667, RD2175出土土器 ……	114
第54図	台太郎遺跡第74次調査 I 区・III 区出土 土製品・石製品・鉄製品 ……	115
第55図	台太郎遺跡第74次調査 I 区出土中世陶器 ……	115
第56図	飯岡沢田遺跡第13次調査RA032出土土器 ……	116
第57図	飯岡沢田遺跡第13次調査 RA033, RD162出土土器 ……	117

写真図版目次

第1図版	盛南開発地区航空写真 ……………121	第13図版	台太郎遺跡第74次調査Ⅱ区(3) ……………133 RG273・461堀跡 RG273堀跡北部D2層かわらけ出土状況 RG273堀跡北端部土層断面 RG273堀跡中央部土層断面 RG273堀跡南端部土層断面 RG461堀跡, RG461堀跡西部土層断面
第2図版	台太郎遺跡第72次調査(1) ……………122 調査区全景	第14図版	台太郎遺跡第74次調査Ⅲ区(1) ……………134 調査区北部全景 調査区南部全景
第3図版	台太郎遺跡第72次調査(2) ……………123 RA652竪穴建物跡 遺物出土状況 土師器球胴甕出土状況	第15図版	台太郎遺跡第74次調査Ⅲ区(2) ……………135 RA667竪穴建物跡 主柱穴位置, カマドと煙道 p4底面柱圧痕, 貯蔵穴付近土器出土状況
第4図版	台太郎遺跡第74次調査Ⅰ区(1) ……………124 調査区全景	第16図版	台太郎遺跡第74次調査Ⅲ区(3) ……………136 RA667竪穴建物跡床面出土布状製品 p4出土石製紡錘車 床面出土土製勾玉 床面出土土玉, 床面出土環状石製品
第5図版	台太郎遺跡第74次調査Ⅰ区(2) ……………125 調査区全景	第17図版	台太郎遺跡第74次調査Ⅲ区(4) ……………137 調査区南東部土坑墓群, RD2174土坑墓 RD2175土坑墓, RD2176土坑墓 RG461S堀跡, RG461S堀跡土層断面 RG461N堀跡
第6図版	台太郎遺跡第74次調査Ⅰ区(3) ……………126 RA661竪穴建物跡 カマドと煙道, 土師器球胴甕出土状況	第18図版	飯岡沢田遺跡第13次調査(1) ……………138 調査区北部全景
第7図版	台太郎遺跡第74次調査Ⅰ区(4) ……………127 RA662竪穴建物跡 カマドと煙道, 土器出土状況	第19図版	飯岡沢田遺跡第13次調査(2) ……………139 調査区北部全景
第8図版	台太郎遺跡第74次調査Ⅰ区(5) ……………128 RA664竪穴建物跡 カマドと煙道, 繊維状炭化物	第20図版	飯岡沢田遺跡第13次調査(3) ……………140 RA032竪穴建物跡 カマドと煙道, 遺物出土状況 煙道底面土器出土状況, 土師器坏出土状況
第9図版	台太郎遺跡第74次調査Ⅰ区(6) ……………129 RA663竪穴建物跡 RA665竪穴建物跡	第21図版	飯岡沢田遺跡第13次調査(4) ……………141 RA033竪穴建物跡, カマドと煙出し RD162土坑, 遺物出土状況
第10図版	台太郎遺跡第74次調査Ⅰ区(7) ……………130 RG424W堀跡北部土層断面 RG424W堀跡南部土層断面 RG424E堀跡土層断面		
第11図版	台太郎遺跡第74次調査Ⅱ区(1) ……………131 調査区全景		
第12図版	台太郎遺跡第74次調査Ⅱ区(2) ……………132 RA666竪穴建物跡 須恵器坏出土状況 鉄製品出土状況		

第22図版	飯岡沢田遺跡第13次調査 (5) ……………142 調査区南部全景 RD165～169土坑
第23図版	台太郎遺跡出土遺物 (1) ……………143 第72次調査RA652出土土器
第24図版	台太郎遺跡出土遺物 (2) ……………144 第74次調査 I 区RA661出土土器
第25図版	台太郎遺跡出土遺物 (3) ……………145 第74次調査 I 区RA664出土土器 第74次調査 I 区RA667出土土器
第26図版	台太郎遺跡出土遺物 (4) ……………146
第27図版	台太郎遺跡出土遺物 (5) ……………147
第28図版	台太郎遺跡出土遺物 (6) ……………148
第29図版	台太郎遺跡出土遺物 (7) ……………149
第30図版	台太郎遺跡出土遺物 (8) ……………150 土製品 (第74次調査 I 区RA664) 土製品・石製品 (第74次調査Ⅲ区RA667) 鉄製品・土製品 (第74次調査Ⅲ区)
第31図版	台太郎遺跡出土遺物 (9) ……………151 近世陶磁器 (第72次調査Ⅱ区) 中世陶器 (第74次調査 I 区) 近世磁器 (第74次調査 I 区)
第32図版	飯岡沢田遺跡出土遺物 (1) ……………152 第13次調査RA032出土土器
第33図版	飯岡沢田遺跡出土遺物 (2) ……………153

第1章 経過

第1節 調査の経過

「盛岡南新都市開発整備事業」は、北東北の中核都市および岩手県の県都として担うべき都市機能の充実を図るため、旧城下町から発展して形成された既存の中心市街地南西部に新市街地を開発整備し、既成市街地・盛岡駅西口地区（旧国鉄跡地）・盛岡南地区を結ぶ「軸状都心」を形成することで、都市構造をよりよく改めようと策定された土地区画整理事業である。

平成2年9月に岩手県・盛岡市・都南村（現盛岡市，平成4年4月合併）の3者が，当時の地域振興整備公団（以下「公団」と呼ぶ，現在は独立行政法人都市再生機構）に対して事業申請を行い，公団は実施計画を作成，翌平成3年12月に当時の建設大臣および国土庁長官から実施許可が下り，事業が開始された。

埋蔵文化財の取り扱いについては，昭和50年の国土庁長官・建設省からの行政指導に則して，公団と岩手県・盛岡市・都南村は「覚書」，およびその「確認書」において以下のように文書を取り交わしている。

「盛岡南新都市開発整備事業に関する覚書」（平成3年12月11日） 記の7（3）

県，市及び村は，環境の保全及び文化財の保護につき，協力して所要の調整を行い，事業の推進を図るものとする。

「盛岡南新都市開発整備事業に関する覚書の確認書」（平成3年12月11日） 記の5

「覚書」の記の7の（3）の文化財保護における埋蔵文化財発掘調査について，国庫補助事業及び公共施設管理者負担金の対象となる都市計画道路に係る敷地の調査については，公団が県，市及び村に委託するものとし，その他の敷地については市及び村において調査するものとする。

このため，県，市及び村は，土地区画整理事業の認可までに，公団からの委託分を含めた埋蔵文化財発掘調査計画を立案し，これを県，市，村及び公団で確認の上，他機関への委託を含めた調査の実施に必要な体制を確保することにより，事業の円滑な推進を図るものとする。

なお，事業のスケジュールが調査実施者の都合により遅延した場合には，県，市及び村は，適切な方策を講ずるものとする。

上記に基づく協議の結果，遺跡の要調査範囲を確定する試掘確認調査を市教育委員会が実施し，その結果を受けての本調査を市及び公団から委託を受けて，現在の公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター（以下「県埋文センター」と呼ぶ）が実施することとなった。しかし，本調査対象面積が広大であることから，平成10年度以降は市教育委員会も本調査を開始し，平成11年度以降は市教育委員会も公団（都市機構）と受委託契約を締結し，県埋文センターと市教育委員会の両者が調整を図りながら本調査を実施した。なお野外調査は，平成24年度の矢盛遺跡第31次調査をもって完了している。

第2節 発掘調査作業の経過

盛岡南新都市開発整備事業にともなう埋蔵文化財の発掘調査は、平成5年度から継続して実施された。土地区画整理の工事計画や進捗にあわせて、埋蔵文化財包蔵地の範囲確認や遺構密度を確認するための試掘確認調査を実施し、その成果を受けて効率的な本調査が実施できるよう調整を行った。

しかし、地権者との交渉や農地補償等の問題から、埋蔵文化財包蔵地範囲の全域について、試掘確認調査を実施することは現実的に不可能であり、状況に即した対応を行ってきた。

本書で報告の対象としている各遺跡の平成22～24年度の調査成果の概要は、挿表1のとおりである。

挿表1 盛南地区遺跡群発掘調査一覧表〔平成22～24年度〕

遺跡名	略号	次数	年度	調査方法	所在地	面積(m ²)	調査期間	遺構・遺物	調査原因	調査主体	報告書
台太郎	ODT	71	H22	試掘保存	向中野1丁目10・15、2丁目7-2	1310 (対象12,208)	2010.8.9~ 2010.8.18	古代竪穴建物跡、古代以降土坑・溝跡、中世以降ピット	店舗新築・宅地造成	市教委	本書
		72	H22	本調査	向中野字向中野35-34他	506	2010.10.21~ 2010.12.17	古代竪穴建物跡1、古代以降竪穴遺構2・土坑5・溝跡4・ピット	土地区画整理(盛南開発)	市教委	本書
		73	H23	本調査	向中野1丁目15、16-12他	4,360	2011.5.9~ 2011.7.21	古代竪穴建物跡8・竪穴遺構7、古代以降土坑21・焼土遺構1・溝跡4、中世溝跡1、中世以降掘立柱建物跡1・溝跡1	宅地造成	市教委	台太郎緊急2012
		74	H23	本調査	向中野字八日市場30-1他	1,120 (対象1,272)	2011.5.30~ 2011.11.11	古代竪穴建物跡7・土坑4、古代末~中世掘跡2、中世掘跡1、近世以降土坑12・溝跡6、ピット	土地区画整理(盛南開発)	市教委	本書
		75	H24	試掘確認	向中野1丁目9-19	21 (対象189)	2012.11.22	なし	共同住宅新築	市教委	本書
		76	H24	試掘確認	向中野2丁目6-2	177 (対象1,628)	2013.3.12~ 2013.3.13	古代竪穴建物跡・溝跡	宅地造成	市教委	本書
遺跡名	略号	次数	年度	調査方法	所在地	面積(m ²)	調査期間	遺構・遺物	調査原因	調査主体	報告書
飯岡沢田	ISD	13	H22	本調査	飯岡新田1地割48-1他	5,730	2010.6.1~ 2010.8.20	古代竪穴建物跡2、古代以降竪穴遺構1・土坑11・溝跡2	土地区画整理(盛南開発)	市教委	本書
遺跡名	略号	次数	年度	調査方法	所在地	面積(m ²)	調査期間	遺構・遺物	調査原因	調査主体	報告書
夕覚	IYK	7	H22	本調査	飯岡新田5地割32他	894	2010.9.9~ 2010.9.17	なし	土地区画整理(盛南開発)	市教委	本書
		8	H22	本調査	飯岡新田6地割14	600	2010.10.16~ 2010.10.15	なし	土地区画整理(道明地区)	市教委	別途報告予定
		9	H23	本調査	飯岡新田5地割44他	418 (対象2,943)	2011.7.4	なし(トレンチ調査)	土地区画整理(道明地区)	市教委	別途報告予定
		10	H23	本調査	飯岡新田5地割34-2他	264 (対象1,306)	2011.11.28	なし(トレンチ調査)	土地区画整理(盛南開発)	市教委	本書
		11	H24	本調査	飯岡新田5地割44他	376 (対象3,009)	2012.10.15	なし(トレンチ調査)	土地区画整理(道明地区)	市教委	別途報告予定

第3節 資料整理作業の経過

当市教育委員会が、当該事業の本調査を始めたのは、平成10年度からである。また平成11年度からは公団(都市機構)と発掘調査の受委託契約を締結し、公団(都市機構)事業範囲(都市計画道路分)の本調査も実施してきた。この際は、予算措置の問題や職員体制が十分でないことを考慮して、年度ごとの発掘調査報告書の刊行は断念することとし、報告書刊行は事業の進捗を見ながら順次まとめて行うものとし、年度内はその基礎となる資料整理作業のみを行っていた。

平成12年12月24日午前0時30分頃、市立厨川小学校敷地内にある文化財調査室にて火災が発生し、昭和30年建設の老朽化した木造2階建ての旧校舎は全焼した。市教育委員会では昭和57年度から文化財調査室として埋蔵文化財の資料整理・収蔵保管の拠点として使用してきた場所である。当然、本事業の発掘調査成果(図面・写真・出土資料の一部)も収蔵されており、罹災により調査成果の完全復元はきわめて難しい状況となった。市教育委員会は、文化庁の指導及び補助事業の採択を受け、埋蔵文化財の調査研究・収蔵管理・

普及活用を目的として、新たな拠点となる埋蔵文化財センターとして、博物館施設が集積する本宮地区の「盛岡市中央公園」内に「盛岡市遺跡の学び館」を建設、平成16年6月に開館した。その間も、本事業にもなう発掘調査と資料整理作業、および罹災資料の復元作業を継続して行った。

本事業関連遺跡発掘調査報告書を刊行するにあたり、以下の指針をもって実施することとしている。

- ① 平成5～12年度の発掘調査に係る罹災資料について、速やかに再整理と報告書刊行を行う。
- ② 平成5～12年度発掘調査報告書は、膨大な量の資料が罹災したこともあり、1冊の報告書として報告することは現実的に困難なため、数遺跡ごとに分冊刊行することで年次計画を立て優先的に報告する。
- ③ 平成13年度以降事業終了年度までの調査成果は、上記報告書刊行の進捗状況を見ながら、数遺跡または数年度ずつをまとめて分冊とし、報告する。

上記のうち、指針①②については平成22年度までに計3分冊として刊行を終了している。指針③については計4分冊（平成13～18年度調査3分冊・平成19～21年度調査）の報告書を平成24～26年度に刊行している。本報告書は、指針③に基づく8分冊目（平成22～24年度調査2分冊のうち1分冊目）の報告書である。

第4節 体制

〔委託者〕 独立行政法人都市再生機構

〔調査主体〕 盛岡市教育委員会

〔事務局〕 盛岡市教育委員会事務局歴史文化課

〔調査〕 盛岡市遺跡の学び館

〔助言〕 文化庁、岩手県教育委員会、公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

〔協力〕 発掘調査、資料整理、報告書編集にあたり、盛岡市都市整備部盛岡南整備課、地権者・地元関係者の方々、そして多くの作業員・県内外文化財関係職員の方々より多大なる協力を得た。記して感謝申し上げます。

〔発掘調査担当者（本書掲載分）〕

台太郎遺跡	第71次調査（平成22年度）	今野公顕・花井正香
	第72次調査（平成22年度）	菊地幸裕・鈴木賢治
	第74次調査（平成23年度）	花井正香
	第75次調査（平成24年度）	佐々木亮二
	第76次調査（平成24年度）	佐々木亮二

飯岡沢田遺跡	第13次調査（平成22年度）	菊地幸裕・鈴木賢治
--------	----------------	-----------

夕覚遺跡	第7次調査（平成22年度）	菊地幸裕・鈴木賢治
	第10次調査（平成23年度）	花井正香

盛岡市教育委員会文化財保護関係職員（平成28年度）

教育長 千葉 仁一
 教育部長 豊岡 勝敏
 教育次長 中野 玲子

歴史文化課（事務局）

〔記念物・文化財・博物館施設業務〕

課長	杉本 浩
課長補佐（埋蔵文化財担当，兼務）	北田 牧子
課長補佐	吉田 宏明
副主幹（兼務）	菊地 幸裕
文化財主査（兼務）	室野 秀文
文化財主査	三浦 陽一
文化財主査（兼務）	津嶋 知弘
文化財主査（兼務）	神原雄一郎
学芸主査	岡 聰
文化財主査	権頭 祐子
文化財主査	今野 公顕
文化財主査（兼務）	花井 正香
学芸員〔再任〕	大沼 信忠
文化財主任（兼務）	佐々木亮二
主事	寺島 幸子
主事（兼務）	佐藤 美沙
文化財主事（兼務）	鈴木 俊輝
主事	菊池 祥宏
文化財調査員	鳥取 邦美
文化財調査員	千葉 茉耶
文化財調査員	戸澤 博子
事務嘱託	齊藤 晃大

遺跡の学び館（施設）

〔埋蔵文化財業務〕

館長（兼務）	杉本 浩
館長補佐	北田 牧子
副主幹	菊地 幸裕
文化財主査	室野 秀文
文化財主査	津嶋 知弘
文化財主査	神原雄一郎
文化財主査	花井 正香
文化財主任	佐々木亮二
主事	佐藤 美沙
文化財主事	鈴木 俊輝
学芸調査員	樋下 理沙
学芸調査員	坂本 志野
文化財調査員	日野杉潤子
文化財調査員	今松 佑太
文化財調査員	及川 栞里

第2章 遺跡群の位置と環境

第1節 地理的環境

盛岡市は岩手県の中央部に位置する。平成4年4月に南に隣接する都南村と、平成18年1月に北に隣接する玉山村と合併し、人口298,572人（平成22年国勢調査）、面積886.47km²の県庁所在地である。平成20年4月には中核市へ移行している。

「盛岡南新都市開発整備事業」は、盛岡市の中心市街地南西部の313.5haを対象にした土地区画整理事業である。事業主体は独立行政法人都市再生機構（旧地域振興整備公団）で、平成3年12月に事業認可を受け、平成7年11月より着工、平成25年10月に事業完了している。この事業に伴い、区域内の埋蔵文化財発掘調査を平成5年度から県埋文センターと市教育委員会が実施し、平成24年度に野外調査が終了した。

「盛南地区遺跡群」は、盛岡南新都市開発整備事業区域内に所在する計17遺跡、大宮北遺跡・小幅遺跡・宮沢遺跡・鬼柳A遺跡・稲荷遺跡・本宮熊堂A遺跡・本宮熊堂B遺跡・野古A遺跡・飯岡沢田遺跡・飯岡才川遺跡・台太郎遺跡・向中野館遺跡・細谷地遺跡・矢盛遺跡・焼野遺跡・夕覚遺跡・南仙北遺跡が該当し、盛岡市本宮字大宮、本宮4丁目・6丁目・7丁目、向中野1丁目・2丁目・3丁目・5丁目、北飯岡1丁目、本宮字野古、下鹿妻字北、向中野字野原・字細谷地・字鶴子・字幅、飯岡新田2地割・3地割・4地割、南仙北2丁目に所在する（挿図1）。なお所在地名は、土地区画整理事業完了地区の住居表示整備により、平成23年2月、平成24年2月、平成25年2月に旧字名から変更となっており、その変遷は挿表2のとおりである。

盛岡は、岩手県から宮城県を南流する北上川に中津川・雫石川・築川といった支流の合流点である北上盆地の北端にあり、本遺跡群は、北上川の西岸とその支流である雫石川の南岸に広がる沖積段丘上に立地する。雫石川は奥羽山脈から東流し、鳥泊山と箱ヶ森に挟まれた北の浦付近（市内上太田）で急激に流路を狭められ、その狭窄部を抜け北上盆地に入り、北上川と合流する。雫石川の北岸には岩手山を供給源とする火山砕石流堆積物と火山灰層がのる台地が発達していることにより、狭窄部以東の南岸に流路転換が顕著に見られ、沖積段丘（砂礫段丘）が発達している。

沖積段丘は、水成砂礫層を基底とし、その上に水成シルト層、そして表土が覆っている。基本層はおおむねこの3層に分類されるが、砂礫層の上面高をはじめ、それぞれの層相・層厚は地点によって大きく異なる。また、このシルト層は旧河道ばかりでなく、微高地などにも堆積している。このことは、この低位沖積段丘は、雫石川が周辺の山地から供給される砂礫やシルトによって堆積され、さらに河道の定まらない雫石川の下刻や堆積を繰り返されたことによるものと言える。雫石川の旧河道は幾筋も確認されており、連続する大きなものは4条、そのほかにも網目状に細かな旧河道も確認されており、複雑な河道変遷を示す。それに画された微高地に、古代を中心とした遺跡が分布している。

第2節 歴史的環境

本遺跡群の立地する沖積段丘上では、縄文時代～古墳時代にかけての遺構遺物の発見は少なく、遺跡のほとんどは7世紀中葉以降の集落遺跡といえる。

縄文・弥生時代の遺構遺物は、本宮熊堂A遺跡や台太郎遺跡で縄文時代晩期を中心とする竪穴建物跡（住居）や遺物包含層が検出されている。その他の各遺跡からは遺物が散見する程度であり、主体的なものではない。また、飯岡才川遺跡など多くの遺跡で縄文時代の陥し穴が確認されている。

古墳時代末、7世紀中葉の遺構遺物は、数は多くはないが台太郎遺跡などで確認されている。これ以降集落が継続的に営まれる。奈良時代、8世紀中葉以降竪穴建物跡を主体とした集落が増加する。この時期の集落は、大型竪穴建物跡を中心としてその周囲に中～小型の竪穴建物跡が数棟ずつまとまりをもって分布する傾向があり、血縁的一族が集落を構成したと考えられる。

平安時代初頭の延暦22年（803）、本遺跡群の西方に「志波城」（下太田方八丁他）が造営される。志波城は、東北地方統治のために都の律令政府が造営した古代城柵であり、当時「蝦夷（エミシ）」と呼ばれていた人々の社会に一定の影響を与えたと考えられる。『日本紀略』によると、坂上田村麻呂が「造志波城使」となり志波城は造営され、その規模は陸奥国最大級のものであったことが発掘調査により明らかとなっている。しかし北を流れる現在の雫石川（当時としては北上川の本流）の度重なる洪水の被害を受け、およそ10年で征夷将軍文室綿麻呂の建議により徳丹城（矢巾町西徳田）に移転したことが、『日本後紀』に見られる。その後、徳丹城は9世紀中葉までにはその機能を停止していることが発掘調査で確認されており、本地域を含む北上盆地一帯は、鎮守府胆沢城（奥州市水沢区九蔵田）による一城統治の体制となる。

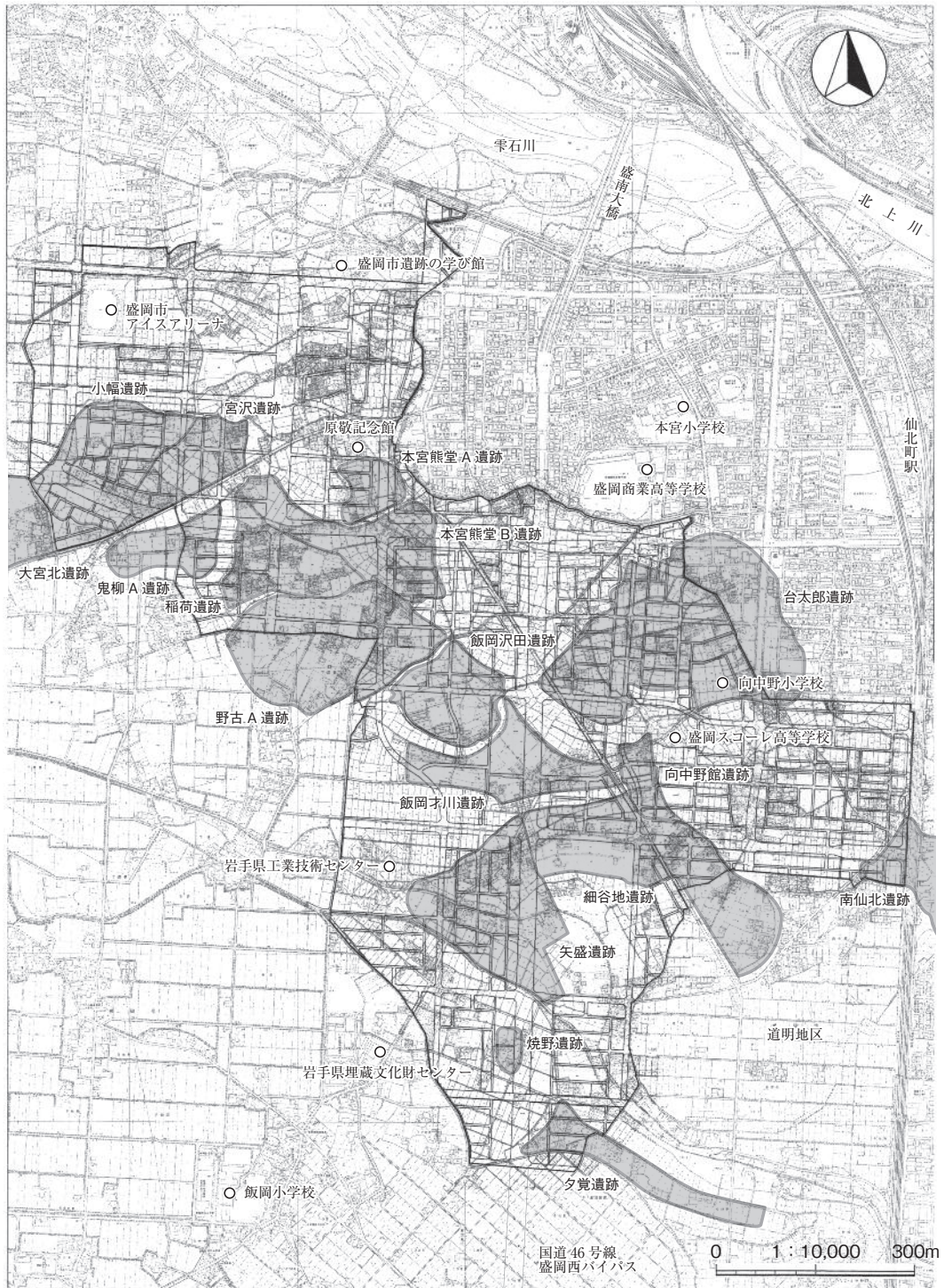
以降、9世紀中葉から本地域では竪穴建物跡を主体とした集落が増加していく。竪穴建物跡の規模の大小差は縮小するようになり、重複するものが多く見られるようになる。その中でも、向中野館遺跡の低湿地からは古代の水辺祭祀に関係する遺物の出土や、飯岡沢田遺跡・飯岡才川遺跡の円形周溝墓群や火葬骨蔵器など、本地域内の集落機能の分化もみられる。また、9世紀後葉から10世紀中葉にかけては、各地区の拠点的な集落が形成されるようになり、カマドを何度も作り替える大型竪穴建物跡がみられるようになる。細谷地遺跡では、微高地の南斜面に沿うように2間×2間の総柱の掘立柱建物跡が東西に並立し、高床倉庫群が存在したと考えられる。また大宮北遺跡や、盛南開発地域の北西隣、志波城跡の北東に隣接する林崎遺跡で、官衛的な大型掘立柱建物を計画的に配置した集落も発見されており、新興在地有力者の拠点と考えられる。

11～12世紀にかけての様相ははっきりしないが、12世紀末～13世紀初頭頃のものと考えられるかわらけが、盛南開発地域の西隣にある大宮遺跡の大溝跡から多量に出土している。13世紀後半には、台太郎遺跡で不整五角形に堀を巡らす居館が営まれ、地域を支配した豪族の存在が想定される。さらに同遺跡では、土坑墓群や宗教施設と考えられる遺構も検出されており、出土遺物から15世紀頃までの存続が考えられる。また向中野館遺跡や矢盛遺跡でも、堀跡と掘立柱建物群が検出されており、出土遺物等から16世紀代を中心とする居館と考えられている。

江戸時代に入ると、雫石川は現在の流路となり、旧河道の東側には奥州道中（街道）や仙北組町が開かれ、本地域は水田地帯に農家が点在する農村地帯となる。各遺跡からは曲屋などの掘立柱建物跡や土坑墓、南仙北遺跡では道路跡など近世の遺構が発見されており、この姿は盛南開発事業が施工される直前の本地域の様子と大きく違いが無いものと考えられる。

挿表2 盛南地区遺跡群所在地住居表示整備一覧表

遺跡名	所在地			
	平成23年(2011)1月以前	平成23年(2011)2月 住居表示整備	平成24年(2012)2月 住居表示整備	平成25年(2013)2月 住居表示整備
大宮北	本宮字大宮・字小幡	本宮字大宮, 本宮6丁目	確定, 変更なし	確定, 変更なし
小幡	本宮字小幡	本宮6丁目	確定, 変更なし	確定, 変更なし
宮沢	本宮字宮沢	本宮6丁目	確定, 変更なし	確定, 変更なし
鬼柳A	本宮字鬼柳	本宮字鬼柳, 本宮6丁目・7丁目	確定, 変更なし	確定, 変更なし
本宮熊堂A	本宮字熊堂	本宮4丁目	確定, 変更なし	確定, 変更なし
本宮熊堂B	本宮字熊堂・字稲荷, 向中野字千刈田	本宮4丁目・6丁目, 本宮字熊堂・字稲荷, 向中野字千刈田	本宮4丁目・6丁目・7丁目, 向中野3丁目	確定, 変更なし
稲荷	本宮字稲荷	対象外, 変更なし	本宮7丁目	確定, 変更なし
野古A	本宮字野古, 下鹿妻字北	対象外, 変更なし	本宮7丁目, 向中野3丁目, 北飯岡1丁目, 本宮字野古, 下鹿妻字北	確定, 変更なし
飯岡沢田	飯岡新田1地割	対象外, 変更なし	向中野3丁目, 北飯岡1丁目	確定, 変更なし
飯岡才川	飯岡新田1地割・2地割	対象外, 変更なし	北飯岡1丁目, 向中野5丁目	確定, 変更なし
台太郎	向中野字千刈田・字向中野・字台太郎, 向中野1丁目・2丁目	対象外, 変更なし	向中野1丁目・2丁目・5丁目	確定, 変更なし
向中野館	飯岡新田2地割	対象外, 変更なし	向中野5丁目	確定, 変更なし
細谷地	飯岡新田2地割, 向中野字野原・字細谷地	対象外, 変更なし	向中野5丁目, 向中野字野原・字細谷地	向中野5丁目・7丁目, 向中野字細谷地
矢盛	飯岡新田2地割・3地割・4地割, 向中野字野原	対象外, 変更なし	北飯岡1丁目, 飯岡新田2地割・3地割・4地割, 向中野字野原	北飯岡1丁目・2丁目, 向中野7丁目
焼野	飯岡新田4地割	対象外, 変更なし	対象外, 変更なし	北飯岡4丁目
夕覚	飯岡新田4地割・5地割	対象外, 変更なし	対象外, 変更なし	北飯岡3丁目・4丁目, 飯岡新田5地割
南仙北	向中野字鶴子, 南仙北2丁目	対象外, 変更なし	向中野4丁目, 向中野字鶴子, 南仙北2丁目	向中野4丁目・6丁目, 南仙北2丁目



挿図1 盛南地区遺跡群位置図
 (新街区は盛岡南新都市開発整備事業)



挿図2 遺跡位置図 (1 : 50,000)

第3章 調査成果

第1節 台太郎遺跡（第71・72・74～76次調査）

1. 遺跡の立地

台太郎遺跡は、志波城跡の南東約1.2kmに位置し、西方に飯岡沢田・飯岡才川遺跡、南方に向中野館遺跡が位置している。志波城跡からのびる低位沖積段丘が南に曲がる屈曲点にあたり、幅20～50m、比高差1m程度の細かな旧河道によって分断された微高地上に立地している。遺跡範囲は東西約800m、南北約500mをはかる（第1図）。

(1) 第71次調査（平成22年度）

今次調査区は、遺跡の東部に位置し、店舗新築及び宅地造成に伴う試掘確認調査として実施した（第1図）。調査区は、道路により東区（向中野1丁目15）、中区（向中野1丁目10）、西区（向中野2丁目7-2）の3箇所に分かれており、総調査対象面積12,209㎡について、重機により幅1.6mの試掘トレンチ39本を設定し（調査面積1,341㎡）、遺構・遺物の有無を確認した。

その結果、東区では、表土下0.4～0.5mの褐色シルト層上面で遺構確認を行い、調査区の西寄り約3分の1の範囲で竪穴建物跡・土坑・溝跡等が検出され、それ以東の範囲は低湿地が広がり、遺構・遺物は確認されなかった。中区では、表土下0.45～0.8mの褐色シルト層上面で遺構確認を行い、調査区の北東部及び南西部で竪穴建物跡・土坑・溝跡等が検出され、北西部は遺構検出面が大きく削平され、また中央部から南東部にかけては低地・谷地が広がっていた。西区では、表土下0.2～0.3mの褐色シルト層上面で遺構確認を行い、調査区全面から竪穴建物跡・土坑・溝跡・ピットなどが検出された。

以上の結果から、遺構検出面を掘削する工事を実施する場合は本調査が必要である旨、事業主と協議した結果、店舗建設を行う中区は、設計変更により遺構検出面を保護する施工方法を採用する確約書が提出され、施工時に職員が立会を行い、遺構の保護を確認した。一方、宅地造成を行う東区は、平成23年度に全面本調査が行われ（第73次調査、徳清倉庫株式会社・盛岡市教育委員会2012）、また店舗建設を行う西区は、平成25年度に建物範囲の本調査が行われた（第77次調査、徳清倉庫株式会社・盛岡市教育委員会2014）。

(2) 第72次調査（平成22年度）

今次調査区は、遺跡の中央部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した（第1図）。調査区は東側のⅠ区、西側西のⅡ区、西側東のⅢ区に分かれており、総調査面積は506㎡。重機により表土を除去し、遺構検出を行った。なお、Ⅱ区及びⅢ区は既存樹木の切株及び既存建物の基礎による攪乱が大きく、古代及び中近世の遺物は出土したが、遺構は確認されなかった（第4図）。

a. 遺構と遺物

Ⅰ区から検出された遺構は、古代の竪穴建物跡1棟（RA652）・土坑1基（RD2140）、古代以降の竪穴状遺構2基（RE085・086）・土坑5基（RD2137～2139・2141）・溝跡4条（RG602～605）、ピットである（第5図）。

・ 竪穴建物跡

RA652 (第6・7図)

位置 調査区南西部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形

構造 埋没途中に不整円形土坑を掘り込み, 土器・石製品・礫・炭化材・粘土を廃棄

規模 南北3.38m, 東西3.8m以上(調査区外, 推定4.3m), 深さ0.25~0.3m, 土坑は径2.8~3.1m・底面までの深さ0.7m

カマド方向 N7.0° E, 北カマド, 長い煙道(1.55m)

カマド 両袖残存(地山シルト削り出し), 焚口の焼け面あり

埋土 A1~3層, B1・2層, C1・2層, D1・2層, E1・2層, F1・2層, G1~6層, H1・2層, J1~5層, L1層(第9表)

床面 周溝あり, 床構築土あり, 中央部に大きく不整円形土坑あり 柱穴 ピット1口(p1)

出土遺物(第44・45図, 第18表) 土師器非ロクロ坏(001~004)・非ロクロ高台付壺(005)・甕(006~008, 008甕の口頸部に平行沈線)・球胴甕(009・010, 010球胴甕の頸部に鋸歯状沈線), 石製品

時期 8世紀中葉

・ 竪穴状遺構

RE085 (第9図)

位置 調査区西部 重複関係 なし 平面形 不整形

規模 南北2.5m, 東西2.7m, 深さ0.2m 埋土 A1層, B1層(第9表), 酸化鉄が混じる

遺物 なし 時期 古代以降

RE086 (第8図)

位置 調査区南西部 重複関係 なし 平面形 不整形

規模 南北6.45m, 東西1.6m以上(調査区外), 深さ0.3m

埋土 A1・2層, B1層(第9表), 酸化鉄が多く混じる 遺物 なし 時期 古代以降

・ 土坑

RD2137 (第9図)

位置 調査区西部 重複関係 なし 平面形 不整円形 規模 径1.6~1.8m, 深さ0.22m

埋土 A1・2層(第9表), 酸化鉄が多く混じる 遺物 土師器鉢・甕破片 時期 古代以降

RD2138 (第10図)

位置 調査区中央部 重複関係 なし 平面形 不整円形 規模 径0.7~0.75m, 深さ0.12~0.15m

埋土 A1・2層(第9表) 遺物 なし 時期 古代以降

RD2139 (第10図)

位置 調査区中央部 重複関係 なし 平面形 不整円形 規模 径1.15~1.2m, 深さ0.12~0.15m

埋土 A1層, B1層(第9表) 遺物 なし 時期 古代以降

RD2140 (第10図)

位置 調査区東部 重複関係 なし 平面形 不整円形 規模 径1.3~1.45m, 深さ0.3~0.35m
埋土 A1・2層, B1層, C1層, D層 (第9表), C1層に焼土粒が混じる
遺物 (第46図, 第18表) 土師器非ロクロ坏破片, 土師器甕 (011)・球胴甕破片 時期 8世紀代

RD2141 (第10図)

位置 調査区東部 重複関係 なし 平面形 不整楕円形
規模 長軸0.93m, 短軸0.66m, 深さ0.4m 埋土 A1層, B1・2層 (第9表)
遺物 なし 時期 古代以降

・溝跡

RG602 (第11図)

位置 調査区北部 重複関係 RG604 (新)
規模等 西北西から東北東にやや蛇行して走る。幅0.35~0.55m, 延長23.5m以上, 深さ0.1~0.15m。
埋土 A1層 (第9表) 遺物 土師器甕破片 時期 古代以降

RG603 (第11図)

位置 調査区東部 重複関係 なし
規模等 南北に弧状に走る。幅0.3~0.35m, 延長3.35m, 深さ0.1m。 埋土 A1層 (第9表)
遺物 土師器非ロクロ高台付坏柱状高台破片, 土師器甕破片 時期 古代以降

RG604 (第11図)

位置 調査区北部 重複関係 RG602 (古)
規模等 ほぼ南北に走る。幅0.9~1.1m, 延長6.9m以上, 深さ0.12~0.15m。 埋土 A1層 (第9表)
遺物 土師器甕破片 時期 古代以降

RG605 (第11図)

位置 調査区中央部 重複関係 なし
規模等 ほぼ南北に走る。幅0.7~0.85m, 延長3.95m以上, 深さ0.3m。 埋土 A1層, B1層 (第9表)
遺物 土師器甕破片, 近世陶磁器破片 (肥前染付碗, 肥前青磁香炉・皿, 志野水指, 備前摺鉢, 18~19世紀)
時期 古代以降

・ピット

調査区内に古代以降のピット17口を検出した (第11図)。各ピットの規模は第5表のとおりである。

・近世遺物

Ⅱ・Ⅲ区の表土等より, 肥前染付・瑠璃釉磁器, 肥前京焼風陶器, 瀬戸美濃染付磁器, 瀬戸美濃灰釉陶器などの近世陶磁器 (写真第31図版), キセル雁首, 古銭 (「寛永通寶」) などが出土した。

(3) 第74次調査 (平成23年度)

今次調査区は、遺跡の中央部及び東部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した(第1図)。調査区は、遺跡中央部のⅠ区、遺跡東部東のⅡ区、遺跡東部西のⅢ区に分かれており、総調査面積は1,120㎡(対象面積1,272㎡)。各調査区について重機により表土を除去し、遺構検出を行った。

a. 遺構と遺物

検出された遺構は、Ⅰ区が古代の竪穴建物跡5棟(RA661~665)・土坑10基(RD2163~2172)、古代以降の溝跡2条(RG475・612)・方形周溝(RG597)、中世の堀跡(RG424W・E)、ピット(第12図)、Ⅱ区が古代の竪穴建物跡1棟(RA666)、古代末の堀跡(RG273・461)、古代以降の土坑1基(RD2173)・溝跡2条(RG497・613)、ピット(第23図)、Ⅲ区が古代の竪穴建物跡1棟(RA667)・土坑墓3基(RD2174~2176)、古代末の堀跡(RG461S・N)、古代以降の土坑2基(RD2177・2178)・溝跡1条(RG401)、ピット(第27図)である。

Ⅰ~Ⅲ区の総計は、古代の竪穴建物跡7棟(RA661~667)・土坑10基(RD2163~2172)・土坑墓3基(RD2174~2176)、古代末の堀跡(RG273・461)、古代以降の土坑3基(RD2173・2177・2178)・溝跡5条(RG475・612・497・613・401)・方形周溝(RG597)、中世の堀跡(RG424)、ピットとなる。

Ⅰ区

・竪穴建物跡

RA661 (第13図)

位置 Ⅰ区北西部 重複関係 RG424W(新), RG612(新), RD2167(古)

平面形 隅丸方形(東半部がRG424Wにより大きく削平)

規模 北西-南東5.45m, 南西-北東4.5m以上(削平), 深さ0.2~0.3m

カマド方向 W42.0°N, 北西カマド, 長い煙道(1.4m, つぶれたトンネル状)

カマド 両袖残存, 焚口の焼土面あり

埋土 A1・2層, B1層, C1層, D1・2層, E1層, J1~5層, L1層(第10表)

床面 周溝(底面に小ピット)・間仕切り状溝あり, 床構築土あり

柱穴 主柱穴2口(p1・2, 第1表), ピット7口(p3~9)

出土遺物(第47図, 第19表) 土師器非ロクロ坏(012~014)・甕(015~017)・球胴甕(018), 須恵器坏・壺破片, 土製品(紡錘車)

時期 8世紀後葉~9世紀初頭

RA662 (第14図)

位置 Ⅰ区東部 重複関係 RG424W(新), RG475(新), RG597(新)

平面形 隅丸方形(南部がRG424Eにより削平)

規模 北西-南東4.95m以上(削平), 南西-北東6.0~6.2m, 深さ0.25~0.3m

カマド方向 N23.0°W, 北西カマド, 長い煙道(1.35m) カマド 両袖残存, 焚口の焼土面あり

埋土 A1~3層, B1・2層, C1層, D1層, E1層, F1層, G1層, J1~10層, K1・2層, L1層(第10表)

床面 周溝・間仕切り状溝あり, 床構築土あり, カマド右袖脇に貯蔵穴(p9)

柱穴 主柱穴4口 (p 1~4, 第1表), ピット4口 (p 5~8)

出土遺物 (第48図, 第19表) 土師器非ロクロ坏, 土師器甕 (019・20)・球胴甕 (021)・鉢 (022)・甗 (023),
あかやき土器坏破片, 須恵器甕破片

時期 8世紀後葉~9世紀初頭

RA663 (第15図)

位置 I区北部 重複関係 RG424W (新), RA665 (新)

平面形 隅丸方形 (西部がRG424Wにより大きく削平)

規模 北西-南東3.3m以上 (削平), 南西-北東3.0m以上, 深さ0.4m

カマド方向 不明 (北西カマドか) カマド 不明 (削平)

埋土 A1・2層, B1~3層, C1層, D1層, L1層 (第10表)

床面 周溝あり, 床構築土あり 柱穴 ピット5口 (p 1~5)

出土遺物 (第50図, 第19表) 土師器坏・甕 (036・037) 時期 8世紀後葉~9世紀初頭

RA664 (第16図)

位置 I区南部 重複関係 RG597 (新) 平面形 少し歪んだ隅丸方形 (カマドの作り替えあり)

規模 南北4.8m, 東西4.3~4.6m, 深さ0.1~0.23m

カマド方向 カマドa (新): N10° W, 北カマド, 長い煙道 (1.4m以上)

カマドb (古): N15° W, 北カマド, 長い煙道 (1.3m)

カマド カマドa (新): 両袖残存, 焚口の焼土面あり

カマドb (古): 袖残存せず, 焼土面なし

埋土 A1層, B1層, C1層, D1・2層, E1・2層, J1~6層, K1・2層, L1層, J'1~5層 (第11表)

床面 床構築土あり, カマド付近に繊維状炭化物, カマドa右袖脇に貯蔵穴 (p 9)

柱穴 主柱穴4口 (p 1~4, 第1表), ピット4口 (p 5~8)

出土遺物 (第49・54図, 第19・23表) 土師器ロクロ内黒坏 (024)・高台付坏 (033)・甕 (034), 須恵器坏
(025~029)・甕・壺・長頸瓶破片, あかやき土器坏 (030~032)・甕 (034), フイゴ羽口 (065), 石製
品 (砥石)

時期 9世紀中葉

RA665 (第17図)

位置 I区北部 重複関係 RG424W (新), RG475 (新), RA663 (古)

平面形 少し歪んだ隅丸方形 (西部がRG424Wにより削平)

規模 東西3.7m以上 (削平), 南北3.3~3.9m, 深さ0.22~0.36m カマド方向 不明 (西カマドか)

カマド 不明 (削平) 埋土 A1・2層, B1層, C1層 (第11表) 床面 東壁際に礫群あり

柱穴 ピット2口 (p 1・2)

出土遺物 (第50図, 第19表) 土師器ロクロ内黒坏 (038)・甕破片, 須恵器坏・甕・長頸瓶破片, あかやき
土器坏破片

時期 9世紀中葉

・土坑

RD2163 (第19図)

位置 I区西部 重複関係 なし 平面形 不整円形 規模 径0.9~0.95m, 深さ0.3m
埋土 A1・2層, B1層, C1層 (第11表) 遺物 (第50図, 第19表) あかやき土器坏 (039)
時期 9世紀中葉

RD2164 (第19図)

位置 I区西部 重複関係 RA664 (新) 平面形 不整楕円形
規模 長軸1.4m, 短軸1.0m, 深さ0.35m 埋土 A1・2層, B1層, C1層 (第11表)
遺物 土師器坏・甕, 須恵器甕破片 時期 9世紀中葉

RD2165 (第19図)

位置 I区北東部 重複関係 なし 平面形 不整楕円形
規模 長軸1.1m, 短軸0.8m, 深さ0.15m 埋土 A1層 (第11表)
遺物 土師器坏・甕, 須恵器坏・甕破片 時期 9世紀代

RD2166 (第19図)

位置 I区南東部 重複関係 なし 平面形 不整楕円形
規模 長軸0.95m, 短軸0.7m, 深さ0.3m 埋土 A1層, B1層, C1・2層, D1層 (第11表)
遺物 土師器甕破片 時期 9世紀代

RD2167 (第19図)

位置 I区西部 重複関係 RG424W (新), RA661 (新) 平面形 隅丸長方形
規模 長辺1.35m以上, 短辺0.95m以上, 深さ0.3m
埋土 A1・2層, B1・2層, C1層, D1層 (第11表)
遺物 土師器坏破片, 須恵器坏・壺破片, あかやき土器坏破片 時期 9世紀代

RD2168 (第18図)

位置 I区中央部 重複関係 RG424W (新), RG597 (新), RA665 (新)
平面形 隅丸長方形 規模 長辺1.7m以上, 短辺1.5m以上, 深さ0.65m
埋土 A1層, B1・2層, C1層, D1層, E1層 (第12表)
遺物 土師器坏・甕破片, あかやき土器坏破片 時期 9世紀代

RD2169 (第19図)

位置 I区北東部 重複関係 RG475 (新) 平面形 不整楕円形
規模 長軸1.2m以上, 短軸1.4m, 深さ0.18m 埋土 A1・2層, B1層 (第12表)
遺物 土師器甕破片 時期 9世紀代

RD2170 (第18図)

位置 I区西部 重複関係 RG424W(新) 平面形 不整楕円形
規模 長軸1.25m以上, 短軸0.7m, 深さ0.15m 埋土 A1層, B1層(第12表)
遺物 土師器坏破片 時期 9世紀代

RD2171 (第18図)

位置 I区北部 重複関係 なし 平面形 不整楕円形
規模 長軸0.9m, 短軸0.65m, 深さ0.15m 埋土 A1層, B1層(第12表)
遺物 なし 時期 古代

RD2172 (第18図)

位置 I区北部 重複関係 なし 平面形 不整円形 規模 径0.7m, 深さ0.12m
埋土 A1層, B1層(第12表) 遺物 なし 時期 古代

・堀跡

RG424W・E (第20・21図)

位置 I区中央部
重複関係 RG424W: RA661(古)・663(古)・665(古), RD2167(古)・2168(古)・2170(古), RG597(古)
RG424E: RA662(古)・664(古), RG475(古)・597(古)

規模等 RG424W:南北に走り, 南端で東に屈曲してRG424Eになる。幅3.2m, 延長14.5m以上, 深さ0.9m。

RG424E:東西に走り, 西端で北に屈曲してRG424Wになる。幅3.2~3.6m, 延長11.5m以上, 深さ0.7m。

埋土 A1~3層, B1~3層, C1~3層, D1・2層, E1層, F1層(第12表)

遺物 土師器坏・高台付坏・甕・球胴甕, 須恵器坏・甕・壺, あかやき土器坏・甕破片, かわらけ破片

時期 中世

・方形周溝

RG597 (第20図)

位置 I区南部 重複関係 RG424W・E(新)

規模等 南半部が第68次調査で検出されている全体形が隅丸長方形の区画溝で, 東西9.7~10.5m・南北15.7m, 溝幅1.2~2.0m, 深さ0.35~0.6mを測る。東西方向の溝が内部を南北の2区画に分割しているが, 時期変遷が想定され, 当初のより小規模な溝により隅丸正方形周溝が連結する形から, 全体をやや規模の大きい溝で隅丸長方形になるよう掘り直していると考えられる。

埋土 A1・2層, B1・2層, C1・2層(第12表)

遺物 土師器坏・甕・球胴甕, 須恵器坏・甕・壺・長頸瓶, あかやき土器坏・甕破片, 常滑捏鉢・瓷器系大甕破片(12世紀), 肥前染付茶碗破片(18~19世紀), 石製品(砥石)

時期 古代以降

・溝跡

RG475 (第21図)

位置 I区北東部 重複関係 RG424E (新), RD2169 (古)

規模等 北北西から南南東に走る。幅0.6~0.7m, 延長12.3m以上, 深さ0.2m。

埋土 A1・2層 (第12表) 遺物 土師器坏・甕, 須恵器坏・甕, あかやき土器坏・甕破片

時期 古代以降

RG612 (第20図)

位置 I区北西部 重複関係 なし

規模等 北北西から南南東に走る。幅0.75~0.9m, 延長5.7m以上, 深さ0.05m。

埋土 A1層 (第12表) 遺物 土師器坏・甕, 須恵器坏・甕, あかやき土器坏・甕破片

時期 古代以降

・ピット

調査区内に古代以降のピット70口を検出した (第20~22図)。各ピットの規模は第6表のとおりである。ピット埋土よりロクロかわらけ (第50図040, 第19表) が出土している。

・中近世陶磁器

RA664 竪穴建物跡A層より, 古瀬戸灰釉壺 (瓶子) の体部上半破片 (第55図90, 第22表) が出土している。唐草状のヘラ描き文様がみられ, 窖窯Ⅲ期 (13世紀末~14世紀) の年代が考えられる。このほか遺構外より常滑捏鉢, 瓷器系大甕などの中世陶器, 肥前染付などの近世磁器が出土している (写真第31図版)。

Ⅱ区

・竪穴建物跡

RA666 (第24図)

位置 Ⅱ区東部 重複関係 RG273 (新)

平面形 隅丸方形 (北東部が調査区外, 南西部がRG273により削平)

規模 北東-南西5.35m, 北西-南東5.55m, 深さ0.25~0.35m

カマド方向 不明 (北東か) カマド 不明 (調査区外)

埋土 A1層, B1~3層, C1~3層, D1層, L1層 (第13表)

床面 硬化面あり, 床構築土あり 柱穴 主柱穴3口 (p1~3, 第2表), ピット6口 (p4~9)

出土遺物 (第51図, 第20表) 土師器坏・高台付坏・甕 (045), 須恵器坏 (041~043)・甕・壺・長頸瓶,

あかやき土器坏 (044)・甕, 石製品 (砥石), 鉄製品 (刀子)

時期 9世紀中葉

・土坑

RD 2 1 7 3 (第26図)

位置 II区南東部 重複関係 なし 平面形 不整楕円形

規模 長軸0.6m, 短軸0.5m, 深さ0.18m 埋土 A1層, B1層 (第13表) 遺物 なし

時期 古代以降

・堀跡

RG 2 7 3 (第25・26図)

位置 II区東部 重複関係 RG 4 6 1 (同時期), RA 6 6 6 (古)

規模等 北西から南東に走る。幅1.8~2.6m, 延長28.3m以上, 深さ0.5~0.6m。

埋土 A1層, B1~3層, C1層, D1・2層, E1層, F1層 (第13表, RG 4 6 1と共通)

遺物 (第51図, 第20表) 土師器坏・甕, 須恵器坏・甕・壺, あかやき土器坏・甕破片, 手づくねかわらけ
(046, 12世紀中葉~後葉), 相馬灰釉茶碗 (18~19世紀)

時期 古代末

RG 4 6 1 (第26図)

位置 II区東部 重複関係 RG 2 7 3 (同時期)

規模等 南西から北東に走る。幅2.0m以上, 延長2.0m以上, 深さ0.7m。

埋土 A1層, B1~3層, C1層, D1・2層, E1層, F1層 (第13表, RG 2 7 3と共通)

遺物 (第51図, 第20表) 土師器坏 (047, 墨書土器「十」)・甕破片

時期 古代末

・溝跡

RG 4 9 7 (第25図)

位置 II区北東部 重複関係 なし

規模等 北西から南東に走る。幅0.3m以上, 延長4.5m以上, 深さ0.1m。

埋土 A1・2層, B1層 (第13表) 遺物 なし 時期 古代以降

RG 6 1 3 (第25図)

位置 II区北東部 重複関係 なし

規模等 北西から南東に走る。幅0.4~0.5m, 延長7.0m以上, 深さ0.12m。

埋土 A1層, B1層, C1層 (第13表) 遺物 なし 時期 古代以降

・ピット

調査区内に古代以降のピット9口を検出した (第25・26図)。各ピットの規模は第7表のとおりである。
ピット埋土より土師器甕 (第51図048, 第20表), 須恵器坏破片が出土している。

Ⅲ区

・竪穴建物跡

RA667 (第28・29図)

位置 Ⅲ区北西部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形 (北西部の一部が調査区外)

規模 北西-南東7.5m, 北東-南西7.7m, 深さ0.1~0.25m

カマド方向 N28.5° W, 北西カマド, 長い煙道 (1.9m), 煙道底面が煙出しに向かって下がっていく

カマド 両袖残存, 焚口の焼土面あり

埋土 A1・2層, B1・2層, C1層, D1層, E1層, J1~13層, K1・2層, L1層 (第14表)

床面 カマドの付く北東辺壁際を除き周溝がめぐり, 硬化面あり (特にカマド前と中央南東部が非常に硬い), 中央部に焼土面, 一部に粘土塊, 床構築土あり

柱穴 主柱穴4口 (p1~4, 第3表), 貯蔵穴3基 (p8・14・19), 地鎮跡1基 (p9, 人為堆積土, 第14表), ピット13口 (p5~7・10~13・15~18, 20・10, うちp6・13・15・21には柱痕跡あり)

出土遺物 (第52・53・54図, 第21・23表) 土師器非ロクロ内黒坏 (049~056)・甕 (057~061)・球胴甕 (062)・小型壺 (063, 赤彩), 土製品 (勾玉 (066・067)・土玉 (069)), 石製品 (紡錘車 (070, p4埋土)・環状石製品 (071)), 布状製品 (床面)

時期 8世紀中葉~後葉

・土坑墓

RD2174 (第30図)

位置 Ⅲ区南東部 重複関係 なし 平面形 隅丸長方形

規模 長辺1.4m, 短辺0.9~1.3m, 深さ0.33~0.43m

埋土 A1層, B1層, C1層, D1層, L1層 (第15表), A層に焼土粒・炭化物が混じる

底面 底面構築土あり

遺物 (第54図, 第23表) 土師器非ロクロ坏・甕・球胴甕破片, 土製品 (勾玉 (068))

時期 8世紀代

RD2175 (第30図)

位置 Ⅲ区南東部 重複関係 なし 平面形 隅丸長方形

規模 長辺2.0m, 短辺0.8m, 深さ0.47~0.6m

埋土 A1層, B1層, C1層, D1層, E1層, F1層, L1層 (第15表), B層に焼土・炭化物が多量に混じる, F層に白色粘土が少量混じる

底面 底面構築土あり

遺物 (第53図, 第21表) 土師器非ロクロ坏 (064)・高台付坏・甕・小型壺・甗^{こしき}破片

時期 8世紀代

RD2176 (第30図)

位置 Ⅲ区南東部 重複関係 なし 平面形 隅丸長方形

規模 長辺1.98m, 短辺0.9m, 深さ0.55~0.7m

埋土 A1層, B1層, C1~3層, D1層, E1・2層 (第15表), B・C層に炭化物が多量に混じる
遺物 (第54図, 第23表) 土師器非ロクロ坏・甕, 鉄製品 (刀子 (072))
時期 8世紀代

・土坑

RD2177 (第30図)

位置 Ⅲ区北西部 重複関係 なし 平面形 不整楕円形

規模 長軸1.05m, 短軸0.85m以上, 深さ0.76m

埋土 A1層, B1層, C1・2層, D1層, E1・2層 (第15表), E層に焼土粒・炭化物が多量に混じる

遺物 土師器坏・甕の破片少量 時期 古代以降

RD2178 (第30図)

位置 Ⅲ区東部 重複関係 なし 平面形 不整楕円形

規模 長軸1.0m, 短軸0.7m, 深さ0.25~0.3m 埋土 A1・2層, B1層, C1層 (第15表)

遺物 なし 時期 古代以降

・堀跡

RG461N (第31・33図)

位置 Ⅲ区北西部 重複関係 なし

規模等 南西から北東に走る。幅1.4m以上, 延長3.5m以上, 深さ0.66m。

埋土 A1・2層, B1・2層, C1層, D1層, E1層, F1層 (第15表, RG461Sと共通), 全体に酸化鉄
が混じる。

遺物 なし 時期 古代末

RG461S (第32・33図)

位置 Ⅲ区南西部 重複関係 なし

規模等 北北西から南南東に走る。幅1.75~2.0m, 延長14.6m以上, 深さ0.55m。

埋土 A1・2層, B1・2層, C1層, D1層, E1層, F1層 (第15表, RG461Nと共通), 全体に酸化鉄
が混じる。

遺物 土師器坏・甕の破片 時期 古代末

・溝跡

RG402 (第32・33図)

位置 Ⅲ区南東部 重複関係 なし

規模等 南南西から北東へ大きくカーブしながら走る。幅0.4~0.5m, 延長13.0m以上, 深さ0.1~0.15m。

埋土 A1層, B1・2層 (第15表)

遺物 土師器坏・甕の破片少量 時期 古代以降

・ピット

調査区内に古代以降のピット53口を検出した（第31～33図）。各ピットの規模は第8表のとおりである。ピット埋土より土師器坏・甕破片が少量出土している。

・遺構外

検出面・攪乱土より、土師器坏・甕の破片が少量出土した。

(4) 第75次調査（平成24年度）

今次調査区は、遺跡の北東部に位置し、共同住宅新築に伴う試掘確認調査として実施した（第1図）。調査対象面積189㎡について、重機により幅約1.4mの試掘トレンチ4本を設定し（調査面積21㎡）、地表下1.25～2.03mの砂礫層及び粘土層上面で遺構・遺物の有無を確認した。その結果、遺構・遺物が確認されなかったため、調査対象範囲について調査終了地区とした。

(5) 第76次調査（平成24年度）

今次調査区は、遺跡の東部に位置し、宅地造成に伴う試掘確認調査として実施した（第1図）。調査対象面積1,628㎡について、重機により幅1.5mの試掘トレンチ6本を設定し（調査面積177㎡）、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、地表下0.7～0.8mで遺構確認を行い、調査区全面から竪穴建物跡・溝跡などが検出された。そのため、遺構検出面を掘削する工事を実施する場合は本調査が必要である旨、事業主と協議し、平成25年度に全面本調査が行われた（第80次調査、徳清倉庫株式会社・盛岡市教育委員会2015）。

第2節 飯岡沢田遺跡（第13次調査）

1. 遺跡の立地

飯岡沢田遺跡は、志波城跡の南東約1.8kmに位置し、北西に野古A遺跡、東に台太郎遺跡、南に飯岡才川遺跡が囲んでいる。なお、本遺跡と北西に隣接する野古A遺跡は、現在は近世に開削された農業用水路である鹿妻新堰により分断されているものの、本来の地形的には一連の集落遺跡であったと考えられる。志波城跡や周囲の遺跡と同様に低位沖積段丘上にあり、その北東部にあたり、遺跡の東側は旧河道に面している。遺跡範囲は東西約340m、南北約310mをはかる（第2図）。

2. 調査内容

(1) 第13次調査（平成22年度）

今次調査区は、遺跡の西部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した（第2図）。調査面積は5,730㎡。重機により表土を除去し、遺構検出を行った。

a. 遺構と遺物

検出された遺構は、古代の竪穴建物跡2棟（RA032・033）、竪穴状遺構1基（RE007）、土坑11基（RD162～172）、溝跡2条（RG023・024）である（第34～36図）。

・竪穴建物跡

RA032（第37・38図）

位置 調査区北部 重複関係 なし（南西部が攪乱により削平） 平面形 方形

規模 東西5.3m、南北4.95m、深さ0.2～0.25m

カマド方向 E7.0° N、東カマド、長い煙道（2.0m） カマド 焚口の焼け面あり

埋土 A1～3層、B1～3層、C1層、D1層、E1・2層、F1～9層、J1～4層、L1層（第16表）

床面 周溝あり（底面に小ピット）、床構築土あり、カマド付近に遺物が散布、床面南東隅に貯蔵穴1基（p5）

柱穴 主柱穴2口（p1・2、第4表）、ピット2口（p3・4、入口施設か）

出土遺物（第56図、第24表） 土師器非ロクロ坏（073）、土師器内黒ロクロ坏（074～076）・内外黒色耳皿（077）・甕、あかやき土器坏（078・079）・小型坏（080）・高台付坏（081）・甕（082・083）、刻書土器「×」（079）

時期 9世紀後葉～10世紀

RA033（第39図）

位置 調査区北西部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形

規模 北西－南東3.45m、北東－南西3.85m、深さ0.5m

カマド方向 N41.5° W、北西カマド、長い煙道（トンネル状、1.05m）

カマド 両袖残存、焚口の焼け面あり

埋土 A1・2層、B1～3層、C1～3層、D1層、J1～9層、K1～3層、L1層（第16表）

床面 床構築土あり，東半部に遺物が散布 柱穴 なし

出土遺物 (第57図，第24表) 土師器非ロクロ坏・埴 (084)・高台付坏 (085・086)，土師器内黒ロクロ坏・甕 (087・088)，須恵器高台付坏

時期 8世紀後葉～9世紀前葉

・ 竪穴状遺構

RE007 (第40図)

位置 調査区北東部 重複関係 なし (北部が攪乱により削平) 平面形 隅丸方形か

規模 南北2.85m，東西2.0m以上，深さ0.08m 遺物 あかやき土器坏，土師器甕破片

時期 9世紀代か

・ 土坑

RD162 (第40図)

位置 調査区北西部 重複関係 なし 平面形 隅丸長方形

規模 長辺1.5m，短辺1.1m，深さ0.35m

埋土 A1・2層，B1・2層，C1・2層 (第16表)，壁際に焼土面あり

遺物 (第57図，第24表) 土師器非ロクロ坏破片，土師器甕 (089) 時期 8世紀後葉～9世紀前葉

RD163 (第40図)

位置 調査区北西部 重複関係 なし 平面形 隅丸長方形

規模 長軸1.0～1.1m，短軸0.9m，深さ0.1～0.13m 埋土 A1層，B1層，C1層，D1層 (第16表)

遺物 土師器甕底部破片 時期 古代

RD164 (第41図)

位置 調査区北西部 重複関係 なし 平面形 隅丸長方形

規模 長軸2.2m，短軸0.5m，深さ0.33m 埋土 A1層，B1層，C1・2層 (第16表)

遺物 土師器甕破片 時期 古代

RD165 (第41図)

位置 調査区南部 重複関係 なし 平面形 隅丸長方形

規模 長軸1.15m，短軸0.93m，深さ0.23m 埋土 A1・2層，B1層 (第16表)

遺物 なし 時期 古代

RD166 (第41図)

位置 調査区南部 重複関係 なし 平面形 不整長円形

規模 長軸2.15m，短軸0.6～0.75m，深さ0.3m 埋土 A1層，B1・2層，C1層 (第16表)

遺物 土師器甕 時期 古代

RD167 (第41図)

位置 調査区南部 重複関係 なし 平面形 不整円形 規模 径0.8~0.85m, 深さ0.2m
埋土 A1層, B1・2層, C1層 (第17表) 遺物 なし 時期 古代

RD168 (第42図)

位置 調査区南部 重複関係 なし 平面形 溝状
規模 長さ2.45m, 幅0.65~0.8m, 深さ0.3~0.6m
埋土 A1層, B1層, C1層 (第17表) 遺物 なし 時期 古代

RD169 (第42図)

位置 調査区南部 重複関係 なし 平面形 溝状
規模 長さ2.5m, 幅0.85~1.0m, 深さ0.25~0.55m
埋土 A1層, B1・2層, C1層, D1層 (第17表) 遺物 なし 時期 古代

RD170 (第42図)

位置 調査区南東部 重複関係 なし 平面形 不整長円形
規模 長軸1.25m, 短軸0.8m, 深さ0.3m
埋土 A1・2層, B1層 (第17表) 遺物 なし 時期 古代

RD171 (第42図)

位置 調査区南東部 重複関係 なし 平面形 不整長円形
規模 長軸0.9m, 短軸0.45~0.65m, 深さ0.12m
埋土 A1・2層, B1層 (第17表) 遺物 なし 時期 古代

RD172 (第42図)

位置 調査区南東部 重複関係 なし 平面形 不整長円形
規模 長軸1.6m, 短軸0.75~0.85m, 深さ0.12m
埋土 A1層 (第17表) 遺物 なし 時期 古代

・溝跡

RG023 (第43図)

位置 調査区北西部 重複関係 なし
規模等 北西から南東に走る。幅0.3~0.5m, 延長40.7m以上, 深さ0.1m。
埋土 A1層, B1層 (第17表) 遺物 土師器甕, あかやき土器甕破片 時期 古代以降

RG024 (第43図)

位置 調査区南東部 重複関係 なし
規模等 ほぼ南北に走る。幅0.3~0.5m, 延長22.2m以上, 深さ0.1~0.2m。 時期 古代以降

第3節 夕覚遺跡（第7・10次調査）

1. 遺跡の立地

夕覚遺跡は、志波城跡の南東約3kmに位置し、北西方約100mに焼野遺跡がある。低位沖積段丘上にあるが、周囲を小規模な旧河道に囲まれており、東西に細長い中洲状となっている。遺跡の西側約1/3が盛岡南新都市開発整備事業区域（都市再生機構施工）、中央北半約1/3が都市再生整備計画事業区域（盛岡市施工、道明地区土地区画整理事業）となっている。遺跡面積は東西約750m、南北の幅約60～150mをはかる（第3図）。なお、道明地区土地区画整理事業に伴い実施した第8・9次調査（平成22年度）、第11次調査（平成24年度）の調査成果は別途報告予定である。

2. 調査内容

(1) 第7次調査（平成22年度）

今次調査区は、遺跡の西部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した（第3図）。調査対象面積894㎡について重機により表土を全面除去し、遺構検出を行ったが、遺構・遺物は確認されなかった。

(2) 第10次調査（平成22年度）

今次調査区は、遺跡の西部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査（トレンチ調査）として実施した（第3図）。調査区は平成22年度の第7次調査区の北側に隣接しており、調査対象面積1,306㎡について、重機により幅2.0mの試掘トレンチ3本を設定し（調査面積264㎡）、地表下0.27～0.56mの褐色～黄褐色シルト層上面で遺構・遺物の有無を確認した。その結果、既存住宅の基礎や配管工事、また農作業による攪乱を受け、遺構・遺物が確認されなかったため、調査対象範囲について調査終了地区とした。

挿表3 古代竪穴建物跡一覧表

遺跡名	次数	遺構名	カマド方向	煙道	カマド袖	一辺長 (m)	貯蔵穴	床硬化面	主柱穴	周溝	灰白色火山灰 (十和田a)	時期
台太郎	72I	RA662	N 7.0° E 北	長い煙道	両袖残存	3.38~4.3	なし	なし	なし	周溝あり	なし	8世紀中葉
	74I	RA661	W 42.0° N 北西	長い煙道 (本来はトンネル状)	両袖残存	5.45	なし	なし	2口	周溝あり	なし	8世紀後葉~ 9世紀前葉
		RA662	N 23.0° W 北西	長い煙道	両袖残存	6.0~6.2	1基	なし	4口	周溝あり	なし	8世紀後葉~ 9世紀前葉
		RA663	不明(北西か)	不明	不明	3.3以上	なし	なし	なし	周溝あり	なし	8世紀後葉~ 9世紀前葉
		RA664 a	N 10.0° W 北	長い煙道	両袖残存	4.3~4.8	1基	なし	4口	なし	なし	9世紀中葉
		RA664 b	N 1.5° W 北	長い煙道	なし	4.3~4.8	1基	なし	4口	なし	なし	9世紀中葉
		RA665	不明(西か)	不明	不明	3.3~3.9	なし	なし	なし	なし	なし	9世紀中葉
	74II	RA666	不明(北東か)	不明	不明	5.35~5.55	なし	硬化面あり	3口	なし	なし	9世紀中葉
	74III	RA667	N 28.5° W 北西	長い煙道	両袖残存	7.5~7.7	3基	硬化面あり	4口	周溝あり	なし	8世紀中葉
遺跡名	次数	遺構名	カマド方向	煙道	カマド袖	一辺長 (m)	貯蔵穴	床硬化面	主柱穴	周溝	灰白色火山灰 (十和田a)	時期
飯岡沢田	13	RA032	E 7.0° N 東	長い煙道	なし	4.95~5.3	1基	なし	2口	周溝あり	なし	9世紀後葉~ 10世紀
		RA033	N 41.5° W 北西	長い煙道 (トンネル状)	両袖残存	3.45~3.85	なし	なし	なし	なし	なし	8世紀後葉~ 9世紀前葉

第4章 総括

1. 調査のまとめ

盛岡市教育委員会で行った平成22～24年度の台太郎遺跡・飯岡沢田遺跡・夕覚遺跡の発掘調査により、第3章に記載した内容の成果を得ることができた。

以下、遺構の精査を行った各本調査の内容のまとめを行い、総括とする。なお、精査された古代の竪穴建物（住居）の一覧は挿表3のとおりである。また、古代土器群の年代観は、津嶋2013・2015に従った。

台太郎遺跡第72次調査

台太郎遺跡の中央部で実施した第72次調査では、I区において古代の竪穴建物跡1棟（RA652）・土坑1基（RD2140）、古代以降の竪穴状遺構2棟（RE085・086）・土坑5基（RD2137～2139・2141）・溝跡4条（RG602～605）、ピットを検出した。

古代の竪穴建物RA652は、北カマドで長い煙道を持つ一辺3.38～4.3m（推定）の中型住居であり、壁際全周に周溝がめぐっている。屋根を支える支柱穴は検出されなかった。竪穴の埋没途中に不整形土坑が大きく掘り込まれたと考えられ、多くの土器・石製品・礫・炭化材・粘土を一括廃棄している（写真第3図版）。出土土器は土師器のみで、坏が非ロクロ成形で内黒・有段・丸底（001～004）、長胴甕は口縁部が外反し（006・007）、頸部に平行沈線が入るものもある（008）。また大型の球胴甕が2点出土しており（009・010）、010の頸部には鋸歯状沈線がみられる。土師器坏・甕の器形と組成の特徴から、一括廃棄された土器群は8世紀中葉の年代が考えられる。

I区の西方、第68次調査区に隣接するII・III区では、攪乱等により遺構は確認されなかったものの、肥前染付や瀬戸美濃染付などの近世陶磁器が出土している。

台太郎遺跡第74次調査

第74次調査は、遺跡中央部のI区、東部東のII区、東部西のIII区に大きく分かれており、検出された遺構の総計は、古代の竪穴建物跡7棟（RA661～667）・土坑10基（RD2163～2172）・土坑墓3基（RD2174～2176）、古代末の堀跡（RG273・461）、古代以降の土坑3基（RD2173・2177・2178）・溝跡5条（RG475・612・497・613・401）・方形周溝（RG597）、中世の堀跡（RG424）、ピットである。

〔I区〕

第68次調査区の北側に隣接し、古代の竪穴建物跡5棟（RA661～665）・土坑10基（RD2163～2172）、古代以降の溝跡2条（RG475・612）・方形周溝（RG597）、中世の堀跡（RG424W・E）、ピットを検出した。

古代の竪穴建物跡（住居）のうち、直接重複があるのはRA663とRA665のみであるが、位置関係からRA661とRA663も同時存在ではない。また、RA664のみ複数の煙道があり、建て替えが認められる。

8世紀後葉～9世紀前葉の年代が考えられる竪穴建物は3棟（RA661～663）。うちRA661・662は、ともに一辺5.45～6.2mの大型住居であり、カマド方向も北西カマドと共通、また支柱穴と周溝・間仕切り状溝が

あることから、ほぼ同じ構造を持つ8世紀代に特徴的な大型住居であったと考えられる。出土土器は、非ロクロ成形・内黒・有段風沈線・丸底の土師器坏(012~014)、長胴甕(015~017, 019・020)、球胴甕(018・021)などであり、木枝を差し込むタイプの甗こしき(023)がRA662より出土している。

9世紀中葉の年代が考えられる竪穴建物は2棟(RA664・665)。うちRA664は新旧2時期の煙道が残る一辺4.3~4.8mの中型住居である。カマド方向は2時期とも北カマドであり、周溝はなく、支柱穴状のピットを持つ。カマド付近の床面に繊維状炭化物が検出され(写真第8図版)、ムシロなど植物繊維の編み物と考えられる。埋土や床面より、ロクロ成形・内黒の土師器坏(024)、須恵器坏(025~029)、あかやき土器坏(030~032)、土師器甕(034)、あかやき土器甕(035)が出土しており、坏の底径と、須恵器が多く組成することから、出土土器群は9世紀中葉の年代が考えられる。また、口縁部の一部と台部を欠いて灯明皿に転用したと考えられる土師器高台付坏(033)や、小鍛冶用と考えられる土製のフイゴ羽口(065)も出土している。

中世の堀跡RG424W・Eは、調査区内を北から南に走り、調査区南部で東へ屈曲している。幅3.2~3.6m・深さ0.7~0.9mを測り、北と東の延長は隣接する第45次調査区へ続いている。この堀跡は、東西約160m・南北約110mの範囲を不整五角形で一部二重に堀が囲む中世居館跡の南西部であり、二重区画の内側にあたる古い時期の堀のコーナー部分と考えられる。埋土からは古代の土器やかかわらけの破片が出土したのみで、中世の年代を明確に示す遺物は出土していない。

方形周溝RG597は、南半部が第68次調査でも検出されている全体形が隅丸長方形の区画溝で、東西9.7~10.5m・南北15.7m、溝幅1.2~2.0m、深さ0.35~0.6mを測る。東西方向の溝が内部を南北の2区画に分割しているが、時期変遷が想定され、当初のより小規模な溝により隅丸正方形周溝が連結する形から、全体をやや規模の大きい溝で隅丸長方形になるよう掘り直していると考えられる。埋土からは古代の土器のほか中近世陶磁器が出土している。方形周溝の内部は北東部にRG424堀跡が重複しており、検出されている土坑やピットは建物や施設を構成する配置とは見られない。中世の堀跡埋没後、近世に設置された何らかの施設を区画した溝であろう。

古代の竪穴建物跡(RA664)A層からではあるが、古瀬戸灰釉壺(瓶子)の体部上半破片が出土しており、唐草状のヘラ描き文様がみられ、窖窯Ⅲ期(13世紀末~14世紀)と考えられる(写真第31図版)。

〔Ⅱ区〕

古代の竪穴建物跡1棟(RA666)、古代末の堀跡(RG273・461)、古代以降の土坑1基(RD2173)・溝跡2条(RG497・613)、ピットを検出した。

古代の竪穴建物RA666は、一辺5.35~5.55mの大型住居であり、カマドと煙道は調査区外(北東または南東カマドか)であるが、しっかりした支柱穴を持ち、床には硬化面が大きく広がる。須恵器坏(041~043)、あかやき土器坏(044)などが出土しており、9世紀中葉の年代が考えられる。

RG273堀跡は調査区を北西から南東に走り、RG461堀跡が南西から結合している。RG273埋土下部D2層より手づくねかわらけ(046)が出土しており(写真第13図版)、古代末12世紀中葉~後葉の年代が考えられる。堀跡全体では南北120~130m、東西80~90mを方形2郭に区画している。

〔Ⅲ区〕

古代の竪穴建物跡1棟(RA667)・土坑墓3基(RD2174~2176)、古代末の堀跡(RG461S・N)、古代以降の土坑2基(RD2177・2178)・溝跡1条(RG401)、ピットを検出した。

古代の竪穴建物RA667は、一部が調査区外となっているものの、一辺7.5~7.7mの特大型住居である。カ

マド方向は北西カマドで、長い煙道の底面が煙出しに向かってスロープ状に下がっている。床面からの深さが0.5～0.77mと深く柱痕跡のある支柱穴を持ち、一部底面には木柱の圧痕がみられる（写真第15図版）。支柱穴底部平面形や柱圧痕が方形であることから、建材として角柱が使用されていたと推定される。カマドの付く北壁を除き壁際には周溝がめぐり、カマド付近と南側中央部の床面が非常に硬い硬化面となっている。床面に3基の貯蔵穴があるほか、床構築土下から地鎮跡と考えられる人為堆積のピットが1口検出されている。埋土と床面からの出土土器は土師器のみであり、坏は非ロクロ成形で内黒・有段・丸底（049～056）、長胴甕は口縁部が外反し（057～060）、頸部に平行沈線が入るもの（061）もある。また、球胴甕（062）が床面から、赤彩された小型壺（063）が埋土上部より出土している。土師器坏・甕の器形と組成の特徴から、出土土器群は8世紀中葉～後葉の年代が考えられる。堅穴建物床面や支柱穴埋土より、土製勾玉（066・067）・土玉（069）・環状石製品（071）などの装飾品や、白色石材の石製紡錘車（070）、用途は不明だが白色の布状製品（写真第16図版）といった特殊な遺物が多く出土していること、また平面規模が特大で突出していることから、エミシ集団の族長クラスの住まいと考えられる。

調査区南東部に、平面形が隅丸長方形の土坑墓が3基（RD2174～2176）まとまって検出された（写真第17図版）。長辺が1.4～2.0m、短辺が0.8～0.9mを測り、焼土粒や炭化物が多く混じる埋土が共通している。出土した土製勾玉（068）や、2つに折れてばらばらに出土した刀子（072）は、副葬品と考えられる。RD2175の埋土最下層より非ロクロ成形で内黒・有段・丸底の土師器坏が出土していることから、8世紀代（中葉か）の土坑墓群と考えられる。

RG461S・Nは、県埋文第22次調査（RG273）・第66次調査（RG461）に続く古代末の堀跡であり、幅1.75～2.0m、深さ0.55～0.66mを測る。調査区西側隣接地が方形区画の北西コーナーにあたりと考えられ、Ⅱ区で検出されている古代末の堀跡へと連続している。

飯岡沢田遺跡第13次調査

飯岡沢田遺跡の西部で実施した第13次調査では、古代の堅穴建物跡2棟（RA032・033）、堅穴状遺構1基（RE007）、土坑11基（RD162～172）、溝跡2条（RG023・024）を検出した。

調査区北西部にある古代の堅穴建物RA033は、一辺3.45～3.85mの中型住居。検出面からの深さが0.5mを測り、北西カマドでトンネル状の煙道を持つ。床面に支柱穴は検出されなかった。埋土下層と床面から、非ロクロ成形の内外黒色土師器埴（084）、内黒・有段の土師器高台付坏（085）、柱状高台・内黒の土師器高台付坏高台部（086）、口縁部が外反する土師器甕（087～088）が出土しており、8世紀後葉～9世紀前葉の年代が考えられる。

RA033の北東約19m離れた位置にRA032堅穴建物が検出された。南西部が大きく攪乱されているが、一辺4.95～5.3mの大型住居。東カマドと長い煙道を持ち、カマドの付く東辺の一部を除き壁際に周溝がめぐり、床面に支柱穴と貯蔵穴、東辺壁際には入口施設と推定されるピット2口が検出された。カマド付近の床面から煙道底面にかけて遺物が多く散布しており（写真第20図版）、ロクロ成形・内黒の土師器坏（074～076）、内外黒色の土師器耳皿（077）、あかやき土器の坏（078）や小型坏（080）、高台付坏台部（081）、甕（082・083）が出土しており、9世紀後葉～10世紀の年代が考えられる。

調査区の西端に検出されたRD162土坑は、平面形が比較的整った隅丸長方形で、長辺1.5m・短辺1.1m・深さ0.35mを測り、壁面の一部に焼土がみられる（写真第21図版）。埋土は、焼土と炭化物が混じる軟質な土層で、非ロクロ成形の土師器坏や甕（086）が出土している。平面の長軸方向の傾きが北西～南東方向であ

り、東方約12mにあるRA033竪穴建物のカマド方向と近似して揃っていることから、同時期の8世紀後葉～9世紀前葉の年代が考えられ、内部で物を燃やした何らかの施設（儀式か）とみられる。

飯岡沢田遺跡の西半部で盛岡市教育委員会が実施した第8次・11次・13次調査では、精査された古代の竪穴建物跡が4棟（RA021・031～033）のみであり、多数の竪穴建物跡と円形周溝墓・土坑墓等が重複して精査された東半部とは大きく様相が異なり、閑散とした古代集落縁辺部であったことが明らかとなった。

【引用・参考文献】

- 津嶋知弘 2004 「志波城と蝦夷社会」『古代蝦夷と律令国家』蝦夷研究会編 高志書院
- 津嶋知弘 2013 「古代「斯波（志波）」郡北部の土器群変遷（その1）－雫石川南岸所在遺跡の盛岡市教育委員会発掘調査資料を中心に－」盛岡市遺跡の学び館学芸レポートVol.2（盛岡市ホームページ）
- 津嶋知弘 2015 「古代「斯波（志波）」郡北部の土器群変遷（その2）－雫石川南岸所在遺跡の盛岡市教育委員会発掘調査資料②－」盛岡市遺跡の学び館学芸レポートVol.4（盛岡市ホームページ）
- 盛岡市遺跡の学び館 2007 『まちづくりと考古学－盛南開発と遺跡発掘調査－』第6回企画展図録
- 盛岡市教育委員会編 2016 『志波城跡と蝦夷（エミシ）』盛岡市文化財シリーズ第43集

表

第1表 台太郎遺跡第74次調査Ⅰ区竪穴建物跡主柱穴規模等一覧表

遺構	柱穴	径 (m)	深さ (m)	平面形	柱痕跡
RA661竪穴住居跡	p 1	0.25~0.30	0.35	不整円形	あり
	p 2	0.37~0.45	0.40	不整長円形	なし
RA662竪穴住居跡	p 1	0.40~0.45	0.32	不整円形	あり
	p 2	0.22~0.25	0.08	不整円形	なし
	p 3	0.30	0.12	不整円形	なし
	p 4	0.30~0.35	0.15	不整円形	なし
RA664竪穴住居跡	p 1	0.35~0.45	0.22	不整楕円形	なし
	p 2	0.40~0.45	0.16	不整円形	なし
	p 3	0.25	0.10	不整円形	なし
	p 4	0.30	0.15	不整円形	なし

第2表 台太郎遺跡第74次調査Ⅱ区竪穴建物跡主柱穴規模等一覧表

遺構	柱穴	径 (m)	深さ (m)	平面形	柱痕跡
RA666竪穴住居跡	p 1	0.30	0.38	不整円形	あり
	p 2	0.30	0.38	不整円形	あり
	p 3	0.25~0.40	0.45	不整楕円形	あり

第3表 台太郎遺跡第74次調査Ⅲ区竪穴建物跡主柱穴規模等一覧表

遺構	柱穴	径 (m)	深さ (m)	平面形	柱痕跡
RA667竪穴住居跡	p 1	0.70	0.56	不整円形	あり
	p 2	0.45~0.60	0.60	不整楕円形	あり
	p 3	0.60~0.70	0.50	不整楕円形	あり
	p 4	0.45~0.55	0.77	不整楕円形	あり

第4表 飯岡沢田遺跡第13次調査竪穴建物跡主柱穴規模等一覧表

遺構	柱穴	径 (m)	深さ (m)	平面形	柱痕跡
RA032竪穴住居跡	p 1	0.35	0.15	不整円形	あり
	p 2	0.45	0.40	不整円形	なし

第5表 台太郎遺跡第72次調査ピット計測表

No.	径 (m)	深さ (m)	No.	径 (m)	深さ (m)	No.	径 (m)	深さ (m)
1	0.30~0.35	0.08	7	0.26	0.13	13	0.40~0.60	0.20
2	0.35~0.43	0.10	8	0.27~0.40	0.09	14	0.38~0.60	0.16
3	0.50~0.76	0.24	9	0.25~0.30	0.09	15	0.28	0.09
4	0.33~0.37	0.16	10	0.27	0.10	16	0.40~0.50	0.23
5	0.35	0.10	11	0.30	0.22	17	0.40	0.13
6	0.32	0.14	12	0.32	0.18			

第6表 台太郎遺跡第74次調査I区ピット計測表

No.	径 (m)	深さ (m)	No.	径 (m)	深さ (m)	No.	径 (m)	深さ (m)
1	0.10	0.15	25	0.07	0.30	49	0.13	0.45
2	0.10	0.15	26	0.12	0.50	50	0.16~0.19	0.40
3	0.11~0.14	0.45	27	0.10~0.12	0.10	51	0.10~0.14	0.20
4	0.11~0.12	0.35	28	0.08	0.20	52	0.12~0.16	0.15
5	0.10~0.12	0.15	29	0.08	0.10	53	0.11	0.10
6	0.10	0.20	30	0.09~0.11	0.15	54	0.13~0.22	0.15
7	0.13	0.30	31	0.11	0.15	55	0.23	0.15
8	0.14	0.20	32	0.20~0.27	0.15	56	0.16	0.15
9	0.11	0.15	33	0.07	0.10	57	0.18~0.25	0.25
10	0.11	0.10	34	0.20	0.45	58	0.15~0.19	0.20
11	0.13~0.15	0.30	35	0.12~0.14	0.35	59	0.11	0.20
12	0.11~1.13	0.25	36	0.11	0.20	60	0.35以上	0.30
13	0.10~0.13	0.15	37	0.09	0.10	61	0.20~0.22	0.35
14	0.11	0.15	38	0.09	0.10	62	0.10	0.10
15	0.14	0.25	39	0.11	0.10	63	0.08	0.10
16	0.07~0.09	0.25	40	0.10	0.20	64	0.14~0.19	0.20
17	0.13	0.15	41	0.14	0.25	65	0.10	0.35
18	0.11~0.14	0.25	42	0.20~0.24	0.60	66	0.07~0.11	0.30
19	0.08~0.11	0.20	43	0.23	0.20	67	0.16~0.19	0.35
20	0.13	0.20	44	0.13	0.40	68	0.11	0.20
21	0.11~0.14	0.10	45	0.25	0.20	69	0.10	0.40
22	0.10~0.12	0.40	46	0.10	0.10	70	0.10	0.20
23	0.11	0.35	47	0.24	0.25			
24	0.12	0.35	48	0.07	0.15			

第7表 台太郎遺跡第74次調査Ⅱ区ピット計測表

No.	径 (m)	深さ (m)	No.	径 (m)	深さ (m)	No.	径 (m)	深さ (m)
1	0.35	0.20	4	0.30	0.08	7	0.20~0.25	0.10
2	0.20	0.40	5	0.35~0.45	0.44	8	0.35	0.20
3	0.20	0.30	6	0.20	0.10	9	0.20	0.16

第8表 台太郎遺跡第74次調査Ⅲ区ピット計測表

No.	径 (m)	深さ (m)	No.	径 (m)	深さ (m)	No.	径 (m)	深さ (m)
1	0.60~0.70	0.60	19	0.25	0.15	37	0.25	0.40
2	0.30	0.15	20	0.25	0.15	38	0.35	0.35
3	0.50~0.65	0.20	21	0.30	0.15	39	0.35	0.20
4	0.70~0.80	0.35	22	0.35	0.10	40	0.20	0.20
5	0.40	0.35	23	0.25	0.15	41	0.30	0.25
6	0.40	0.70	24	0.30	0.15	42	0.30	0.25
7	0.30	0.65	25	0.40	0.15	43	0.20	0.20
8	0.25	0.25	26	0.25~0.40	0.20	44	0.30	0.15
9	0.30	0.15	27	0.30	0.20	45	0.35	0.20
10	0.40	0.20	28	0.40	0.15	46	0.25	0.15
11	0.30	0.20	29	0.30	0.25	47	0.35	0.15
12	0.30~0.50	0.15	30	0.50	0.30	48	0.25	0.20
13	0.30~0.40	0.10	31	0.30	0.35	49	0.20	0.30
14	0.40	0.20	32	0.40	0.40	50	0.25	0.30
15	0.40	0.20	33	0.30	0.45	51	0.30	0.15
16	0.30~0.50	0.20	34	0.30~0.40	0.15	52	0.30	0.20
17	0.65	0.20	35	0.25	0.20	53	0.30	0.20
18	0.40	0.20	36	0.25	0.30			

第9表 台太郎遺跡第72次調査遺構土層観察表

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RA652 堅穴建物跡	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	15	中	中	
	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	30	中	中	
	A3	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	15	中	中	
	B1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	10	中	中	
	B2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	35	中~硬	中	
	C1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/6明黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	15	中	中	炭化物多く混じる
	C2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/6明黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	30	中	中	炭化物多く混じる
	D1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/6明黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	5	中	中~密	
	D2	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/6明黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	中	中~密	炭化物少量混じる
	E1	10YR4/2灰黄褐色	SiLシルト質埴土	10YR6/8明黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	中	粗~中	砂質、礫多く混じる
	E2	10YR3/2黒褐色	SiLシルト質埴土	10YR6/8明黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	中	粗~中	砂質
	F1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	中	粗~中	
	F2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	5	中	中	
	G1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	5	中	中	
	G2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	中	中	
	G3	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	30	中	中	炭化物・焼土混じる
	G4	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	中	中	炭化物・焼土混じる
	G5	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	中	中~密	
	G6	-	-					-	-	
	H1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/6明黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	5	中	中	周溝埋土
H2	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/8明黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	8	中	中	周溝埋土	
J1	10YR4/3にぶい黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/6明黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	30	中	中	カマド崩壊土	
J2	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	5	中	中	焼土混じる、カマド崩壊土	
J3	5YR4/6赤褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/3にぶい黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	5	中~硬	中~密	カマド崩壊土	
J4	-	-					-	-	カマド崩壊土	
J5	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	5YR5/4にぶい赤褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	20	中	中	カマド崩壊土	
L1	10YR4/3にぶい黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/8明黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	中	中	床構築土	
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RE085 堅穴状遺構	A1	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR7/6明黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	30	中	中~密	酸化鉄混じる
	B1	5Y5/2灰オリーブ色	SiCLシルト質埴壤土	7.5YR6/8橙褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	30	中	中~密	酸化鉄混じる
RE086 堅穴状遺構	A1	10YR4/3にぶい黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	20	中	中~密	
	A2	2.5Y5/2暗灰黄色	SiCLシルト質埴壤土	5YR5/8明赤褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	30	中~硬	中~密	酸化鉄多く混じる
B1	2.5Y6/1灰灰色	SiCLシルト質埴壤土	5YR5/8明赤褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	40	中	中~密	酸化鉄多く混じる	
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RD2137土坑	A1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/6明黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	中	中	酸化鉄多く混じる
	A2	10YR6/6明黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	15	中	中~密	酸化鉄多く混じる
RD2138土坑	A1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/6明黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	30	中	中	
	A2	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/8明黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	5	中	中	
RD2139土坑	A1	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/6明黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	中	中	
	B1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/8黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	15	中	中	
RD2140土坑	A1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/6明黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	5	中	中	
	A2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	30	中	中	
	B1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/3にぶい黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	20	中	中	
	C1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/6明黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	中	中	焼土粒混じる
D1	10YR6/6明黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	20	中	中		
RD2141土坑	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/6明黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	中	中	
	B1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	中	中	
	B2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/8黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	3	中	中	
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RG602溝跡	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	20	中	中	
RG603溝跡	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	20	中	中	
RG604溝跡	A1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	20	中	中~密	
RG605溝跡	A1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/8黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	15	中	中	
	B1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	中	中~密	

第10表 台太郎遺跡第74次調査 I 区遺構土層観察表 (1)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RA661 堅穴建物跡	A1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒~小塊状	20	硬	密	炭化物・焼土粒が混じる。礫少量混じる
	A2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒状	15	硬	密	
				10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状	7			
	B1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	10	中~硬	密	
				10YR5/6黄褐色	SiLシルト質壤土	塊状	7			
	C1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/3にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	塊状	20	硬	密	
	D1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	15	中~硬	中~密	
	D2	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒~小塊状	10	中	中	
	E1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~小塊状	15	中	中~密	周溝埋土
	J1	5YR4/4にぶい赤褐色	SiLシルト質壤土	10YR5/4にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	粒~小塊状	20	中~硬	密	カマド崩壊土。炭化物粒少量混じる
	J2	5YR4/3にぶい赤褐色	SiLシルト質壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	15	中	中	カマド崩壊土。焼土粒・炭化物混じる
				10YR5/3にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	粒~小塊状	7			
	J3	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	5YR3/4暗赤褐色	SiLシルト質壤土	小塊状	7	中	中	カマド崩壊土。炭化物少量混じる
				10YR5/6黄褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	5			
	J4	10YR4/3にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	10	中	中	カマド崩壊土
J5	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/4にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	塊状	20	中	中~密	カマド崩壊土	
L1	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~小塊状	10	硬	密	床構築土	
RA662 堅穴建物跡	A1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	10	硬	密	
				10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状	5			
	A2	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~小塊状	15	硬	密	
				10YR5/6黄褐色	SiLシルト質壤土	粒状	3			
	A3	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	10	中~硬	密	炭化物少量混じる
	B1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒~小塊状	7	中~硬	中~密	炭化物多量に混じる
	B2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/4にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	粒~小塊状	15	中	中	
	C1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	20	中~硬	密	
				10YR5/6黄褐色	SiLシルト質壤土	粒~小塊状	10			
	D1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	塊状	20	中	中	
	E1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒~小塊状	10	中	中~密	周溝埋土
	F1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	7	中~硬	中	間仕切状溝埋土
	G1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/3にぶい黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	15	中~硬	密	貯蔵穴埋土。焼土粒少量。炭化物多量に混じる
				10YR5/6黄褐色	SiLシルト質壤土	粒~小塊状	7			
	J1	10YR5/6明黄褐色	SiCシルト質埴土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	7	硬	密	カマド崩壊土。天井部
	J2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒~小塊状	15	中	中~密	カマド崩壊土。炭化物・焼土粒混じる
	J3	10YR4/3にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	10	中	密	カマド構築土。炭化物少量混じる
				10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	7			
	J4	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	10YR5/4にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	20	中~硬	中~密	カマド構築土
				10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	3			
	J5	7.5YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/4にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	10	中	中	カマド崩壊土。焼土粒混じる
	J6	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	塊状	15	中	中~密	カマド崩壊土。炭化物・焼土粒多量に混じる
	J7	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	10	中	中	カマド崩壊土。炭化物・焼土粒混じる
				10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	塊状	15			
	J8	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	塊状	20	中~硬	密	カマド崩壊土。炭化物・焼土粒多量に混じる
	J9	10YR5/4にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	5YR4/3にぶい赤褐色	SiLシルト質壤土	粒~小塊状	10	中	中	カマド崩壊土
	J10	5YR3/4暗赤褐色	SiLシルト質壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	10	中	中	カマド崩壊土。炭化物混じる
	K1	10YR6/4にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	5	硬	密	カマド構築土
	K2	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	10YR5/8黄褐色	SiLシルト質壤土	粒~小塊状	10	硬	密	カマド構築土
	L1	10YR6/6明黄褐色	SiLシルト質壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~小塊状	15	硬	密	床構築土
RA663 堅穴建物跡	A1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	20	硬	密	焼土粒少量混じる
	A2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~小塊状	10	硬	密	
	B1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	15	硬	密	
				10YR5/6黄褐色	SiLシルト質壤土	塊状	5			
	B2	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	10	硬	密	
				10YR5/6黄褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	10			
	B3	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiLシルト質壤土	塊状	20	中~硬	密	
	C1	10YR6/6明黄褐色	SiLシルト質壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~小塊状	5	中	中	
D1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒状	10	中	密	周溝埋土	
L1	10YR6/6明黄褐色	SiLシルト質壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~小塊状	7	中~硬	密	床構築土	

第11表 台太郎遺跡第74次調査 I 区遺構土層観察表 (2)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RA664a 堅穴建物跡	A1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒~小塊状	15	硬	密	焼土粒・炭化物混じる。礫多量に混じる
	B1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/2灰黄褐色	SiLシルト質壤土	塊状	15	硬	密	炭化物粒・礫混じる
				10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	5			
	C1	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	10YR4/2灰黄褐色	SiLシルト質壤土	粒状	7	硬	密	炭化物多量に混じる。礫少量混じる
	D1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質壤土	塊状	10	硬	密	
	D2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質壤土	粒状	15	中~硬	密	
				10YR5/8黄褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状	5			
	E1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	5	中	中	貯蔵穴埋土。炭化物・焼土塊多量に混じる
	E2	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/3にぶい黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	小塊状	50	中	中	貯蔵穴埋土。炭化物多量に混じる
	J1	5YR5/4にぶい赤褐色	SiLシルト質壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~小塊状	15	中	中	カマド崩壊土。炭化物・焼土粒多量に混じる
	J2	5YR3/3暗赤褐色	SiLシルト質壤土	10YR5/4にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	15	中	中	カマド崩壊土。炭化物・焼土粒少量混じる
	J3	5YR5/4にぶい赤褐色	SiLシルト質壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	10	中	中	カマド崩壊土。炭化物混じる
	J4	5YR5/4にぶい赤褐色	SiLシルト質壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	塊状	20	中	中	カマド崩壊土。炭化物少量混じる
	J5	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒~小塊状	10	中	中	カマド崩壊土
	J6	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/4にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状	7	中	中~密	カマド崩壊土
	K1	10YR4/3にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	10YR6/6明黄褐色	SiLシルト質壤土	粒~小塊状	10	硬	密	カマド構築土。小礫混じる
K2	10YR5/4にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	15	硬	密	カマド構築土	
L1	10YR6/6明黄褐色	SiLシルト質壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~小塊状	10	硬	密	床構築土	
RA664b 堅穴建物跡	J'1	5YR3/3暗赤褐色	SiLシルト質壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	10	中~硬	中~密	旧期カマド崩壊土。炭化物・焼土粒混じる
	J'2	5YR4/3にぶい赤褐色	SiLシルト質壤土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	小塊状	15	中	中~密	旧期カマド崩壊土。炭化物・焼土粒少量混じる
	J'3	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒状	5	中	中	旧期カマド崩壊土。焼土粒微量混じる
	J'4	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒~小塊状	7	中	中	旧期カマド崩壊土。焼土粒少量混じる。砂礫混じる
	J'5	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiLシルト質壤土	小塊状	10	中~硬	密	旧期カマド崩壊土
RA665 堅穴建物跡	A1	10YR3/1黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	10	硬	密	礫多量に混じる
				10YR5/6黄褐色	SiLシルト質壤土	粒~小塊状	5			
	A2	10YR3/1黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	15	中~硬	密	礫が混じる
	C1	10YR4/2灰黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiLシルト質壤土	粒状	10	中~硬	中~密	
10YR2/2黒褐色				SiCLシルト質埴壤土	塊状	20				
				10YR6/6明黄褐色	SiLシルト質壤土	粒状	10			
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RD2163土坑	A1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状	10	硬	密	
	A2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒状	3	中~硬	密	焼土粒少し混じる
	B1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	15	中~硬	中~密	
	C1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	小塊状	10	中	中~密	砂礫混じる
RD2164土坑	A1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	3	中~硬	密	
	A2	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒~小塊状	10	中	中~密	
	B1	10YR4/3にぶい黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	5	硬	密	
C1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	10	中~硬	中~密		
RD2165土坑	A1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒~小塊状	20	硬	密	礫多く混じる
RD2166土坑	A1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/6明黄褐色	SiLシルト質壤土	粒~小塊状	20	中~硬	密	
	B1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	粒状	5	中	中~密	
	C1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状	10	中	中	焼土粒混じる
	C2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	塊状	20	中	中	
	D1	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	15	中~硬	中~密	
RD2167土坑	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	10	中~硬	密	
	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	7	硬	密	
	B1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiLシルト質壤土	塊状	20	中~硬	中~密	
	B2	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/8黄褐色	SiLシルト質壤土	粒~小塊状	15	硬	密	
	C1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒状	10	中	中~密	
D1	10YR6/6明黄褐色	SiLシルト質壤土	10YR3/1黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	30	中~硬	中~密		

第12表 台太郎遺跡第74次調査 I 区遺構土層観察表 (3)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RD2168土坑	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	15	中~硬	密	焼土粒混じる
	B1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	20	中	中~密	砂粒多く混じる
	B2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	5	中~硬	中~密	
	C1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/3にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	粉状	10	硬	密	
	D1	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	7	中	中	
RD2169土坑	E1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	10	中	中~密	
				10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	塊状	7			
RD2170土坑	A1	10YR3/1黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	10	硬	密	焼土粒多量に混じる
	A2	10YR3/1黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒~小塊状	5	中~硬	密	焼土粒混じる
	B1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/3にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	粒状	10	中	中~密	
RD2171土坑	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	5	硬	密	炭化物少量混じる
	B1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/4にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	塊状	20	硬	密	
RD2172土坑	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	小塊状	7	硬	密	炭化物少量混じる
	B1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/4にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	10	中	密	
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RG424掘跡	A1	10YR3/3暗褐色	SiCシルト質埴土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	20	中	中	炭化物・焼土粒が少量混じる
				10YR5/6黄褐色	SiLシルト質壤土	塊状	15			
	A2	10YR3/3暗褐色	SiCシルト質埴土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	15	中	中~密	礫が混じる
				10YR5/6黄褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	10			
	A3	10YR3/3暗褐色	SiCシルト質埴土	10YR3/1黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	10	中	密	礫が混じる
				10YR5/4にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	7			
	B1	10YR4/3褐色にぶい黄褐色	SiCシルト質埴土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	20	中~硬	密	礫が混じる
				10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状	7			
	B2	10YR4/3褐色にぶい黄褐色	SiCシルト質埴土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	15	中	中~密	礫が混じる
				10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	10			
	B3	10YR4/3褐色にぶい黄褐色	SiCシルト質埴土	10YR2/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	10	中	密	礫が混じる
	C1	10YR3/1黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/4にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	5	中~硬	密	礫が混じる
	C2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒状	10	中	中~密	礫が混じる
	C3	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	10	硬	密	礫が混じる
				10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	5			
	D1	10YR3/3暗褐色	SiLシルト質壤土	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	10	中	中	砂利が混じる
				10YR4/4褐色	SiCシルト質埴土	粒~塊状	5			
D2	10YR3/3暗褐色	SiLシルト質壤土	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	5	中	中~密	砂利が多量に混じる	
E1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiLシルト質壤土	粒状	5	中	中	小礫が多量に混じる	
F1	10YR4/4褐色	SiCシルト質埴土	10YR3/3暗褐色	SiCシルト質埴土	粉~粒状	5	軟	密	グライ化、酸化鉄・砂が混じる	
RG597方形周溝	A1	10YR3/2黒褐色	SiCシルト質埴土	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質壤土	粒~小塊状	15	硬	密	炭化物粒が混じる
	A2	10YR2/2黒褐色	SiCシルト質埴土	10YR4/3にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	粒状	7	中~硬	密	炭化物粒が混じる
	B1	10YR3/3暗褐色	SiLシルト質壤土	10YR4/3にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状	10	中~硬	中~密	
	B2	10YR3/3暗褐色	SiLシルト質壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	塊状	15	硬	密	下部に砂が混じる
	C1	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR3/3暗褐色	SiLシルト質壤土	粒状	10	中	中	
	C2	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	10YR3/2黒褐色	SiLシルト質壤土	小塊状	20	中	中~密	
RG475溝跡	A1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状	5	中~硬	密	
				10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒状	5			
A2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	15	硬	密		
RG612溝跡	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/4にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	粒~小塊状	10	中	中~密	

第13表 台太郎遺跡第74次調査Ⅱ区遺構土層観察表

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RA666 堅穴建物跡	A1	10YR3/3暗褐色	SiCシルト質埴土	10YR2/2黒褐色	SiCシルト質埴土	粒~塊状	15	硬	密	炭化物・焼土粒 が多量に混じる
				10YR5/3にぶい黄褐色	SiCシルト質埴土	塊状	7			
	B1	10YR3/1黒褐色	SiCシルト質埴土	10YR5/6黄褐色	SiCシルト質埴土	塊状	30	硬	密	炭化物少量混じる
	B2	10YR2/2黒褐色	SiCシルト質埴土	10YR5/6黄褐色	SiCシルト質埴土	粒状	10	硬	密	炭化物・焼土粒 が多量に混じる
	B3	10YR3/2黒褐色	SiCシルト質埴土	10YR5/6黄褐色	SiCシルト質埴土	塊状	5	中~硬	密	焼土粒多量に混じる
	C1	10YR3/3暗褐色	SiCシルト質埴土	10YR5/3にぶい黄褐色	SiCシルト質埴土	粒~小塊状	15	硬	密	焼土粒・塊少量 混じる
				10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	3			
	C2	10YR3/4暗褐色	SiCシルト質埴土	10YR5/3にぶい黄褐色	SiCシルト質埴土	塊状	10	硬	密	
				10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状	10			
	C3	10YR3/3暗褐色	SiCシルト質埴土	10YR5/3にぶい黄褐色	SiCシルト質埴土	塊状	20	—	—	
D1	10YR5/6黄褐色	SiLシルト質壤土	10YR5/3にぶい黄褐色	SiCシルト質埴土	塊状	15	中~硬	中~密	砂が混じる	
			10YR3/3暗褐色	SiCシルト質埴土	粒~小塊状	10				
L1	10YR5/6黄褐色	SiLシルト質壤土	10YR3/3暗褐色	SiCシルト質埴土	粒~塊状	20	硬	密	床構築土、白色粘 土・礫が混じる	
			10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	塊状	5				
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RD2173土坑	A1	10YR3/3暗褐色	SiCシルト質埴土	10YR5/4にぶい黄褐色	SiCシルト質埴土	粒~塊状	10	硬	密	炭化物混じる
	B1	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR3/4暗褐色	SiCシルト質埴土	塊状	20	中~硬	中~密	
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RG273・461 掘跡	A1	10YR3/2黒褐色	SiCシルト質埴土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	20	硬	密	炭化物・焼土粒多量 に混じる。礫混じる
	B1	10YR2/2黒褐色	SiCシルト質埴土	10YR3/4暗褐色	SiCシルト質埴土	塊状	5	硬	密	炭化物少量混じる。 礫少量混じる
	B2	10YR3/1黒褐色	SiCシルト質埴土	10YR3/4暗褐色	SiCシルト質埴土	粒~塊状	30	硬	密	炭化物・焼土粒少量 混じる。礫混じる
	B3	10YR3/2黒褐色	SiCシルト質埴土	10YR4/3にぶい黄褐色	SiCシルト質埴土	塊状	15	硬	密	礫が多量に混じる
	C1	10YR3/3暗褐色	SiCシルト質埴土	10YR5/4にぶい黄褐色	SiCシルト質埴土	塊状	10	中~硬	密	礫が多量に混じる
	D1	10YR3/2黒褐色	SiCシルト質埴土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	15	中	中~密	礫が少量に混じる
	D2	10YR2/3暗褐色	SiCシルト質埴土	10YR5/6黄褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	7	中	密	焼土粒少量混じる
	E1	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR3/3暗褐色	SiCシルト質埴土	粒状	5	中	中	砂礫が多く混じる
10YR3/2黒褐色				SiCシルト質埴土	10YR4/3にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	粒状			
RG497溝跡	A1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	5	中~硬	密	
	A2	10YR3/1黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	20	硬	密	
	B1	10YR4/4褐色	SiCシルト質埴土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	10	中~硬	中~密	
RG613溝跡	A1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	5	中~硬	密	
	B1	10YR3/1黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/3にぶい黄褐色	SiCシルト質埴土	粒~塊状	20	中	中	
	C1	10YR5/4にぶい黄褐色	SiCシルト質埴土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	10	中~硬	中~密	

第14表 台太郎遺跡第74次調査Ⅲ区遺構土層観察表(1)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RA667 堅穴建物跡	A1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	10	中	中~密	炭化物少量混じる
				10YR5/6黄褐色	SiLシルト質壤土	塊状	15			
	A2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	20	中~硬	密	炭化物・焼土粒 多量に混じる
				10YR5/6黄褐色	SiLシルト質壤土	粒状	7			
	B1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	15	硬	密	炭化物多量に混じる
				10YR5/4にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	粒状	3			
	B2	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	7	硬	密	
				10YR5/4にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	10			
	C1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	5	中	中~密	
	D1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/4にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	塊状	30	中	中	部分的に焼土塊 が多量に混じる
	E1	10YR3/1黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒~小塊状	10	中~硬	中	周溝埋土
	J1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/6明黄褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	20	中~硬	中~密	カマド崩壊土, 焼土粒混じる
	J2	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	7	硬	密	カマド崩壊土
				10YR5/6黄褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	10			
	J3	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	15	中~硬	密	カマド崩壊土
				10YR5/6黄褐色	SiLシルト質壤土	粒状	10			
	J4	10YR6/6明黄褐色	SiLシルト質壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	20	中~硬	密	カマド崩壊土, 焼土 粒・炭化物混じる
				10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	10			
	J5	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/4にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	粒~小塊状	7	中	中~密	カマド崩壊土
	J6	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/4にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	塊状	15	中~硬	中~密	カマド崩壊土, 焼 土粒微量混じる
				10YR6/6明黄褐色	SiLシルト質壤土	塊状	20			
	J7	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	20	中	密	カマド崩壊土, 炭 化物少量混じる
	J8	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	5	中	中	カマド崩壊土, 炭 化物多量に混じる
	J9	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/3にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	塊状	10	中	中	カマド崩壊土, 炭 化物少量混じる
	J10	10YR6/6明黄褐色	SiLシルト質壤土	10YR5/4にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	15	中~硬	密	カマド崩壊土, カマド天井部
				10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	3			
J11	5YR3/3暗赤褐色	SiLシルト質壤土	7.5YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~小塊状	10	中	中	カマド崩壊土, 焼土粒・ 炭化物多量に混じる	
J12	5YR4/6赤褐色	SiLシルト質壤土	5YR3/3暗赤褐色	SiLシルト質壤土	粒~小塊状	15	中	中	カマド崩壊土	
J13	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/4にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	粒状	10	軟~中	中	カマド崩壊土, 焼土粒・ 炭化物多量に混じる	
K1	10YR6/6明黄褐色	SiLシルト質壤土	10YR5/3にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	塊状	20	硬	密	カマド構築土	
			10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	5				
K2	10YR5/4にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~小塊状	10	硬	密	カマド構築土	
L1	-	-	-	-	-	-	-	-	床構築土	
p9 (地鎮跡)	A'1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	3	硬	密	人為堆積
	B'1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	20	中	中~密	人為堆積, 焼土粒・炭化物 多量に混じる
				10YR5/4にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	塊状	15			
	C'1	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	7	中	中	人為堆積, 焼土粒・ 炭化物多量に混じる
				10YR5/6黄褐色	SiLシルト質壤土	塊状	10			
	D'1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/4にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	10	中	中	人為堆積, 焼土粒・ 炭化物多量に混じる
	E'1	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	15	中	粗~中	人為堆積
E'2	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	5	中	粗~中	人為堆積, 焼土 粒少量混じる	

第15表 台太郎遺跡第74次調査Ⅲ区遺構土層観察表 (2)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RD2174土坑	A1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1黒色 10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiLシルト質壤土	粒状 粒~塊状	5 10	硬	密	下部に焼土粒・炭化物混じる
	B1	10YR5/4にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	10	中~硬	密	
	C1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	7	中	中~密	焼土粒少量混じる
				10YR5/3にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	塊状	3			
	D1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	層状	15	中~硬	中~密	炭化物少量混じる
	L1	10YR5/4にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	10	硬	密	底面構築土
10YR6/6明黄褐色				SiLシルト質壤土	塊状	5				
RD2175土坑	A1	10YR3/1黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒状	3	硬	密	焼土粒・炭化物少量混じる
	B1	10YR5/6黄褐色	SiLシルト質壤土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	20	中~硬	中~密	焼土・炭化物が多量に混じる
				10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒~小塊状	5			
	C1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~小塊状	7	中	中~密	炭化物少量混じる
	D1	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	15	中	中	
	E1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~少塊状	10	中~硬	密	
	F1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/3にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	粒状	7	中~硬	密	下部に白色粘土が少量混じる
				10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	15			
L1	10YR5/4にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	10YR6/6明黄褐色	SiLシルト質壤土	塊状	10	硬	密	底面構築土	
RD2176土坑	A1	10YR3/1黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒~少塊状	10	中~硬	密	
	B1	5YR4/4にぶい赤褐色	SiLシルト質壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	20	中	中	炭化物多量に混じる
				10YR5/4にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状	7			
	C1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	15	中	中~密	焼土粒・炭化物混じる
	C2	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiLシルト質壤土	粒状	3	中~硬	密	炭化物多量に混じる
	C3	10YR3/1黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	塊状	10	中~硬	中~密	炭化物微量混じる
	D1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	25	中	中	炭化物混じる
				10YR5/3にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	塊状	7			
	E1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒状	3	中~硬	密	
	A2	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	塊状	10	硬	密	
RD2177土坑	E1	10YR3/1黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	5	中~硬	中~密	
	B1	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	20	中	中~密	
	C1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/4にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	粒状	10	中	中	
	C2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/4にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	20	中	密	
	D1	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	5	中	中~密	
	E1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/4にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	粒~小塊状	10	中	中	
	E2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/4にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	塊状	30	中	中~密	焼土粒・炭化物多量に混じる
	E2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/4にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	塊状	30	中	中~密	焼土粒・炭化物多量に混じる
RD2178土坑	A1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	5	硬	密	
	A2	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	15	中~硬	密	
	B1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	10	中	中	
				10YR6/6明黄褐色	SiLシルト質壤土	塊状	7			
C1	10YR4/3にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	20	中~硬	中~密		
RG461掘跡	A1	10YR3/3暗褐色	SiCシルト質埴土	10YR5/4にぶい黄褐色	SiCシルト質埴土	塊状	30	硬	密	酸化鉄多く混じる
				10YR4/4褐色	SiCシルト質埴土	粒~塊状	10			
	B1	10YR3/2黒褐色	SiCシルト質埴土	10YR6/3にぶい黄褐色	SiCシルト質埴土	塊状	20	硬	密	酸化鉄混じる
	B2	10YR3/2黒褐色	SiCシルト質埴土	10YR6/4にぶい黄褐色	SiCシルト質埴土	粒状	7	中~硬	密	酸化鉄混じる
	C1	10YR2/1黒色	SiCシルト質埴土	10YR3/3暗褐色	SiCシルト質埴土	塊状	15	硬	密	炭化物少量混じる
				10YR5/3にぶい黄褐色	SiCシルト質埴土	粒~小塊状	5			
	D1	10YR3/1黒褐色	SiCシルト質埴土	10YR5/3にぶい黄褐色	SiCシルト質埴土	粒~塊状	25	中~硬	中~密	酸化鉄混じる
	E1	10YR4/3にぶい黄褐色	SiCシルト質埴土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	塊状	20	中	中~密	酸化鉄混じる
				10YR2/3黒褐色	SiCシルト質埴土	粒状	5			
	F1	10YR3/3暗褐色	SiCシルト質埴土	10YR6/3にぶい黄褐色	SiCシルト質埴土	粒~塊状	10	中	中	酸化鉄多く混じる
RG402溝跡	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	5	中~硬	中~密	
	B1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/4にぶい黄褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	20	中	中	
	B2	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	塊状	15	硬	密	

第16表 飯岡沢田遺跡第13次調査遺構土層観察表(1)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RAO32 竪穴建物跡	A1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	30	軟~中	中~密	
	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	軟~中	中~密	
	A3	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	軟~中	中~密	
	B1	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~小塊状	20	軟~中	中	
	B2	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/6明黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	20	軟~中	中	
	B3	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/6明黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	30	軟~中	中~密	
	C1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/6明黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	30	軟~中	中	
	D1	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	中	中	周溝
	E1	10YR4/3にぶい黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	30	軟~中	中	周溝
	E2	10YR4/3にぶい黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/8黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	20	軟~中	中	周溝
	F1	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	20	中~硬	中~密	
	F2	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	中~硬	中~密	
	F3	10YR4/3にぶい黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	30	中~硬	中~密	
	F4	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	20	中~硬	中~密	
	F5	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	30	軟~中	中~密	
	F6	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/8明黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	中	中~密	
	F7	10YR6/8明黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	中~硬	中~密	
	F8	10YR6/8明黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	5	中~硬	中~密	
F9	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	軟~中	中		
J1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	20	軟~中	中	カマド崩壊土	
J2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	30	軟~中	粗~中	カマド崩壊土	
J3	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	10	軟~中	粗~中	カマド崩壊土	
J4	10YR5/8黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	5	中~硬	中~密	カマド崩壊土	
L1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	15	中	中~密	床構築土	
RAO33 竪穴建物跡	A1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	5	軟~中	中~密	
	A2	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/8黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	5	軟~中	中	
	B1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	10	軟~中	中	
	B2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/8黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	20	軟~中	中	
	B3	-	-	-	-	-	-	-	-	
	C1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	30	軟~中	中	
	C2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/8黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	40	軟~中	中	
	C3	-	-	-	-	-	-	-	-	
	D1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/8黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	30	軟~中	中~密	
	J1	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	軟~中	中	カマド崩壊土
	J2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	5	軟~中	中~密	カマド崩壊土
	J3	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	20	中	中~密	カマド崩壊土
	J4	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	中	中~密	カマド崩壊土
	J5	10YR5/8黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/8明黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	30	中~硬	中~密	カマド崩壊土
J6	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	中	粗~中	カマド崩壊土	
J7	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	30	中	中~密	カマド崩壊土	
J8	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	5	中	中	カマド崩壊土	
J9	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	1	中	中	カマド崩壊土	
K1	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	20	中	中~密	カマド袖構築土	
K2	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	30	中~硬	中~密	砂質、カマド袖構築土	
K3	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	30	中	中~密	底土混じる。カマド袖構築土	
L1	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	30	中~硬	中~密	床構築土	
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RD162土坑	A1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状	1	軟~中	中	
	A2	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土					軟~中	中	
	B1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状	1-3	軟~中	中	
				5YR4/6赤褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	3-5			
	B2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状	10-15	軟~中	中	
	C1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状	7-10	軟~中	粗~中	炭化物少し混じる
				5YR5/6明赤褐色	SiLシルト質壤土	塊状	3-5			
C2	10YR5/6黄褐色	SiLシルト質壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10-15	軟~中	中	炭化物微量混じる	
			5YR4/6赤褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	1-3				
RD163土坑	A1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/6明黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	5	中	中~密	
	B1	10YR6/8明黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	2	中	中~密	
	C1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/6明黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	10	中	中	底土混、炭化物多く混じる
	D1	10YR6/6明黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	10	中	中~密	
RD164土坑	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/6明黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	5	中	中	
	B1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/8明黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	8	中	中	
	C1	10YR6/8明黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	40	中	中	
C2	10YR6/8明黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	中	中		

第17表 飯岡沢田遺跡第13次調査遺構土層観察表 (2)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RD165土坑	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	10	中	中	
	A2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/8黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	40	中	中	
	B1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/8黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	30	中	中	
RD166土坑	A1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	15	中	中	
	B1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	5	中	中	
	B2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	中	中	
	C1	10YR5/8黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	5	中	中~密	
RD167土坑	A1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	30	軟~中	中	
	B1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	5	中	中	
	B2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/8黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	15	中	中	
	C1	10YR5/8黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	3	中~硬	中~密	
RD168土坑	A1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	5	中~硬	中~密	
	B1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	15	中	中	
	C1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	20	中	中	
RD169土坑	A1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	中~硬	中~密	
	B1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/4にぶい黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	30	中	中	
	B2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	30	中	中	
	C1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	20	中~硬	中	
	D1	10YR6/8明黄褐色	SiLシルト質壤土	10YR7/8黄褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状	20	軟~中	粗~中	砂礫混じる
RD170土坑	A1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	中	中	
	A2	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	30	中	中	
	B1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	15	中	中~密	
RD171土坑	A1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/8明黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	5	中	粗~中	
	A2	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/8黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	中	中	
	B1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/6明黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	2	中	中	
RD172土坑	A1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	20	中	中~密	
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RG023溝跡	A1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	中	中~密	
	B1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	30	中	中	
RG024溝跡	A1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	中	中	
	B1	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	中~硬	中~密	
南東端旧河道	A1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	30	中	中~密	
	A2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	30	中	中~密	
	B1	10YR5/8黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	20	中	中~密	

第18表 台太郎遺跡第72次調査出土土器観察表

図	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	形態				出土				寸法 (cm) ※完形・復元のみ				底部切離等	器面調整		墨書等・特徴		
								区分	器種	平面位置	層位	器高	口径	体径	底径	外口径 器口径	底径 器底径	口縁高	口縁径		口縁厚	口縁傾		外面	内面
44	001	23	台太郎	ODT	072 I	RA652	8	土師器	坏	土器No.7	D	5.4	15.3	—	—	—	2.8	非口クロ、有段、丸底	口縁～体部ヘラナデ、底部ヘラナズリ	口縁～体部上半ヘラナデ、体部下半ヘラミガキ、黒色処理	外面底部に黒斑、胎土に炭母混じる				
44	002	23	台太郎	ODT	072 I	RA652	10	土師器	坏	土器No.9	C	5.3	17.2	—	—	—	3.2	非口クロ、有段、丸底	口縁～底部ヘラナデ、底部ヘラミガキ	ヘラミガキ、黒色処理(一部黒トビ)	胎土に炭母混じる				
44	003	23	台太郎	ODT	072 I	RA652	2	土師器	坏	種付丸		4.1	14.6	—	—	—	3.6	非口クロ、有段、丸底	口縁～体部上半ヘラナデ、体部下半ヘラミガキ+ヘラナズリ	ヘラミガキのみ	比重が重い				
44	004	23	台太郎	ODT	072 I	RA652	23	土師器	坏	SW区	種付丸	3.8	9.6	—	—	—	2.5	非口クロ、有段、丸底	ヘラナデ、口縁～体部上半黒色処理	ヘラミガキ、黒色処理	胎土に炭母少し混じる				
44	005	23	台太郎	ODT	072 I	RA652	16	土師器	高台付	土器No.14	床面	10.4	16.7	—	9.6	1.7	1.6	非口クロ、有段	口縁～体部上半ヘラナデ、体部下半ヘラミガキ、器部ナデ+ヘラミガキ	口縁～体部ヘラミガキ、器部ナデ	内外面やや磨滅、非柱状高台				
44	006	23	台太郎	ODT	072 I	RA652	3	土師器	壺	土器No.3	C	31.0	20.5	19.3	8.0	1.1	0.7		口縁部に浅い沈線、ヘラナデ	口縁部ナデ、体部ヘラナデ	外面の一部に入伏状化物、内面の一部にコゲ状化物、胎土に炭母混じる				
44	007	—	台太郎	ODT	072 I	RA652	6	土師器	壺	土器No.5	D	27.8	19.9	19.6	—	1.0	0.7	欠損	口縁部ヘラナデナデ、体部ヘラナデ	ヘラナデ+ヘラミガキ	口縁は受け口状、胎土に炭母少し混じる。内外面やや磨滅				
44	008	23	台太郎	ODT	072 I	RA652	1	土師器	壺	土器No.1	種付丸	[25.3]	19.0	15.3	—	1.2	—	欠損	口縁部ナデ、有段(平行沈線)、体部ヘラナデ	口縁部ナデ、体部ヘラナデ	胎土に炭母少し混じる				
45	009	24	台太郎	ODT	072 I	RA652	13	土師器	球胴壺	土器No.12	床面	31.5	22.4	35.0	7.7	0.6	0.7		口縁部ナデ、頸部有段(沈線)、体部ヘラナデ	口縁部ナデ、体部一部ヘラナデ、底部指ナデ、輪縁あり	体部～底部に窪みあり、内外面磨滅				
45	010	24	台太郎	ODT	072 I	RA652	14	土師器	球胴壺	土器No.13	床面	38.9	22.2	36.7	10.9	0.6	0.6		口縁部ヘラナデナデ、器部指ナデ、体部ナデ+ヘラミガキ	体部ヘラナデ+ヘラミガキ	内外面磨滅				
46	011	—	台太郎	ODT	072 I	R02140	2	土師器	壺	A1-A2	32.9	20.8	18.4	—	1.1	0.6	欠損	口縁部ハケメ+ヘラナデ、体部ハケメ	ハケメ	外面の一部に入伏状化物、内面下部の一部にコゲ状化物					

第19表 台太郎遺跡第74次調査 I 区出土土器観察表

図	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	形態				出土				寸法 (cm) ※完形・復元のみ				底部切離等	器面調整		墨書等・特徴		
								区分	器種	平面位置	層位	器高	口径	体径	底径	外口径 器口径	底径 器底径	口縁高	口縁径		口縁厚	口縁傾		外面	内面
47	012	26	台太郎	ODT	074 I	RA661	9	土師器	坏	A1-B9	B	5.3	17.3	—	—	—	3.3	丸底、有段、非口クロ	ヘラミガキ	ヘラミガキ、黒色処理	外面やや磨滅、胎土に炭母少し混じる				
47	013	26	台太郎	ODT	074 I	RA661	6	土師器	坏	A1-C9	L	(6.4)	17.6	—	—	—	—	丸底、非口クロ	ヘラナデ	ヘラナデ+ヘラミガキ、黒色処理(黒トビ)	内外面磨滅、胎土に炭母混じる				
47	014	26	台太郎	ODT	074 I	RA661	23	土師器	坏	土器No.2 A1-B9	床面	4.4	13.4	—	—	—	3.0	丸底、有段、非口クロ	ヘラミガキ	ヘラミガキ、黒色処理	内外面やや磨滅、胎土に炭母少し混じる				
47	015	—	台太郎	ODT	074 I	RA661	4	土師器	壺	土器No.7B A1-C11	床面	(24.2)	25.5	22.9	—	1.1	—	欠損	口縁～体部ヘラナデ+ヘラミガキ	口縁部ヘラナデ、体部ヘラナデ+ヘラミガキ	内外面やや磨滅、外面口縁部～体部上半又ス状炭化物				
47	016	—	台太郎	ODT	074 I	RA661	16	土師器	壺	A1-B9	A1	18.0	23.5	22.2	—	1.1	1.3	欠損	口縁部ナデ、体部ヘラナデ+ヘラミガキ	口縁部ナデ、ヘラナデ+ヘラミガキ	内外面やや磨滅、胎土に炭母少し混じる				
47	017	26	台太郎	ODT	074 I	RA661	21	土師器	壺	土器No.5.6 A1-B10	床面	15.5	17.8	14.0	7.4	1.3	1.1	木炭痕十一部附り	口縁部ナデ、体部ヘラミガキ	口縁部ナデ、体部ヘラナデ+ヘラミガキ	内外面やや磨滅、胎土に炭母少し混じる				
47	018	26	台太郎	ODT	074 I	RA661	22	土師器	球胴壺	土器No.1 A1-C8	床面	(12.4)	19.0	24.3	—	0.8	—	欠損	口縁部ナデ、体部ヘラナデ	ヘラナデ	内面に輪積み痕あり、胎土に炭母混じる				
48	019	26	台太郎	ODT	074 I	RA662	41	土師器	壺	A1-H13	A	29.5	20.9	17.6	7.4	1.2	0.7	—	ヘラナデ	ヘラナデ	外面底部付近コゲ状炭化物、胎土に炭母少し混じる				
48	020	—	台太郎	ODT	074 I	RA662	29	土師器	壺	A1-G12	A	(26.0)	17.2	15.5	—	1.1	—	欠損	口縁部ヘラナデ、体部ヘラナデ+ヘラミガキ	ヘラナデ	内外面やや磨滅				
48	021	26	台太郎	ODT	074 I	RA662	42	土師器	球胴壺	A1-G12	A	(21.9)	20.6	25.7	—	0.8	—	欠損	口縁部ナデ、体部ヘラナデ	ヘラナデ	内外面やや磨滅				
48	022	26	台太郎	ODT	074 I	RA662	39	土師器	鉢	A1-H13	A	(15.4)	17.6	—	—	—	—	丸底風	ヘラナデ+ヘラミガキ	ヘラナデ+ヘラミガキ	内面やや磨滅、胎土に炭母混じる。全体に窪みあり				
48	023	26	台太郎	ODT	074 I	RA662	43	土師器	甕	A1-G14	B	(12.5)	—	(15.1)	9.4	—	—	底なし、有孔	ヘラナデ	ヘラミガキ	内面上部磨滅				
50	036	27	台太郎	ODT	074 I	RA663	3	土師器	壺	A1-E10	B3	19.6	19.0	16.1	6.4	1.2	1.0	木炭痕	口縁部ナデ、体部ヘラナデ	ヘラナデ	外面体部下半の一部コゲ状炭化物、胎土に炭母混じる				
50	037	—	台太郎	ODT	074 I	RA663	2	土師器	小型壺	pit5	埋土	(8.4)	13.8	12.8	—	1.1	—	欠損	ヘラナデ	ヘラナデ	内外面やや磨滅、胎土に炭母混じる				
49	024	27	台太郎	ODT	074 I	RA664	88	土師器	坏	A1-E18	C	4.8	13.4	—	6.0	2.2	2.8	回転系切無調整		ヘラミガキ、黒色処理	内面コゲ状炭化物、灯明皿か				
49	025	27	台太郎	ODT	074 I	RA664	152	須恵器	坏	A1-D18	A	4.8	13.8	—	6.0	2.3	2.9	回転系切無調整							
49	026	27	台太郎	ODT	074 I	RA664	75	須恵器	坏	A1-E17	C	5.1	14.9	—	6.2	2.4	2.9	回転系切無調整							
49	027	27	台太郎	ODT	074 I	RA664	29	須恵器	坏	カマド左袖	J	4.9	14.2	—	5.8	2.4	2.9	回転系切無調整							
49	028	27	台太郎	ODT	074 I	RA664	100	須恵器	坏	A1-D16	B	4.7	14.0	—	5.2	2.7	3.0	回転系切無調整							
49	029	27	台太郎	ODT	074 I	RA664	106	須恵器	坏	A1-D18	B	4.8	14.4	—	5.8	2.5	3.0	回転系切無調整							
49	030	27	台太郎	ODT	074 I	RA664	18	あがき土器	坏	産産カマド口	J	4.9	15.3	—	6.0	2.6	3.1	回転系切無調整			内外面やや磨滅				
49	031	27	台太郎	ODT	074 I	RA664	47	あがき土器	坏	pit1	埋土	5.1	14.1	—	5.8	2.4	2.8	回転系切無調整			内外面やや磨滅				
49	032	27	台太郎	ODT	074 I	RA664	30	あがき土器	坏	カマド左袖	J	4.8	14.6	—	5.6	2.6	3.0	回転系切無調整			底面やや磨滅				
49	033	27	台太郎	ODT	074 I	RA664	95	土師器	高台付	A1-D15	B	(4.2)	12.8	—	(5.8)	—	—	—	菊花文、台部欠損	口縁部打ち欠き	ヘラミガキ、黒色処理	外面タール状炭化物、内面やや磨滅、胎土に炭母混じる。灯明皿か			
49	034	27	台太郎	ODT	074 I	RA664	6	土師器	小型壺	土器No.4	床面	14.1	12.6	13.0	9.4	1.0	0.9	砂底	口縁部ナデ、体部ヘラナズリ	口縁部ナデ、体部ハケメ	内外面やや磨滅				
49	035	—	台太郎	ODT	074 I	RA664	1	あがき土器	壺	土器No.1	床面	(10.2)	20.5	20.3	—	1.0	—	欠損	体部の一部ヘラナズリ	—					
50	038	—	台太郎	ODT	074 I	RA665	37	土師器	坏	A1-E11	A	4.6	13.8	—	5.6	2.5	3.0	回転系切無調整	底部付近ヘラナデ	ナデ+ヘラミガキ、黒色処理	胎土に炭母混じる				
50	039	27	台太郎	ODT	074 I	R02163	1	あがき土器	坏	A1-A13	B	5.7	14.7	—	5.4	2.7	2.6	回転系切無調整			胎土に炭母混じる				
50	040	27	台太郎	ODT	074 I	ビット	24	かわらけ	小皿	A1-J11	埋土	(2.0)	12.0	—	—	—	—	—	欠損			口クロかわらけ			

第23表 台太郎遺跡第74次調査Ⅰ区・Ⅲ区出土土製品・石製品・鉄製品観察表

図	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	形態		出土		寸法 (cm)				特徴
								区分	器種	平面位置	層位	径	長さ			
54	065	30	台太郎	ODT	074Ⅰ	RA664	6	土製品	フイコ羽口	A1-E18	C	5.4~5.8	(8.5)			先端に付着物あり
図	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	形態		出土		寸法 (cm)				特徴
								区分	器種	平面位置	層位	長さ	厚さ			
54	066	30	台太郎	ODT	074Ⅲ	RA667	1	土製品	勾玉	E3-J5	床面	3.3	0.8			有孔。胎土に雲母少し混じる
54	067	30	台太郎	ODT	074Ⅲ	RA667	2	土製品	勾玉	E3-K3	A2	2.7	0.9			有孔
54	068	30	台太郎	ODT	074Ⅲ	RD2174	5	土製品	勾玉	E3-R8	B	2.8	0.9			有孔。黒色処理
図	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	形態		出土		寸法 (cm)				特徴
								区分	器種	平面位置	層位	径	厚さ			
54	069	30	台太郎	ODT	074Ⅲ	RA667	3	土製品	土玉	E3-J5	床面	0.9~1.0	0.7			有孔。黒色処理
図	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	形態		出土		寸法 (cm)				特徴
								区分	器種	平面位置	層位	上径	下径	厚さ		
54	070	30	台太郎	ODT	074Ⅲ	RA667	1	石製品	紡錘車	pit4	B1	3.4	5.0	3.9		断面台形。白色泥岩
図	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	形態		出土		寸法 (cm)				特徴
								区分	器種	平面位置	層位	径	厚さ			
54	071	30	台太郎	ODT	074Ⅲ	RA667	2	石製品	環状石製品	E3-K5	床面	4.5~4.8	1.0			
図	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	形態		出土		寸法 (cm)				特徴
								区分	器種	平面位置	層位	長さ	幅	厚さ		
54	072	30	台太郎	ODT	074Ⅲ	RD2176	1-2	鉄製品	刀子	E3-S8	C1	19.2	2.5	0.5		

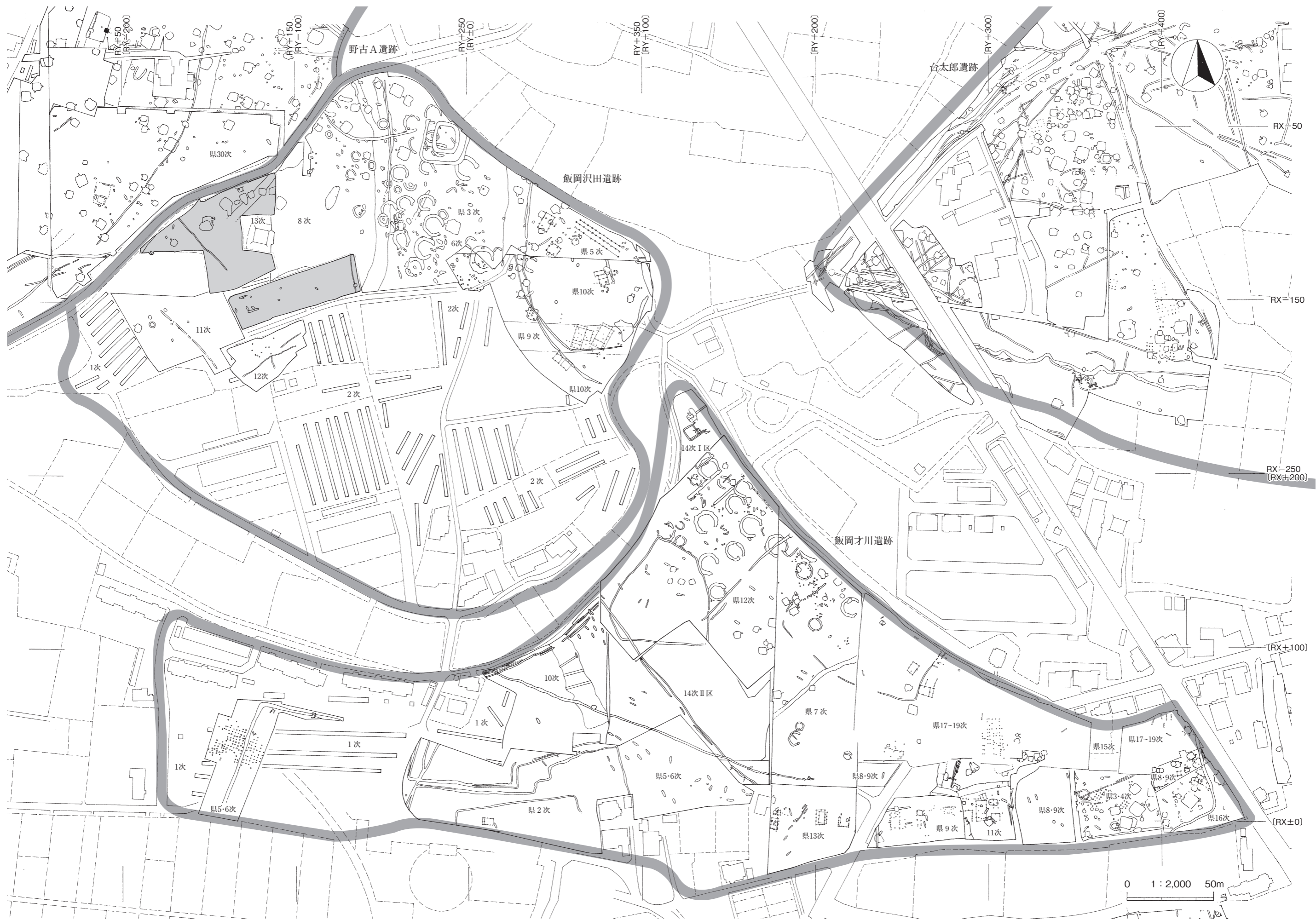
第24表 飯岡沢田遺跡第13次調査出土土器観察表

図	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	形態		出土		寸法 (cm) ※完形・復元のみ						底部切離等	器面調整		墨書等・特徴
								区分	器種	平面位置	層位	器高	口径	体径	底径	外口径 環口径	底径 環底径		口縁高	口縁深	
56	073	32	飯岡沢田	ISD	013	RA032	65	土師器	杯	pit5	C	4.8	15.6	—	—	—	3.3	丸底。欠損。有段。非ロクロ	口縁部ヘラミガキ。底部ヘラケズリ	ヘラミガキ。黒色処理	
56	074	—	飯岡沢田	ISD	013	RA032	25	土師器	杯	土器No.28	床面	5.0	14.2	—	5.8	2.4	2.8	磨減・剥落		ヘラミガキ。黒色処理(黒トビ)	内外面やや磨減
56	075	32	飯岡沢田	ISD	013	RA032	44	土師器	杯	土器No.49	床面	5.1	14.5	—	5.4	2.7	2.8	回転ヘラケズリ再調整	底部付近回転ヘラケズリ	ヘラミガキ。黒色処理	内外面やや磨減
56	076	32	飯岡沢田	ISD	013	RA032	4	土師器	杯	土器No.4	床面	4.7	14.2	—	5.4	2.6	3.0	回転ヘラケズリ再調整	底部付近回転ヘラケズリ	ヘラミガキ。黒色処理	
56	077	32	飯岡沢田	ISD	013	RA032	51	土師器	註記不明	—	床面	[2.1]	—	—	[4.3]	/	/	菊花紋	ヘラミガキ。黒色処理	ヘラミガキ。黒色処理	胎土に雲母混じる
56	078	32	飯岡沢田	ISD	013	RA032	2	あかやき土器	杯	土器No.2	床面	4.7	14.2	—	5.6	2.5	3.0	回転糸切無調整			
56	079	33	飯岡沢田	ISD	013	RA032	37	あかやき土器	杯	土器No.42	床面	[4.4]	—	—	—	/	/				刻書「×」。破片
56	080	32	飯岡沢田	ISD	013	RA032	6	あかやき土器	小型杯	土器No.6	床面	2.9	12.5	—	5.6	2.2	4.3	回転糸切無調整			
56	081	—	飯岡沢田	ISD	013	RA032	3	あかやき土器	高台付杯	土器No.3	床面	[1.9]	—	—	7.8	/	/	回転糸切			全体にやや磨減。台部のみ
56	082	—	飯岡沢田	ISD	013	RA032	17	あかやき土器	壺	土器No.19	床面	[8.1]	24.9	[23.3]	—	/	/	体部下半以下欠損		一部ヘラナデ	全体に磨減
56	083	32	飯岡沢田	ISD	013	RA032	1	あかやき土器	壺	土器No.1	床面	[20.2]	20.4	21.4	—	1.0	/	欠損	体部下半ヘラケズリ	体部下半ヘラナデ	内外面磨減
図	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	形態		出土		寸法 (cm) ※完形・復元のみ						底部切離等	器面調整		墨書等・特徴
								区分	器種	平面位置	層位	器高	口径	体径	底径	外口径 環口径	底径 環底径		口縁高	口縁深	
57	084	33	飯岡沢田	ISD	013	RA033	5	土師器	鉢	土器No.7	B	7.3	13.8	—	—	/	1.9	丸底。非ロクロ	口縁部ヘラナデ。体一部ヘラミガキ。黒色処理	ヘラミガキ。黒色処理	内湾口縁
57	085	—	飯岡沢田	ISD	013	RA033	3	土師器	高台付杯	土器No.3	B	[4.0]	[15.4]	—	—	/	/	有段。非ロクロ	ヘラミガキ	ヘラミガキ。黒色処理	非柱状高台。外面やや磨減
57	086	—	飯岡沢田	ISD	013	RA033	4	土師器	高台付杯	土器No.5	B	[4.5]	[9.7]	—	6.0	/	/	非ロクロ		ヘラミガキ。黒色処理	底部を下から穿孔か
57	087	33	飯岡沢田	ISD	013	RA033	6	土師器	壺	土器No.11	B	29.5	19.5	17.6	7.2	1.1	0.7	木葉痕	口縁部ナデ。体部ヘラナデキヘラミガキ	ヘラナデ	外面一部ス状炭化物
57	088	33	飯岡沢田	ISD	013	RA033	1	土師器	壺	土器No.1	床面	25.5	17.0	15.0	7.6	1.1	0.7	木葉痕か(剥落)	ヘラナデ	ヘラナデ	口縁部受け口状
図	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	形態		出土		寸法 (cm) ※完形・復元のみ						底部切離等	器面調整		墨書等・特徴
								区分	器種	平面位置	層位	器高	口径	体径	底径	外口径 環口径	底径 環底径		口縁高	口縁深	
57	089	—	飯岡沢田	ISD	013	RD162	5	土師器	壺	土器No.7	B	14.5	17.4	12.7	6.4	1.4	1.2	木葉痕	口縁部ナデ。体部ヘラナデ	口縁部ナデ。体部ヘラナデ	

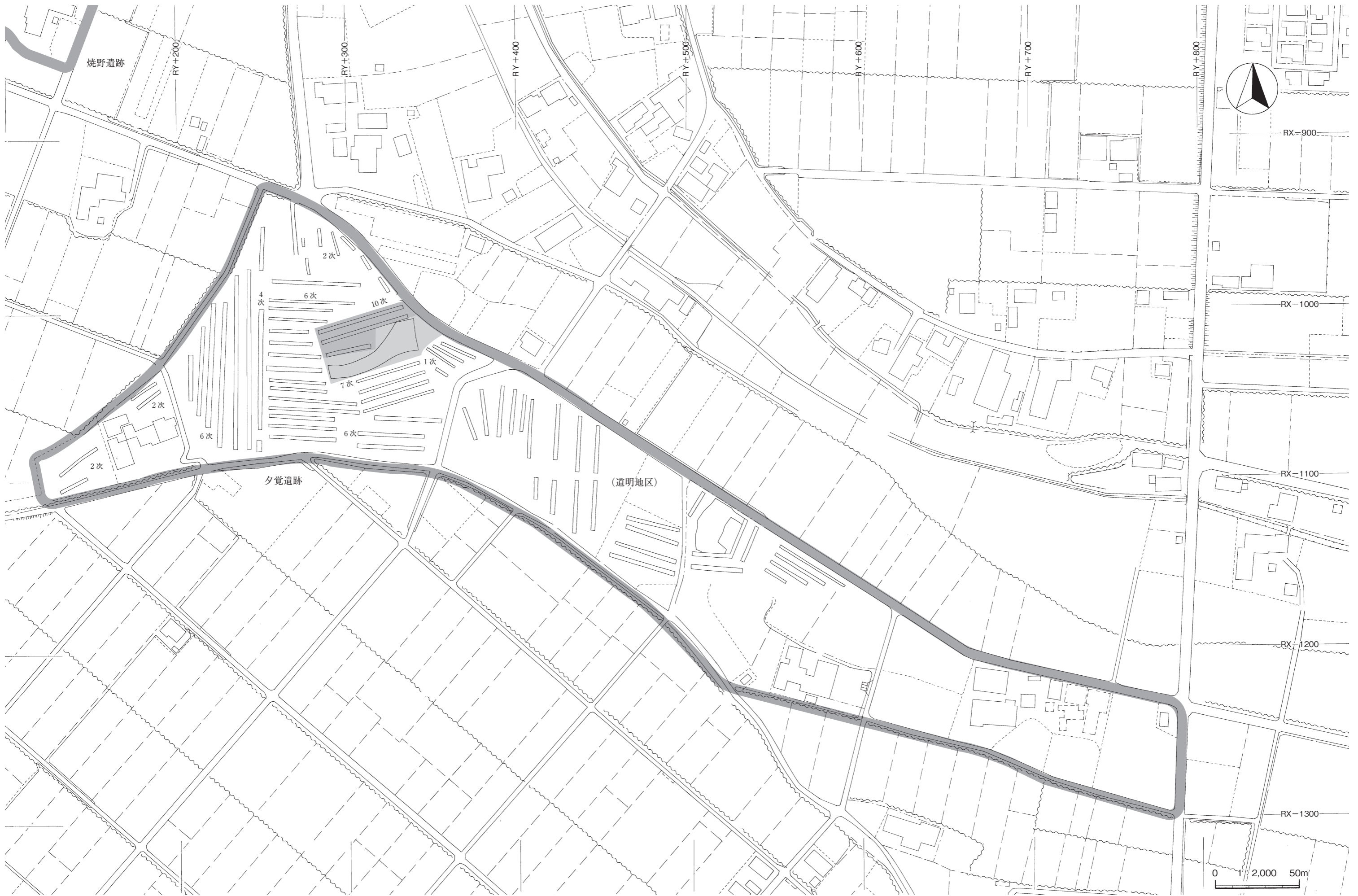
遺 構 図 版



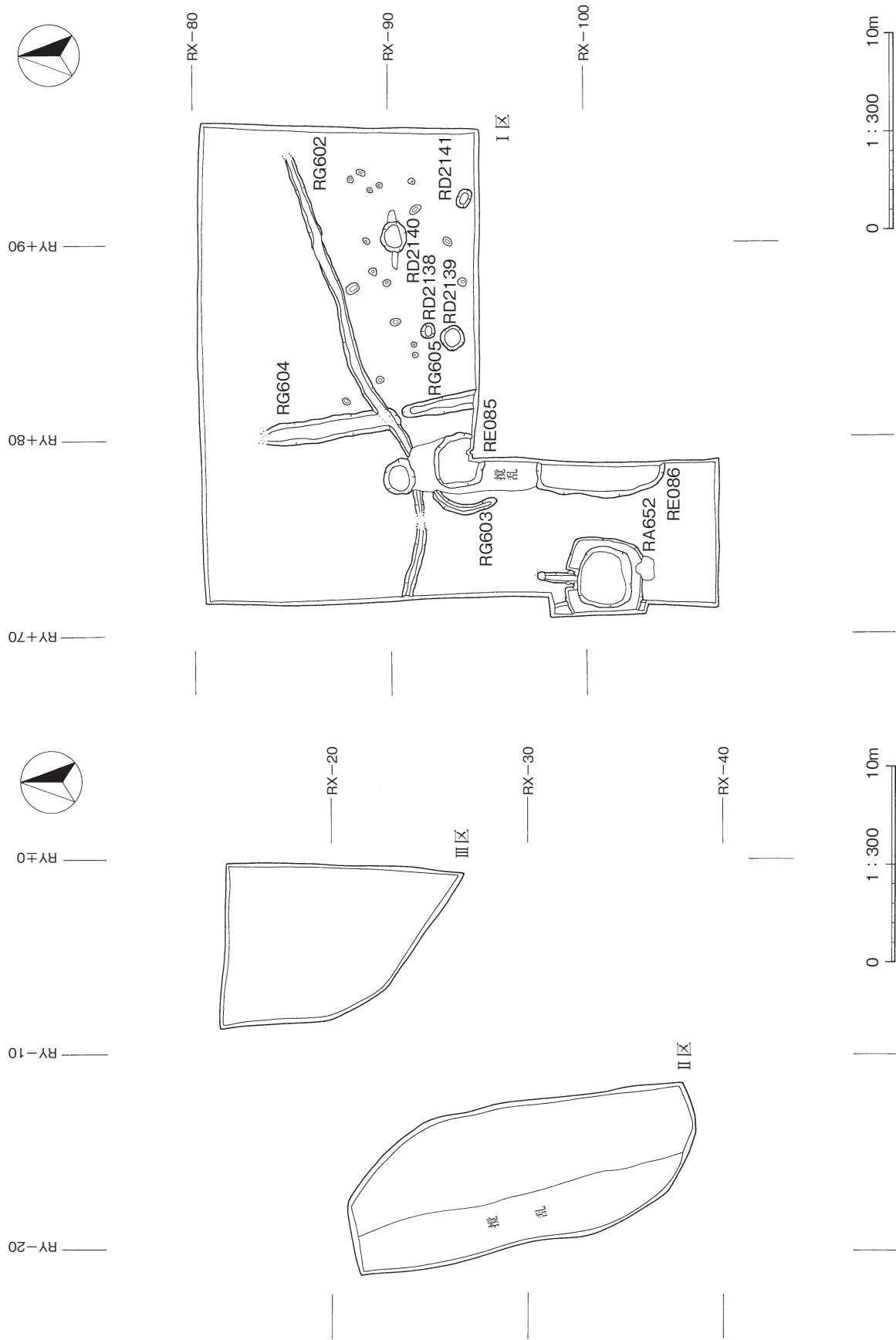
第1図 台太郎遺跡全体図



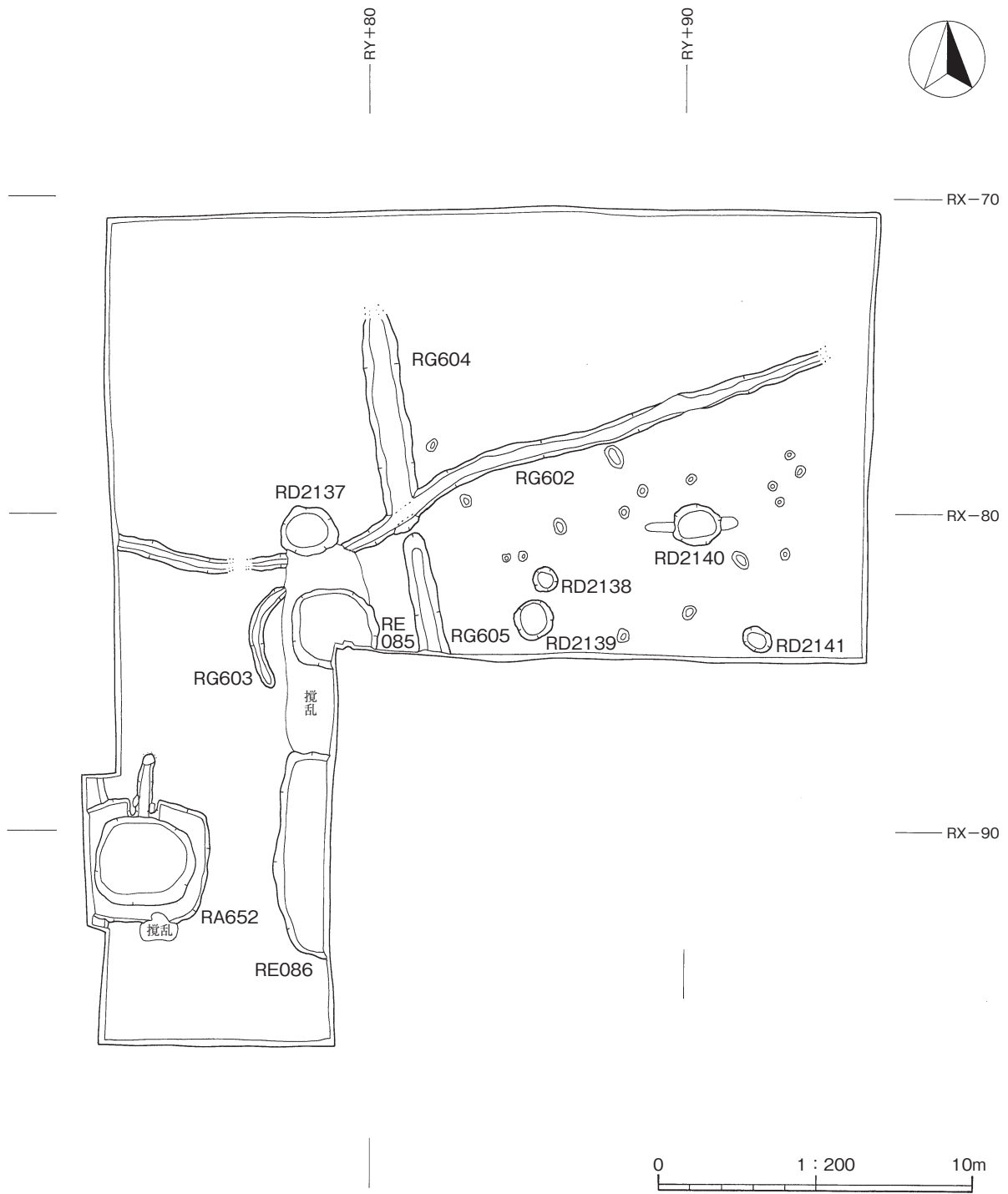
第2図 飯岡沢田遺跡・飯岡才川遺跡全体図 (() 内は飯岡才川遺跡調査座標値)



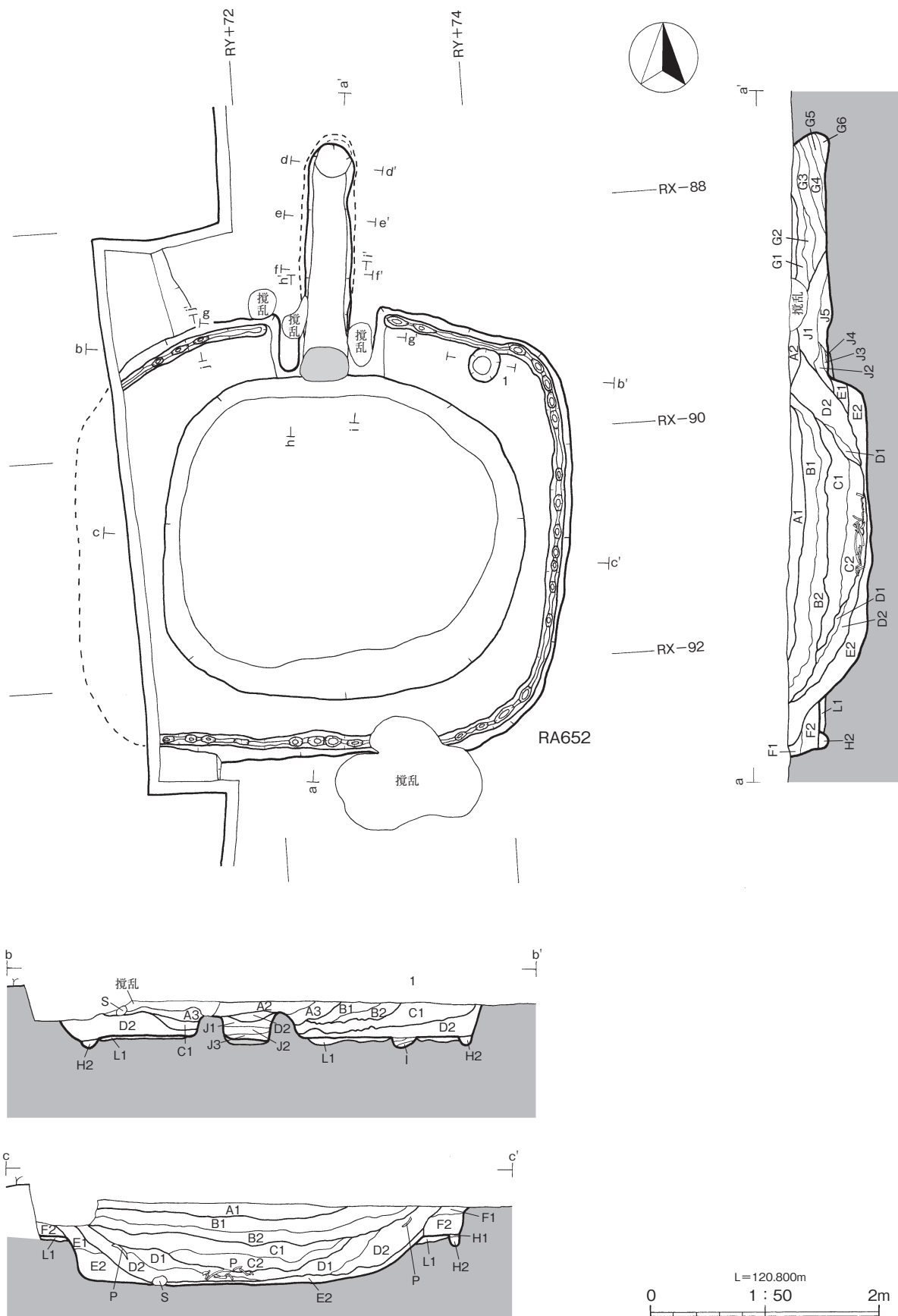
第3図 夕覚遺跡全体図



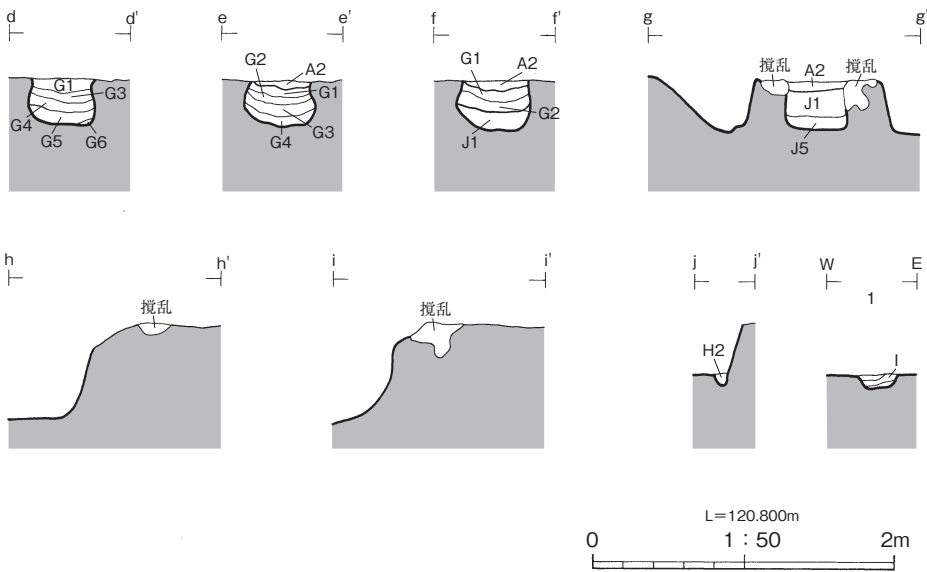
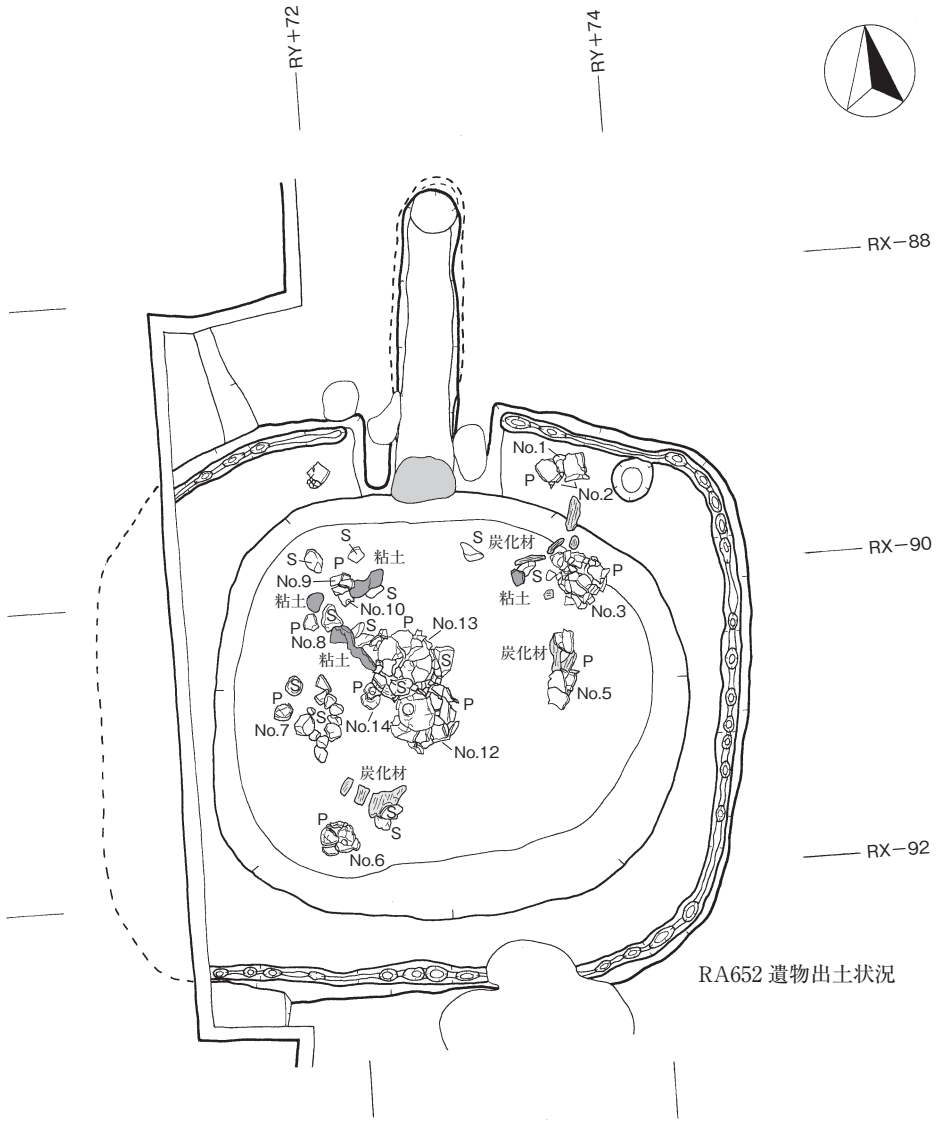
第4図 台太郎遺跡第72次調査区全体図



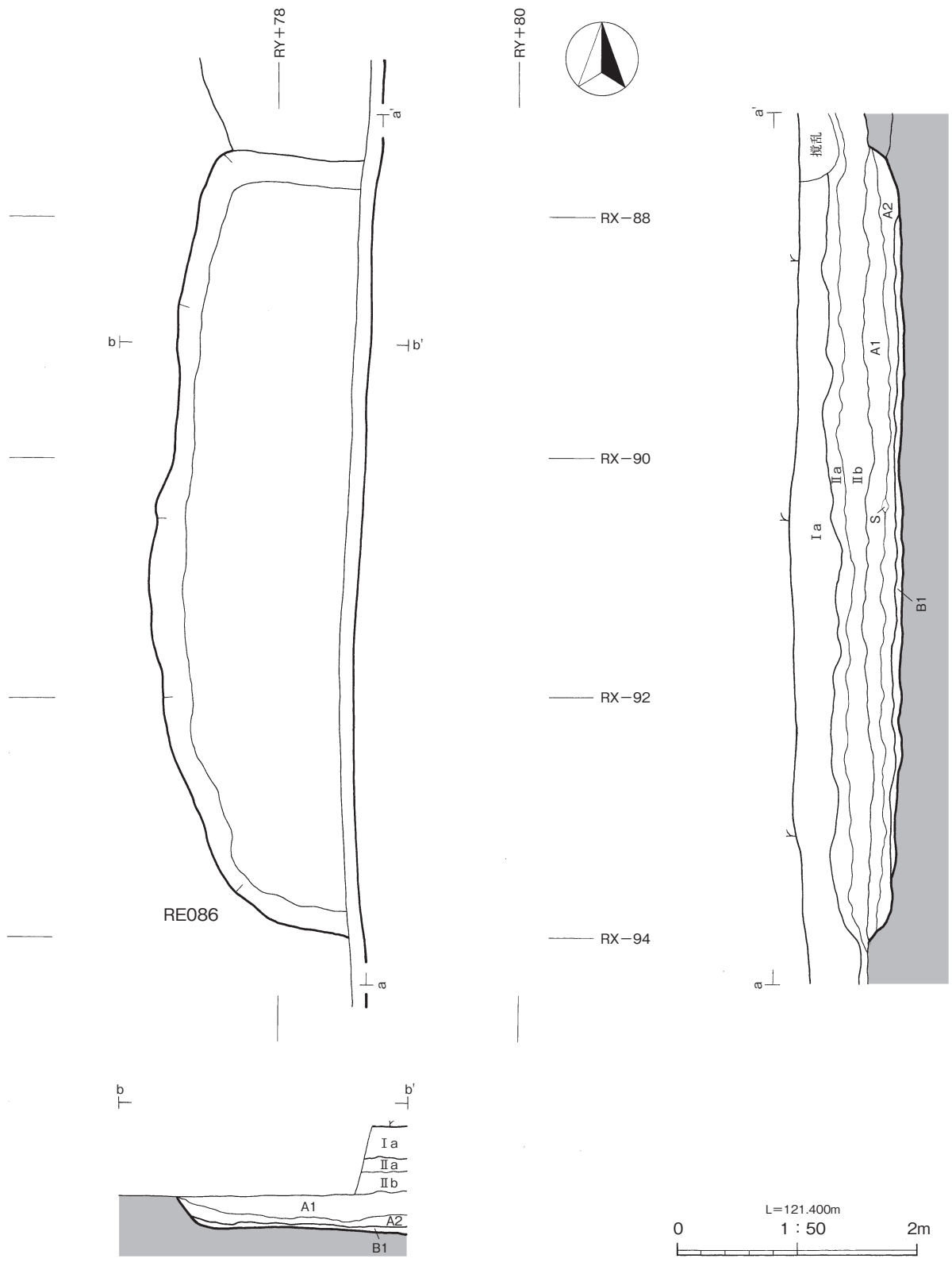
第5図 台太郎遺跡第72次調査I区全体図



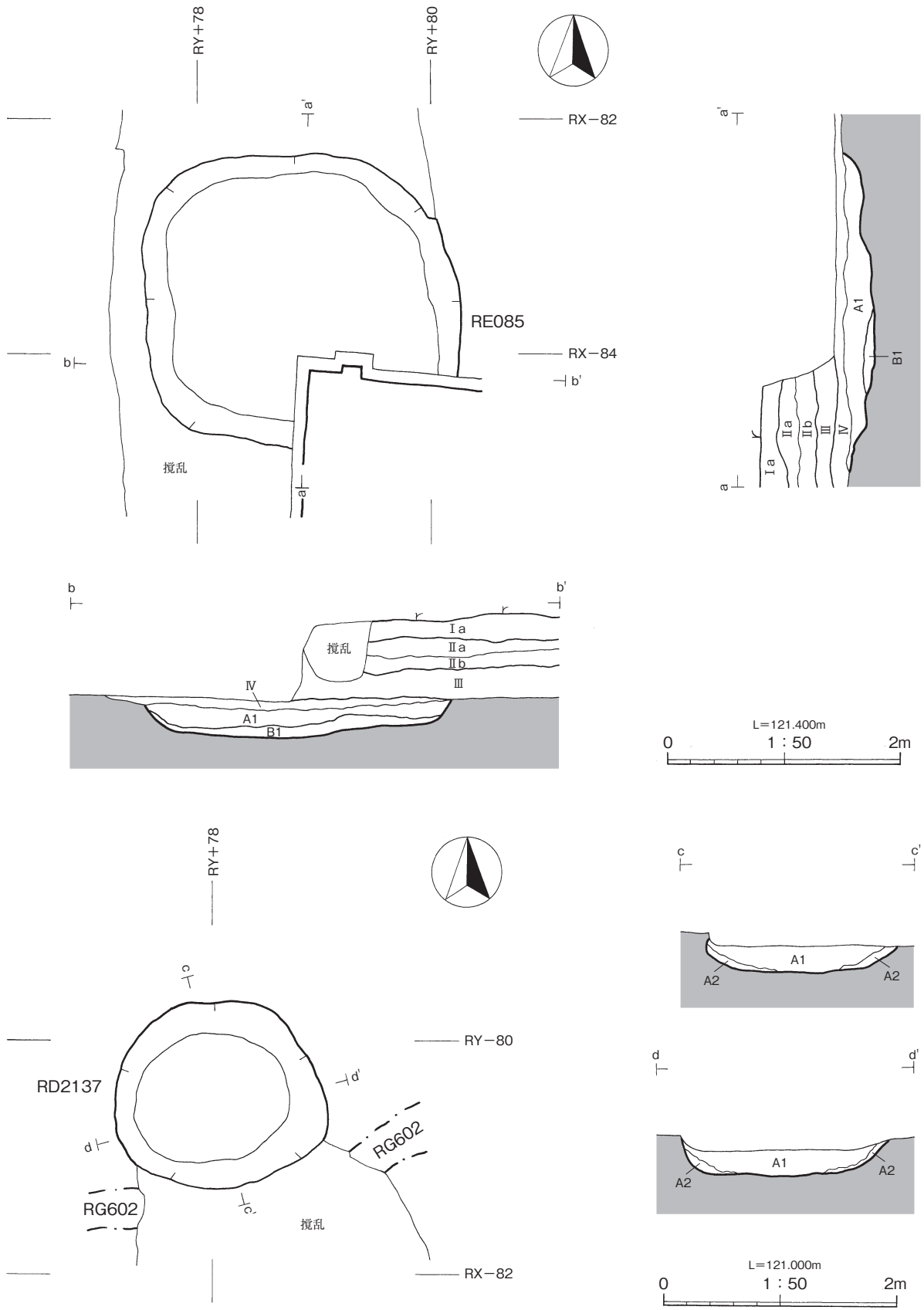
第6図 台太郎遺跡第72次調査 I 区 R A652 竪穴建物跡 (1)



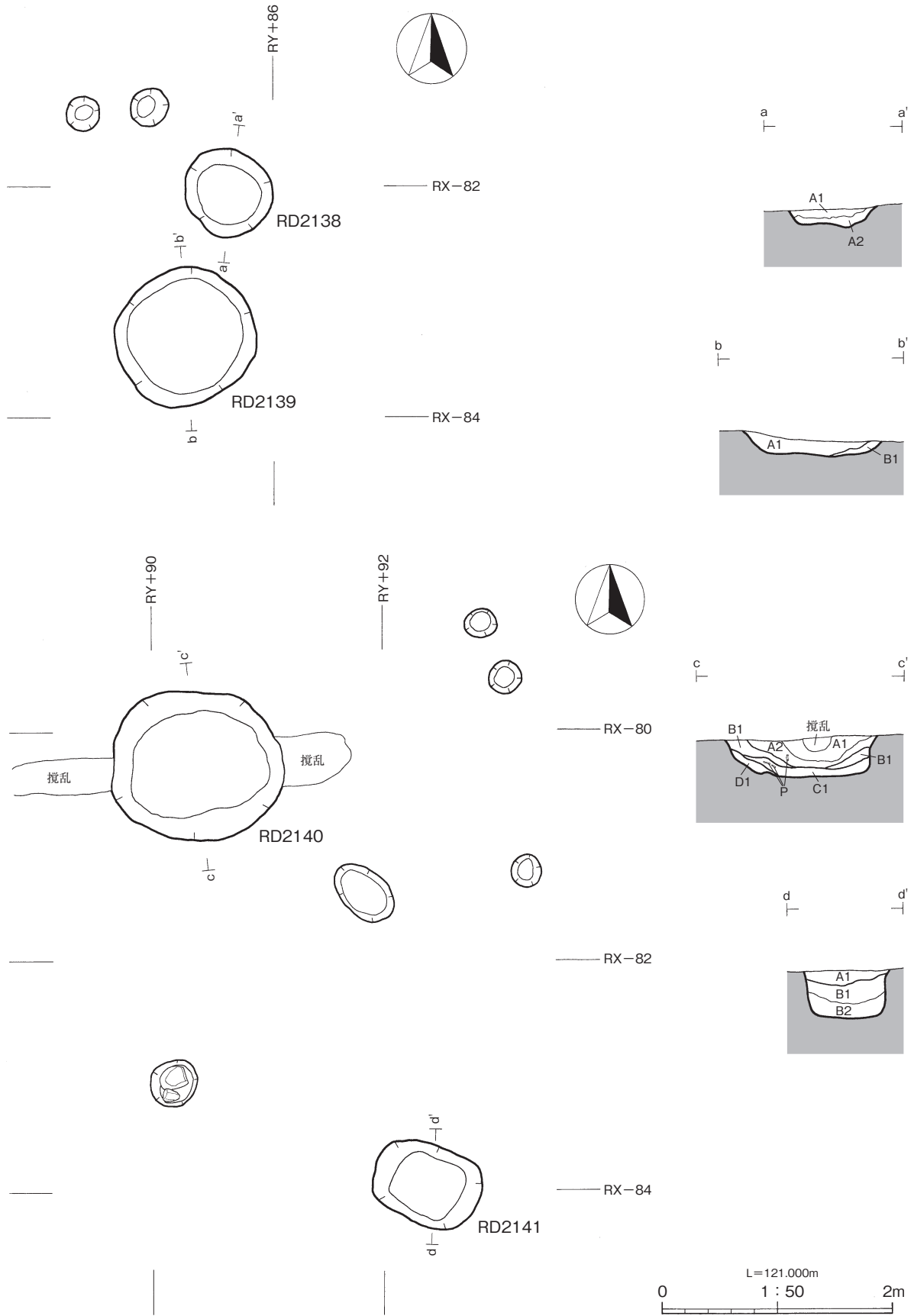
第7図 台太郎遺跡第72次調査 I 区 RA652 竪穴建物跡 (2)



第8図 台太郎遺跡第72次調査I区RE086竪穴状遺構



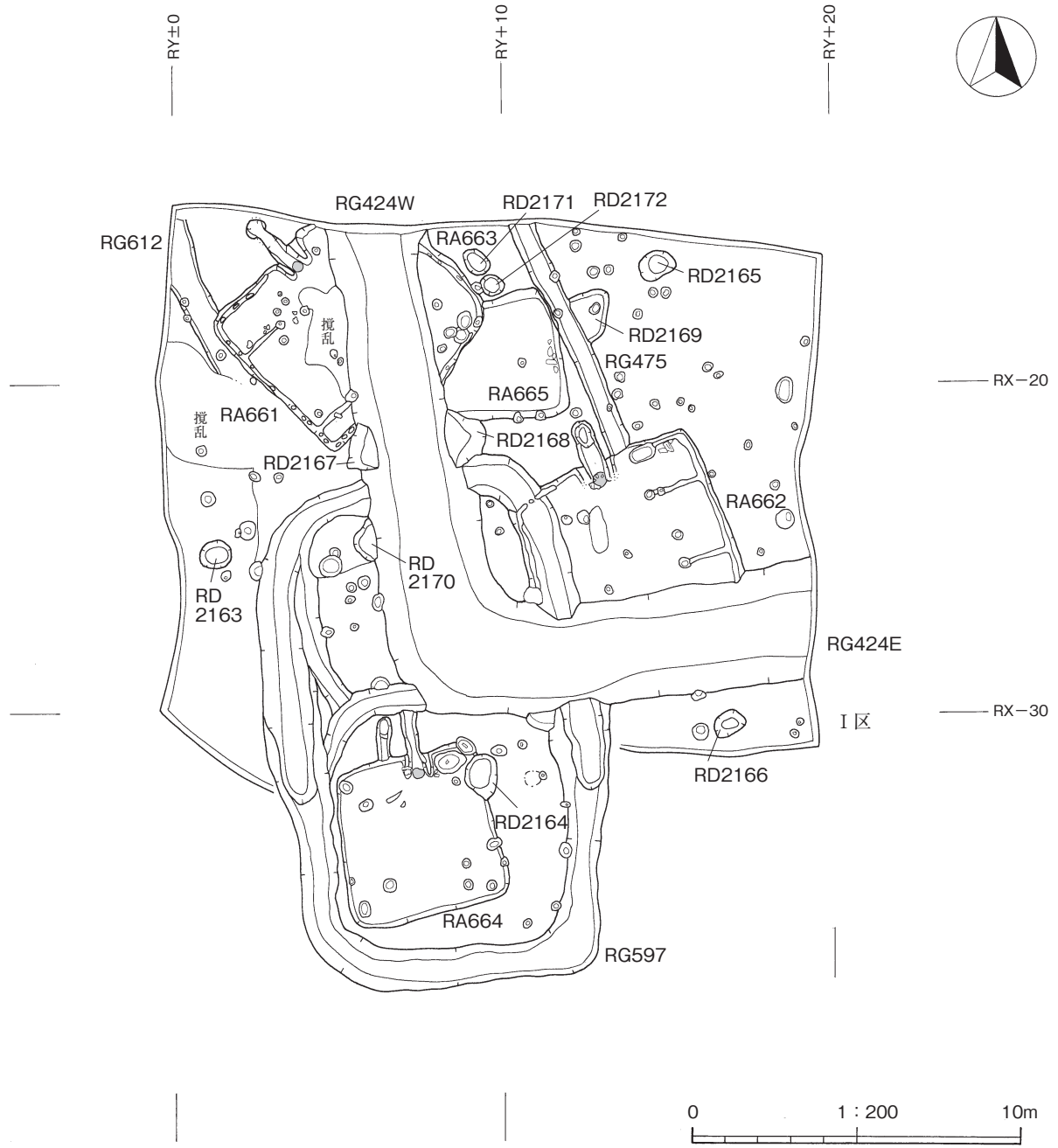
第9図 台太郎遺跡第72次調査 I区 RE085 竪穴状遺構, RD2137 土坑



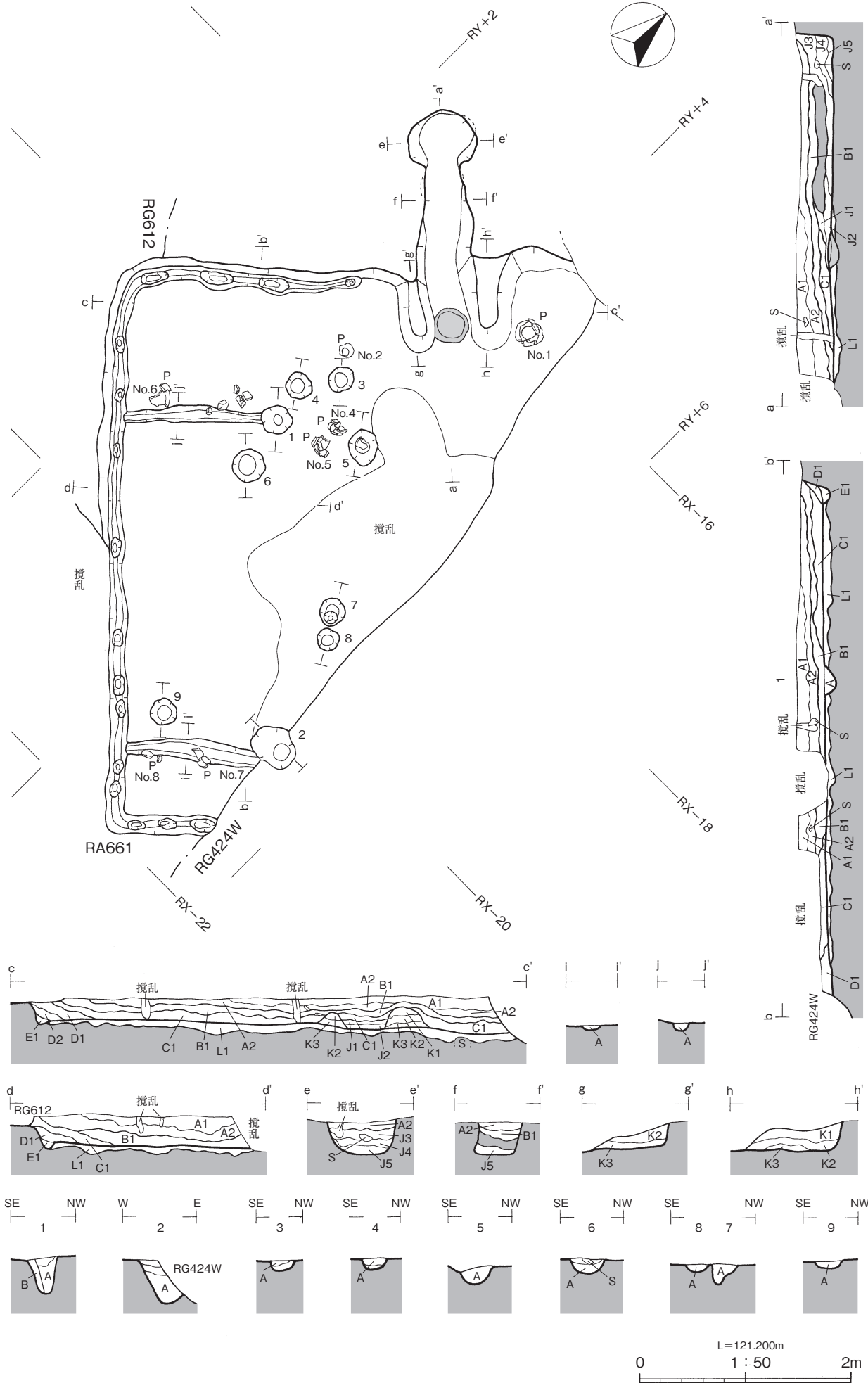
第10図 台太郎遺跡第72次調査 I 区 RD2138~2141土坑

第11図 台太郎遺跡第72次調査 I 区 RG602~605 溝跡, ピット

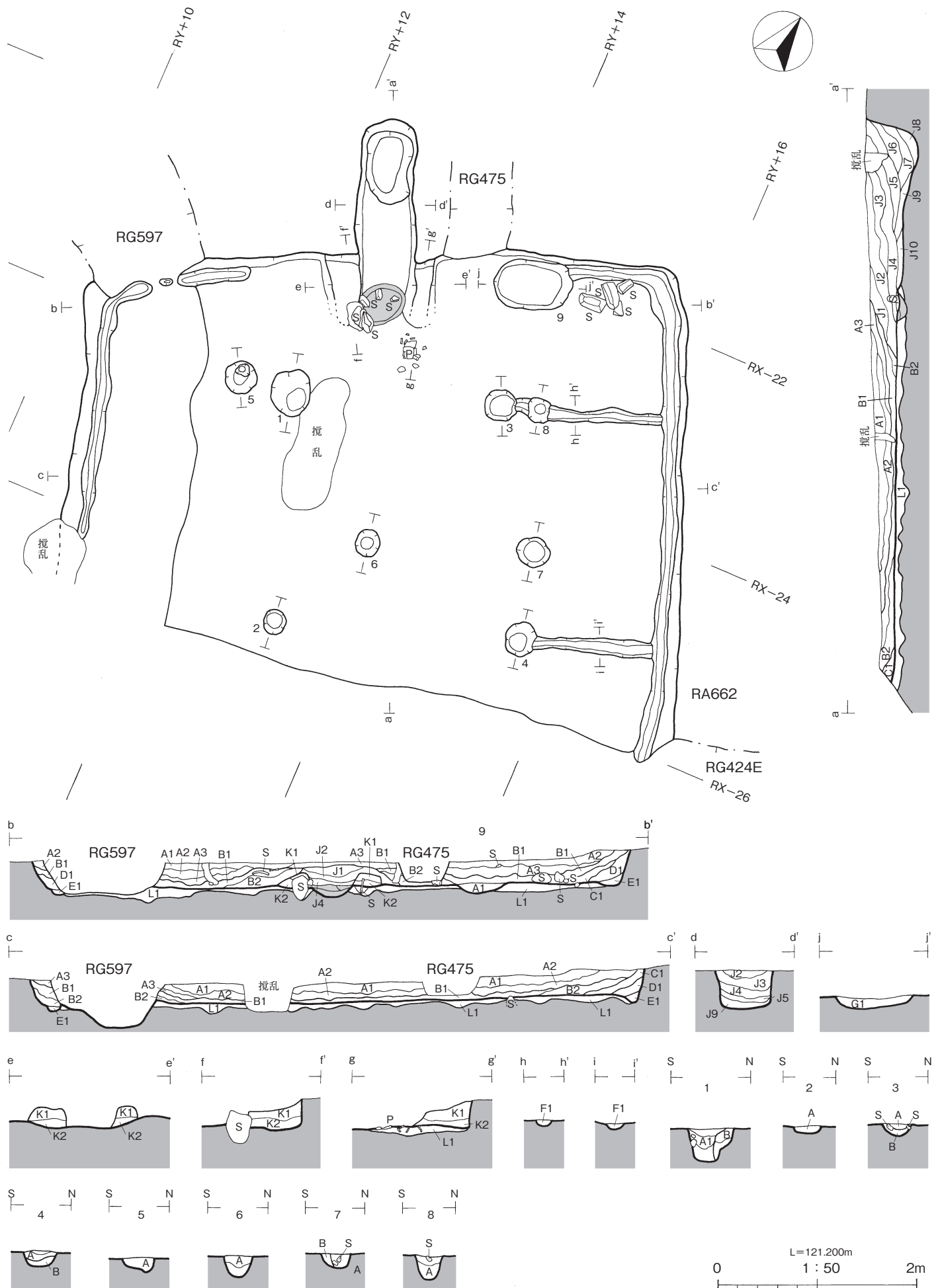
70



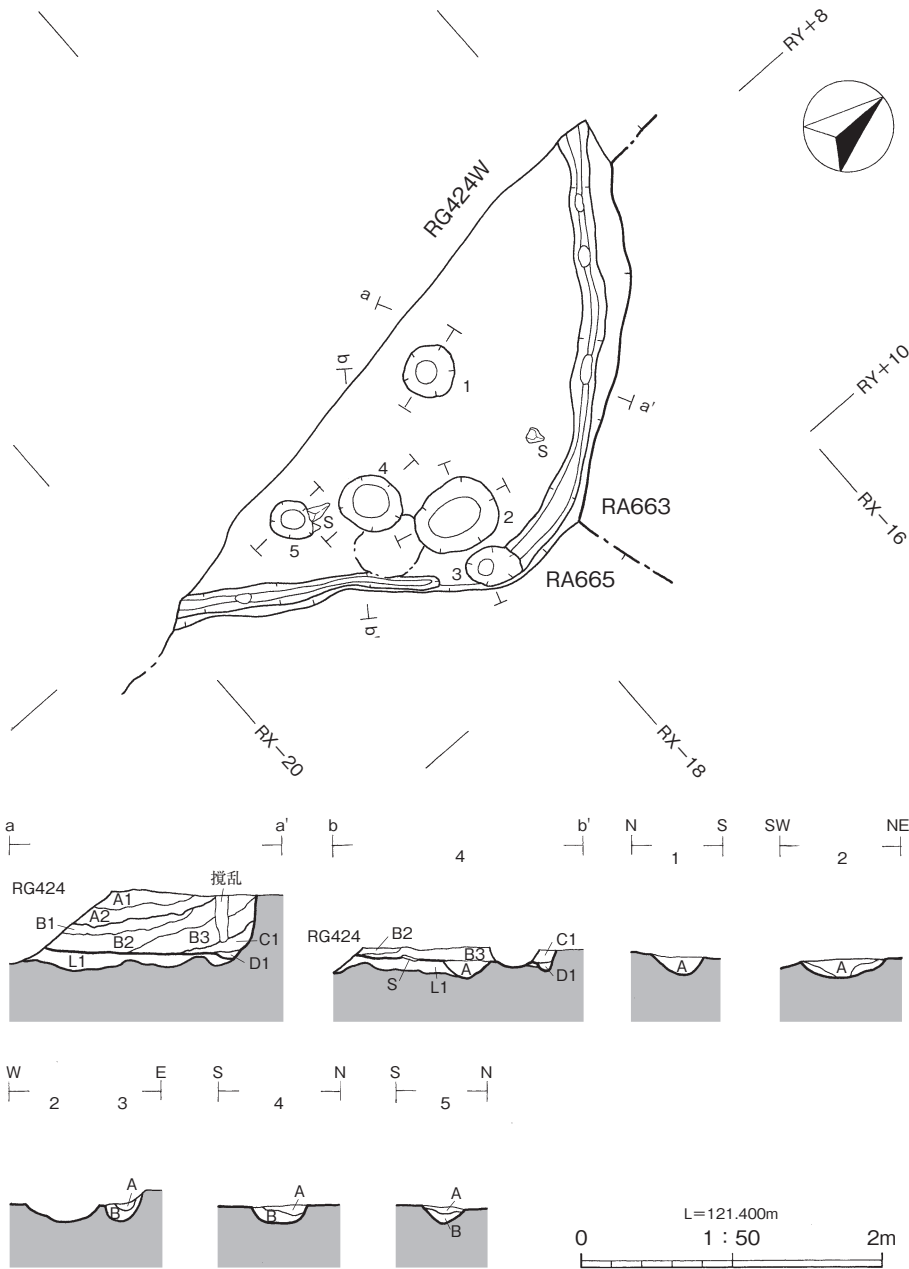
第12図 台太郎遺跡第74次調査 I 区全体図



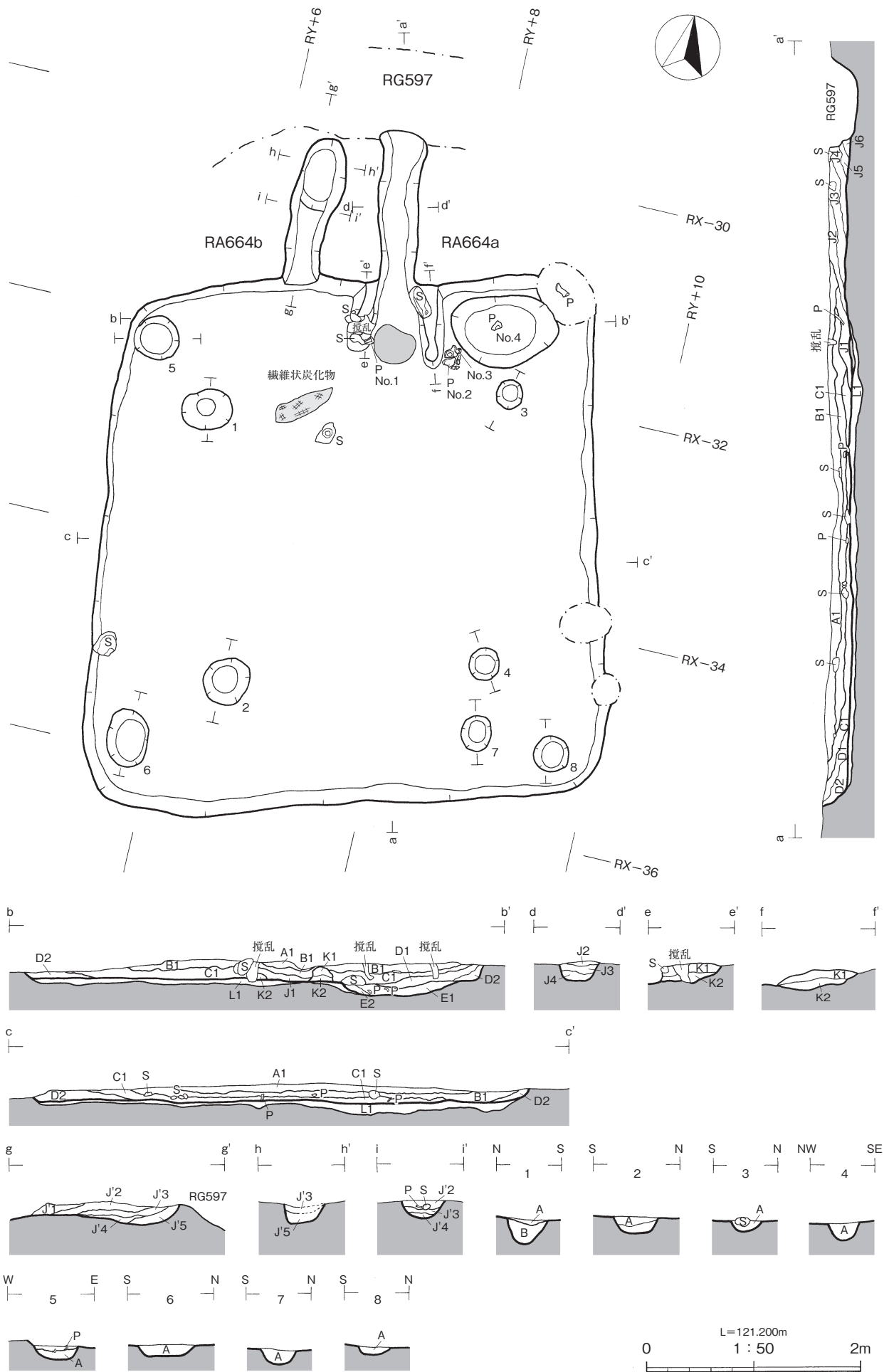
第13図 台太郎遺跡第74次調査 I 区 RA661 竪穴建物跡



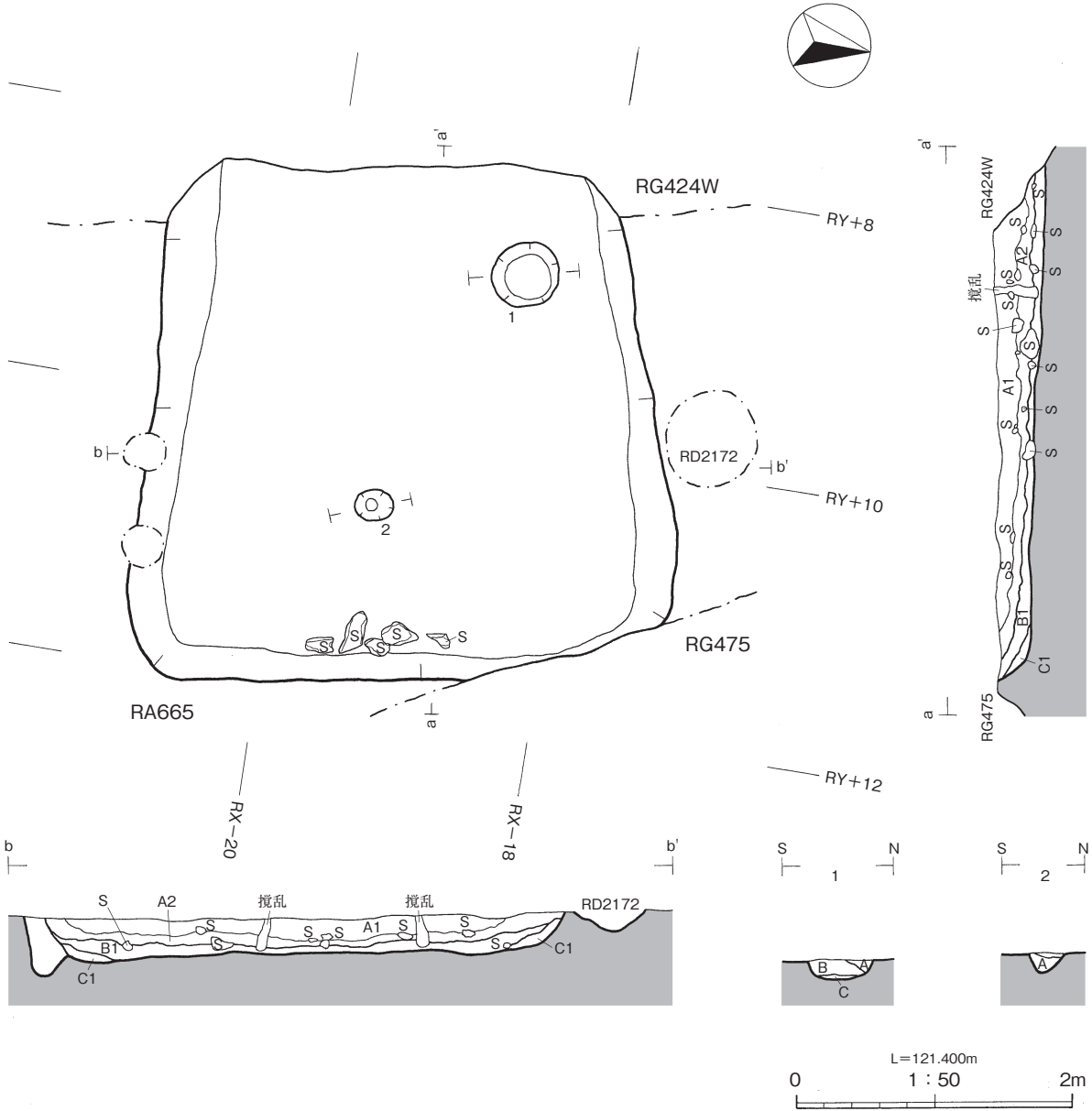
第14図 台太郎遺跡第74次調査 I 区 R A 662 竖穴建物跡



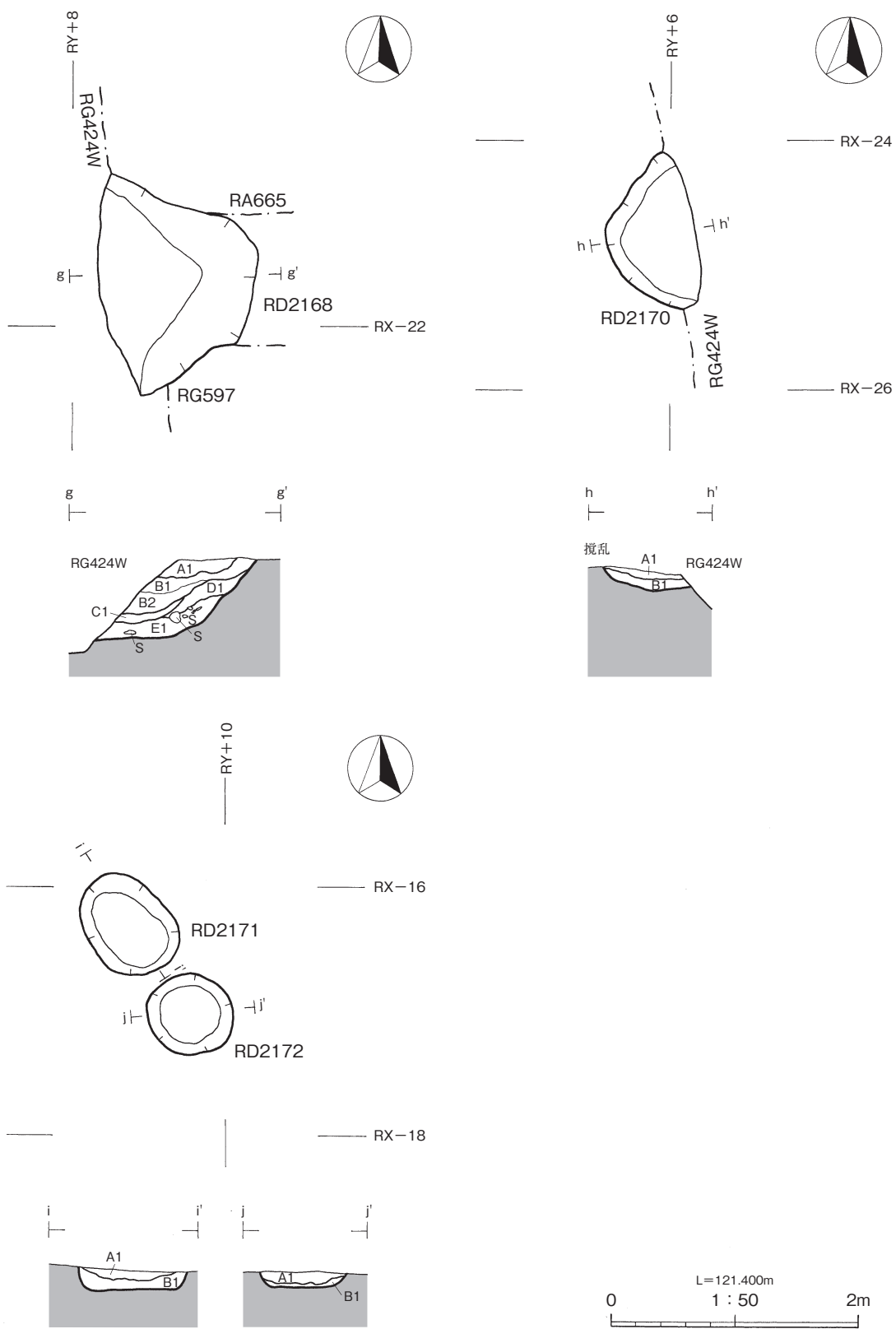
第15図 台太郎遺跡第74次調査 I 区 RA663 竪穴建物跡



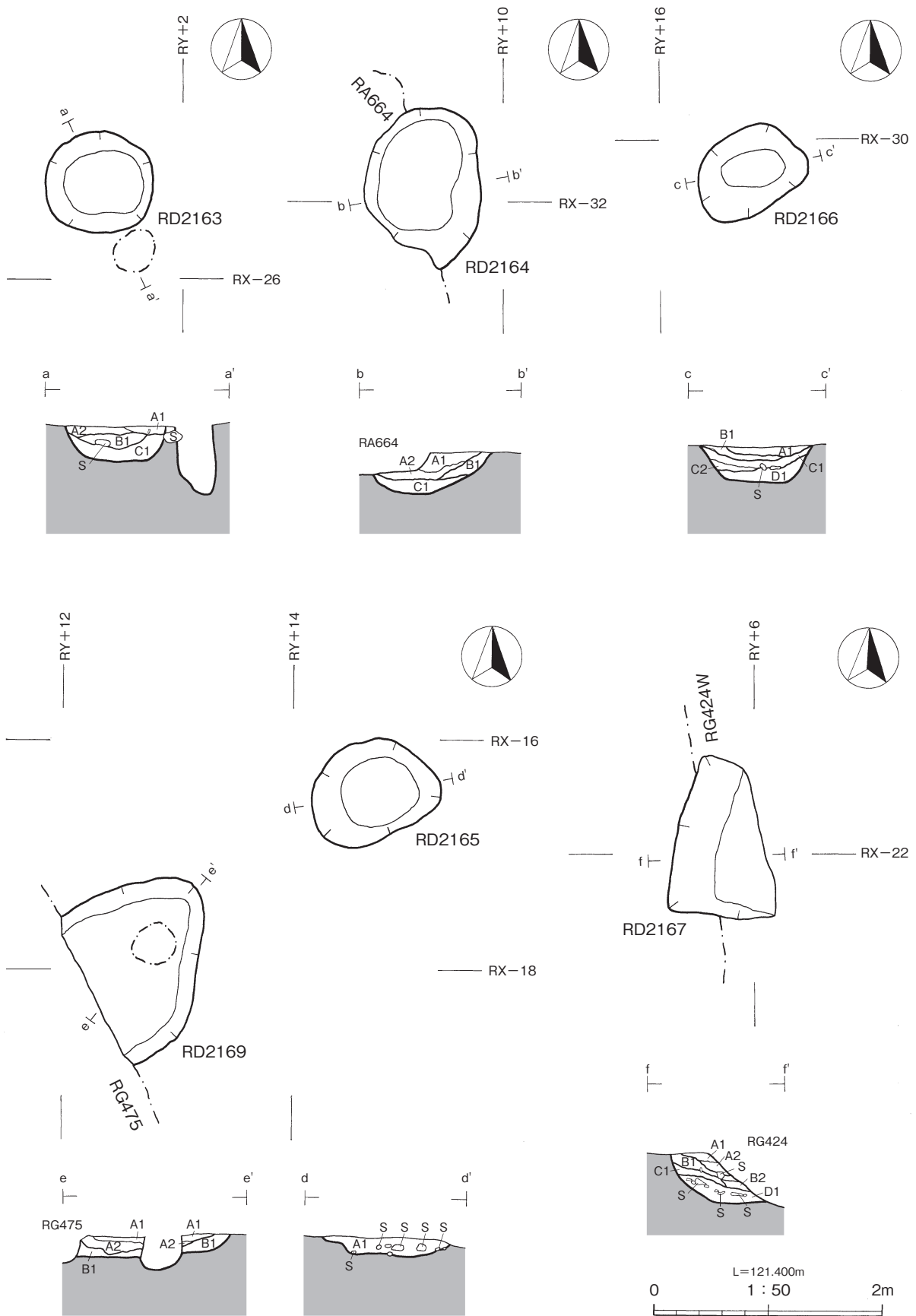
第16図 台太郎遺跡第74次調査 I 区 R A 664 竖穴建物跡



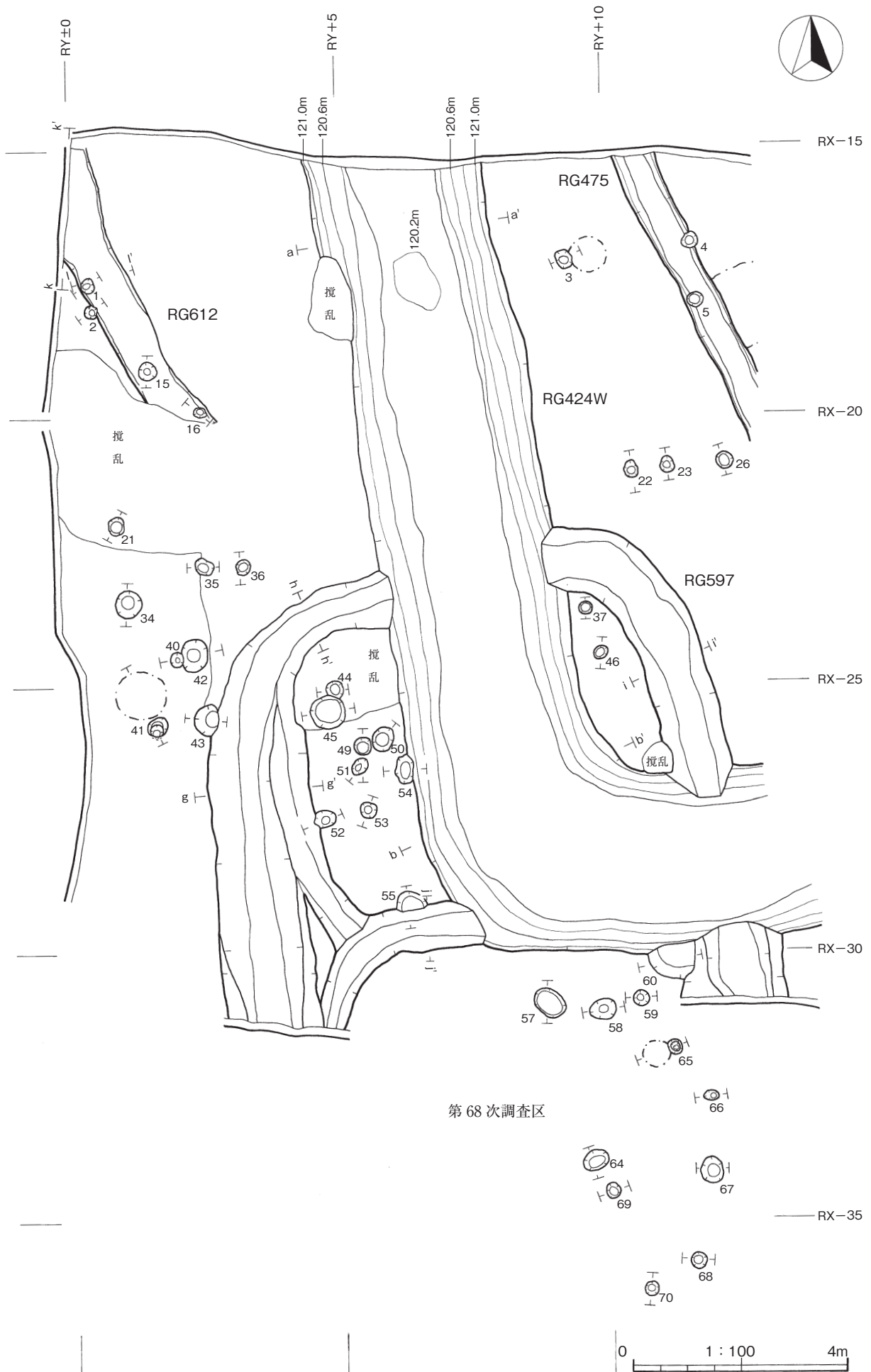
第17図 台太郎遺跡第74次調査 I 区 RA665 竪穴建物跡



第18図 台太郎遺跡第74次調査 I 区 RD2168・2170~2172 土坑



第19図 台太郎遺跡第74次調査 I 区 RD2163~2167・2169土坑



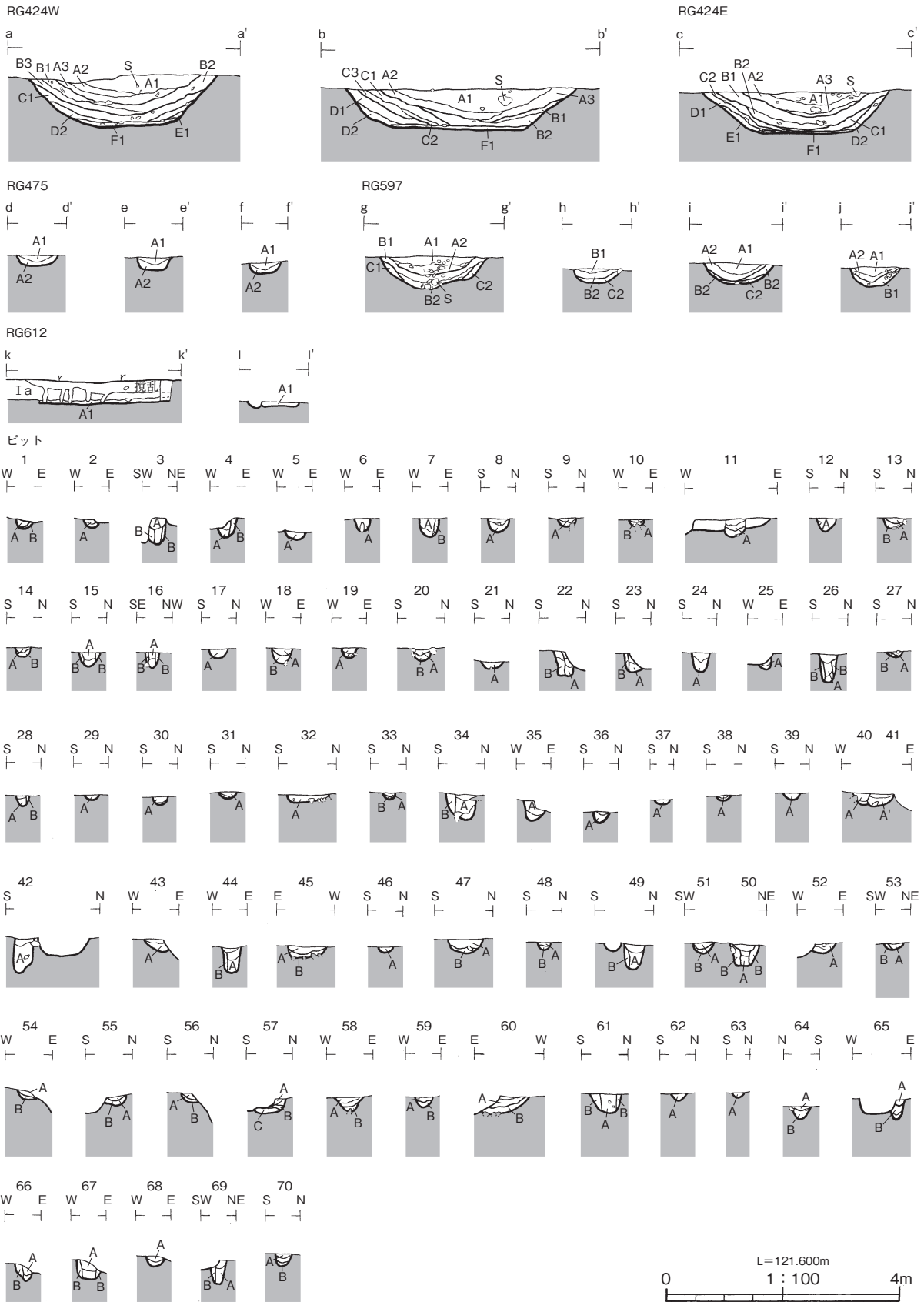
第 68 次調査区

第20図 台太郎遺跡第74次調査 I 区 RG424堀跡, RG597方形周溝, RG612溝跡, ピット

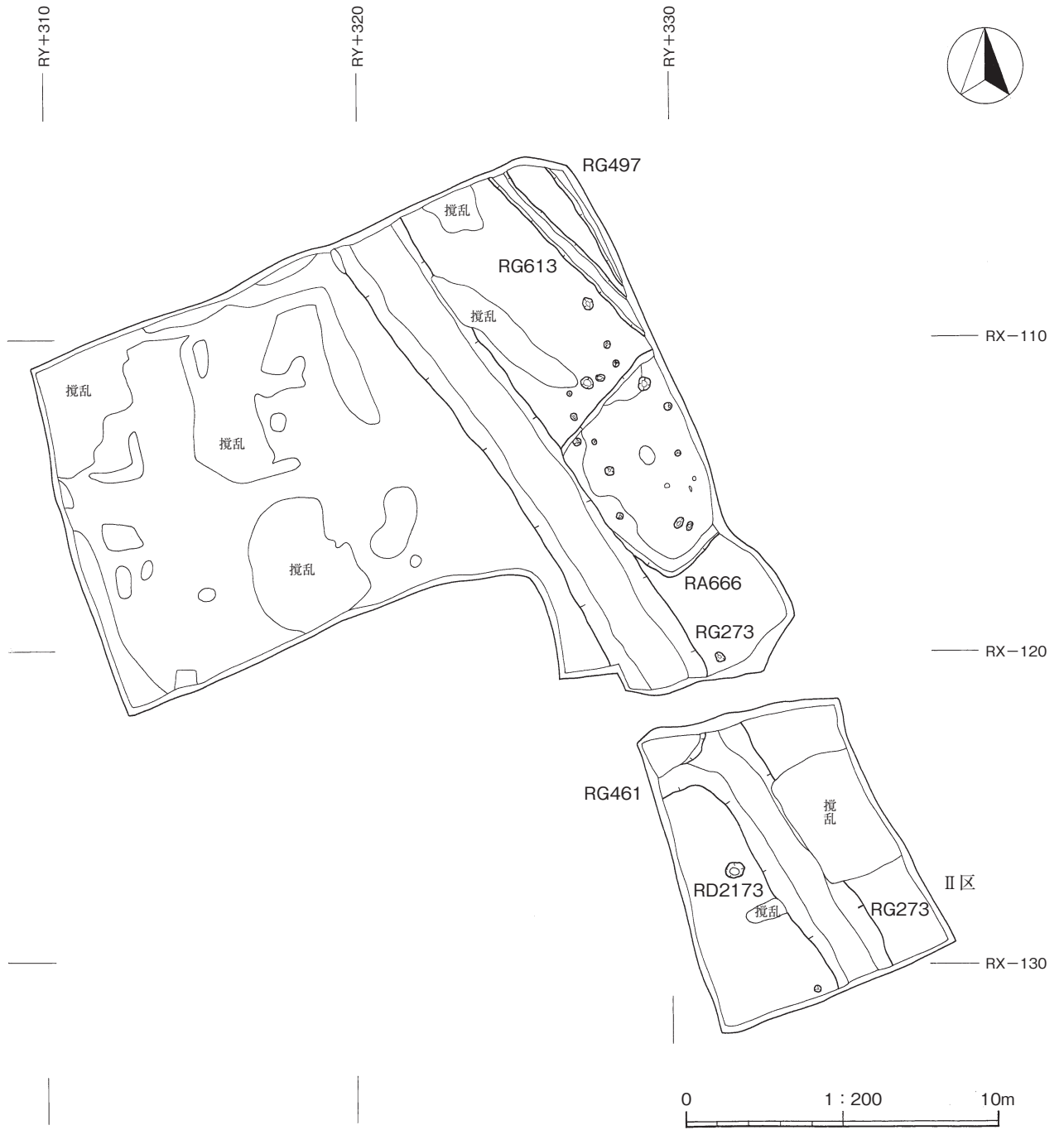


第 68 次調査区

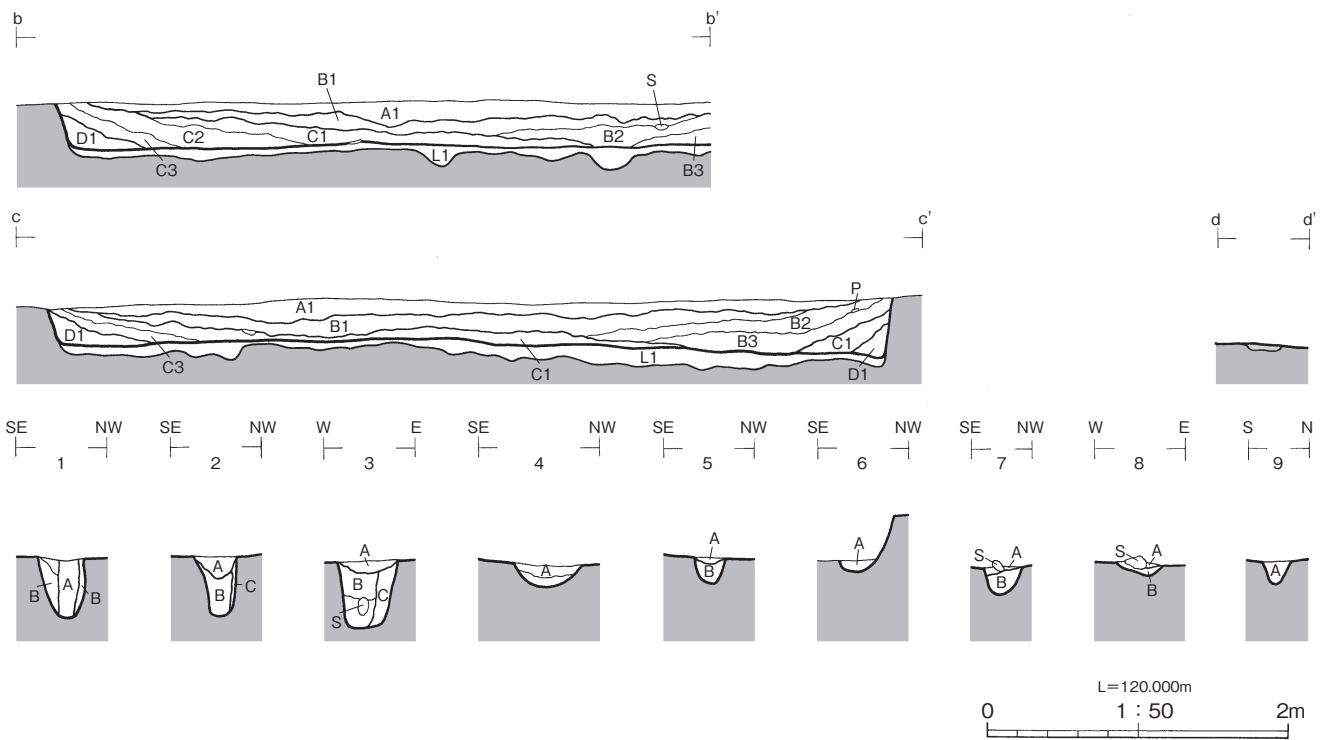
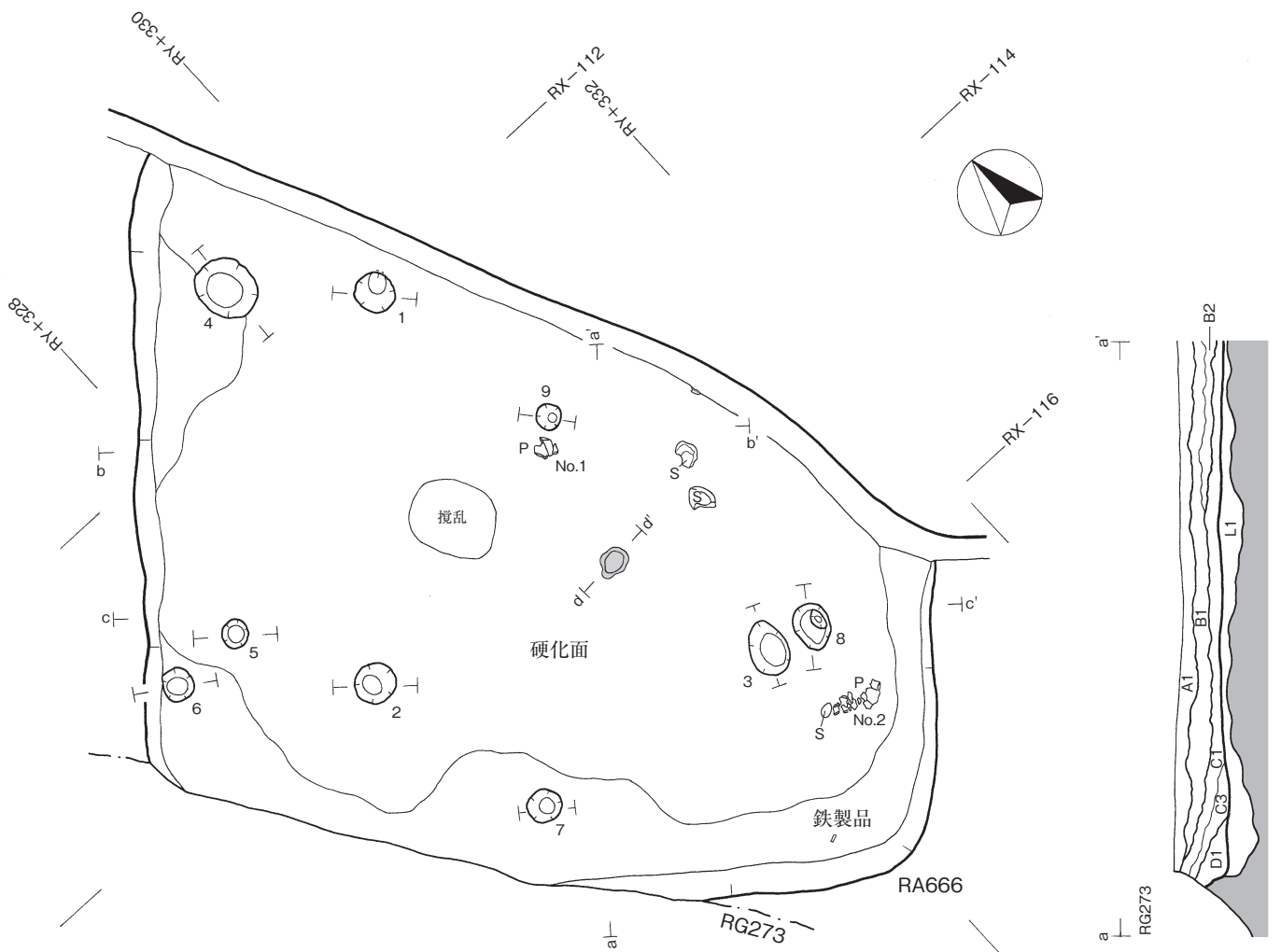
第21図 台太郎遺跡第74次調査I区RG424堀跡, RG475溝跡, ピット



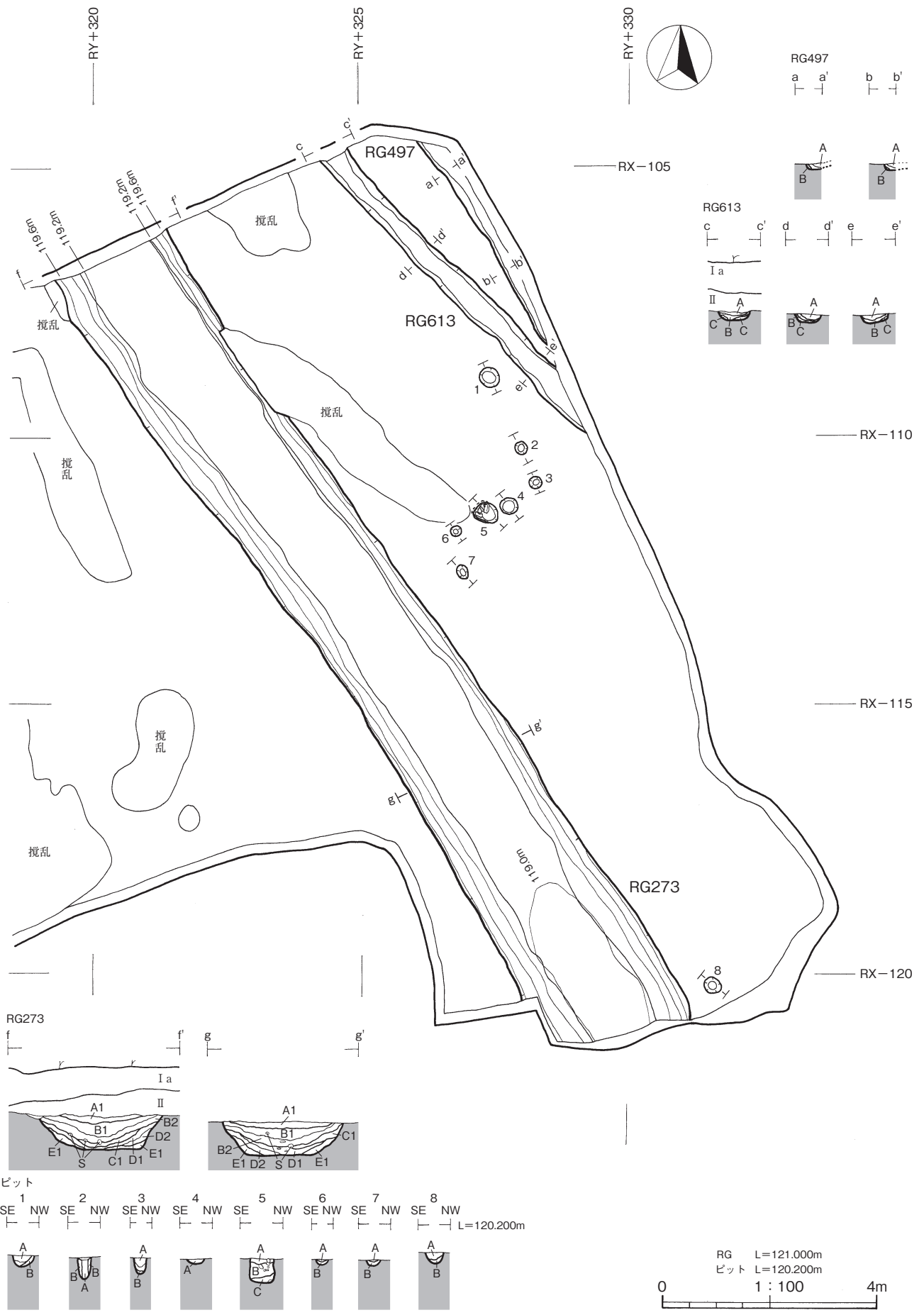
第22図 台太郎遺跡第74次調査 I 区 RG424 堀跡, RG597 方形周溝, RG475・612 溝跡, ピット



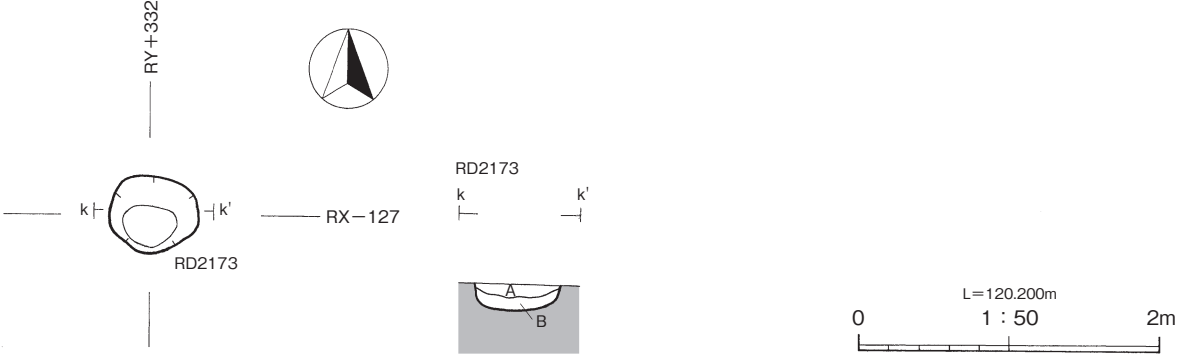
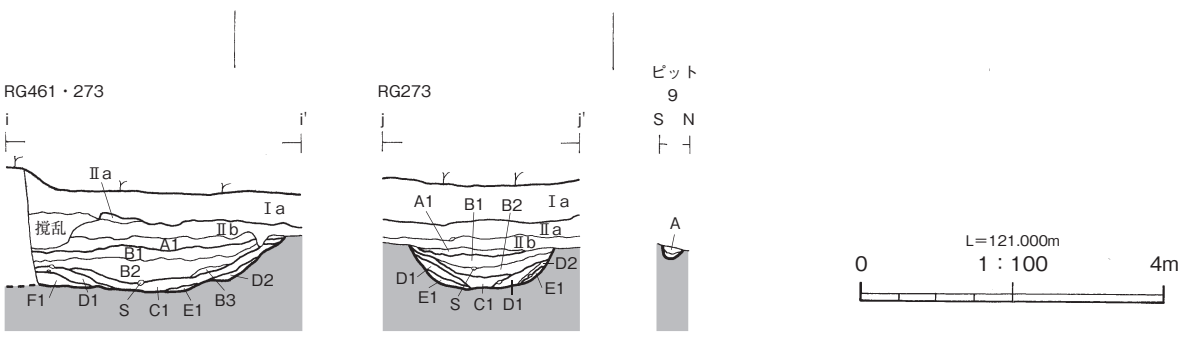
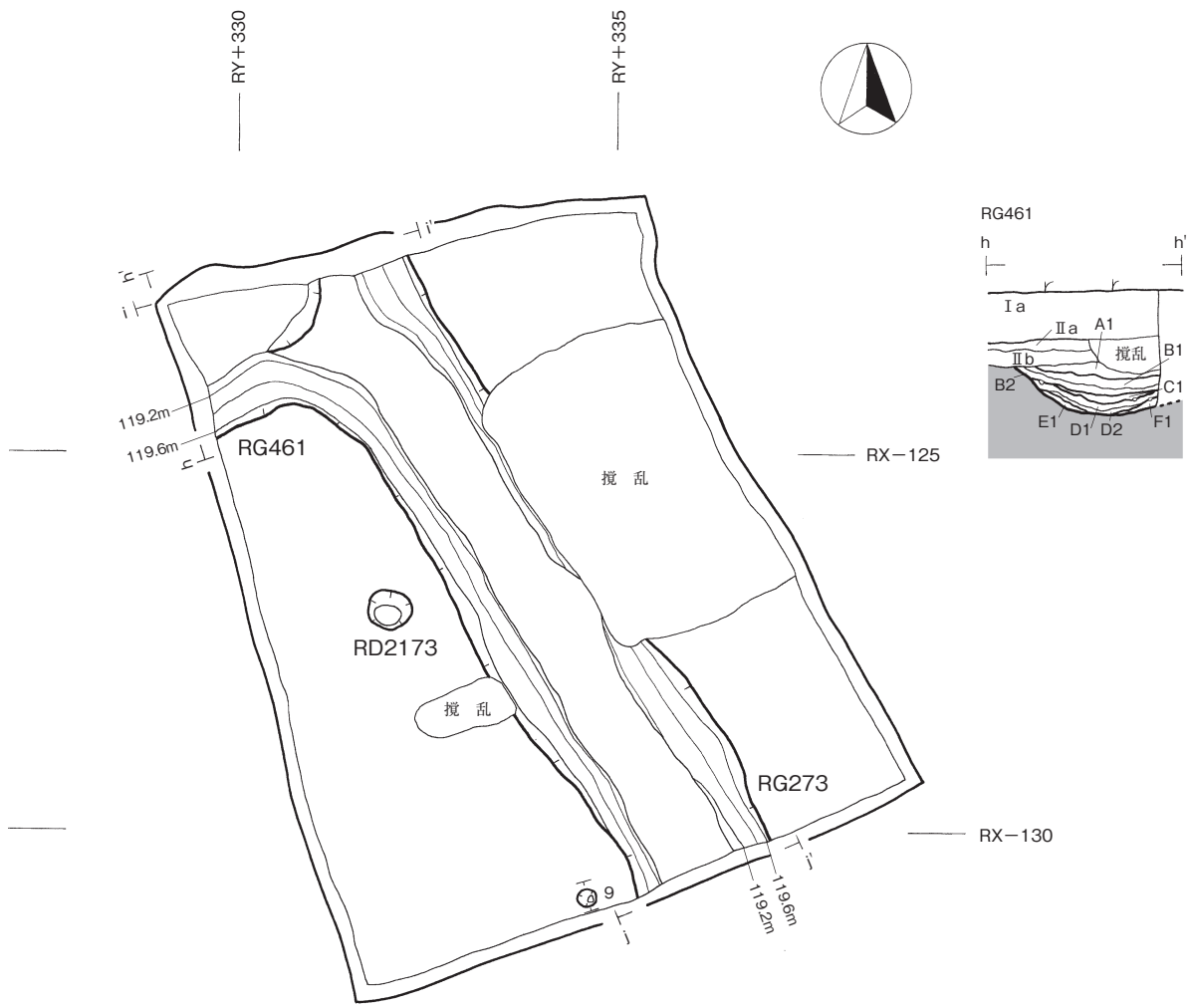
第23図 台太郎遺跡第74次調査Ⅱ区全体図



第24図 台太郎遺跡第74次調査Ⅱ区RA666竪穴建物跡



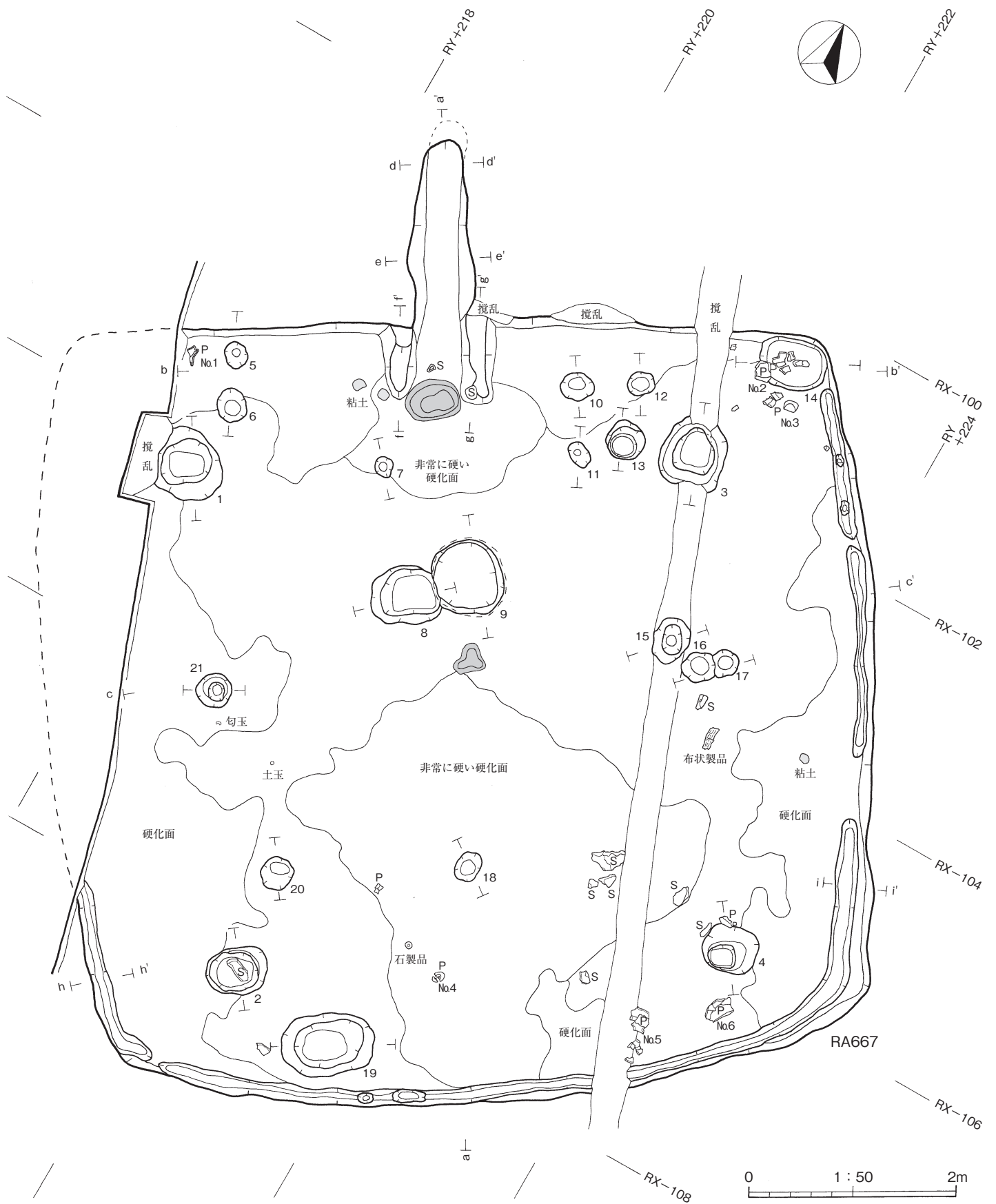
第25図 台太郎遺跡第74次調査Ⅱ区RG273堀跡, RG497・613溝跡, ピット



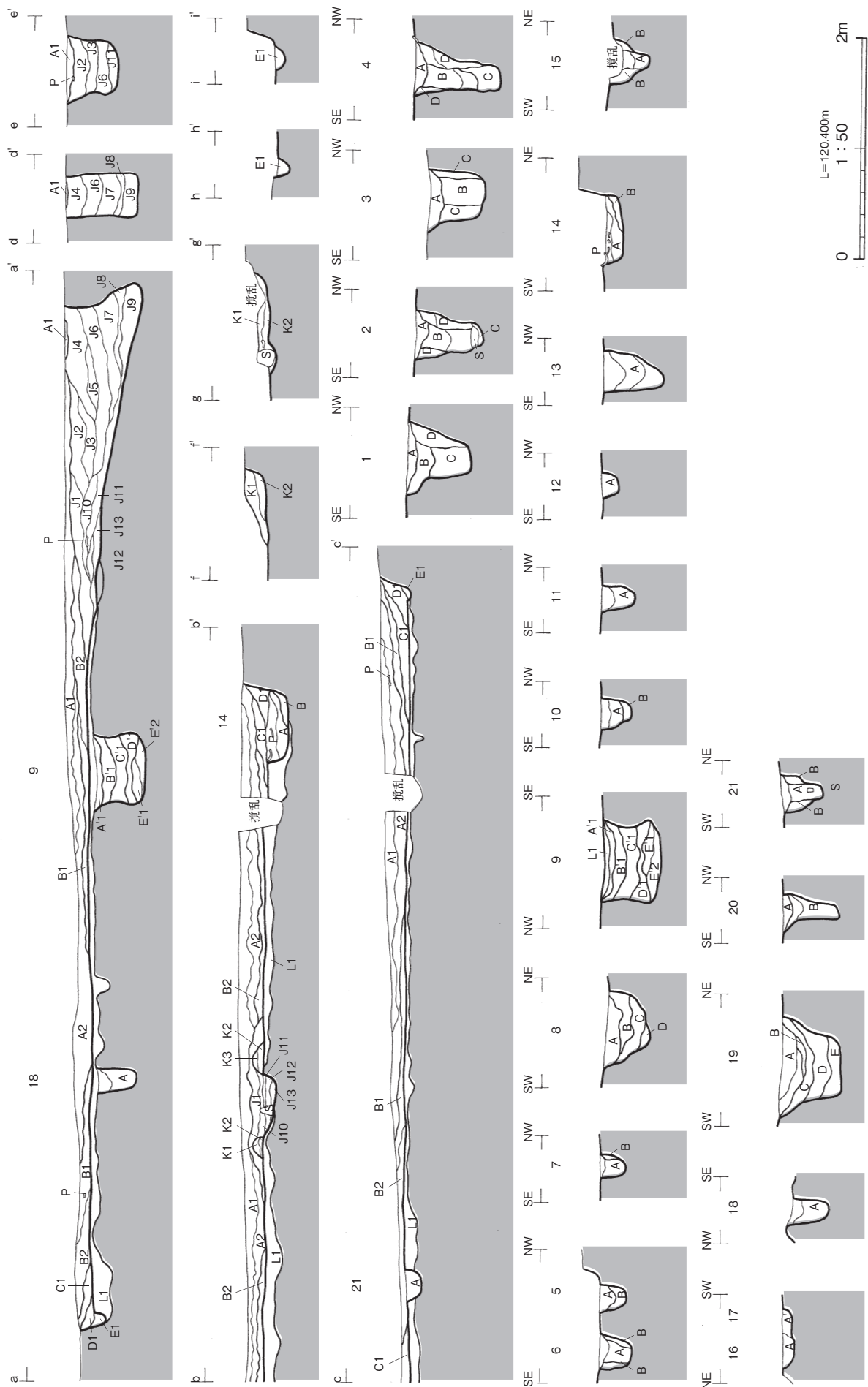
第26図 台太郎遺跡第74次調査Ⅱ区RD2173土坑, RG273・461堀跡, ピット



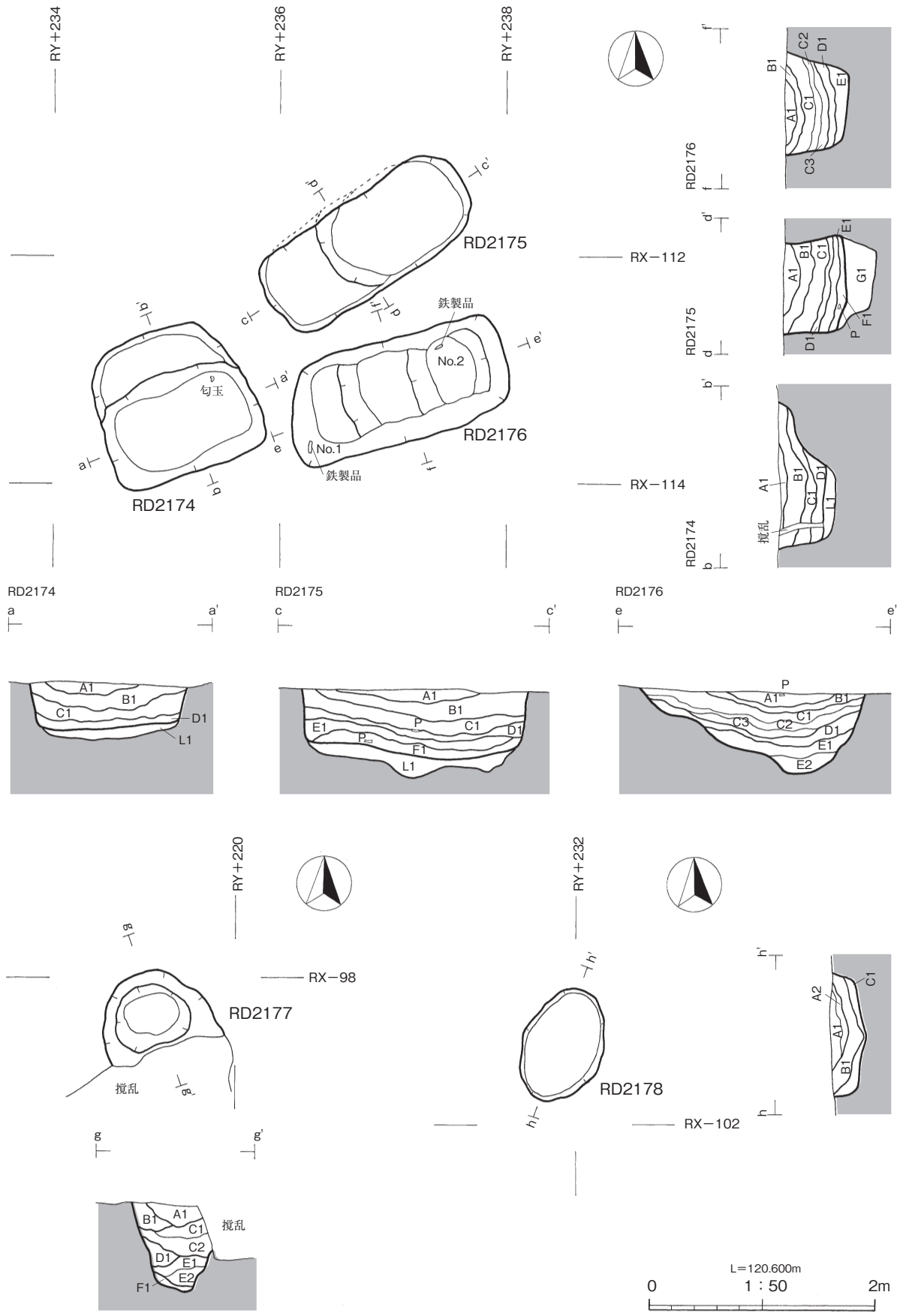
第27図 台太郎遺跡第74次調査Ⅲ区全体図



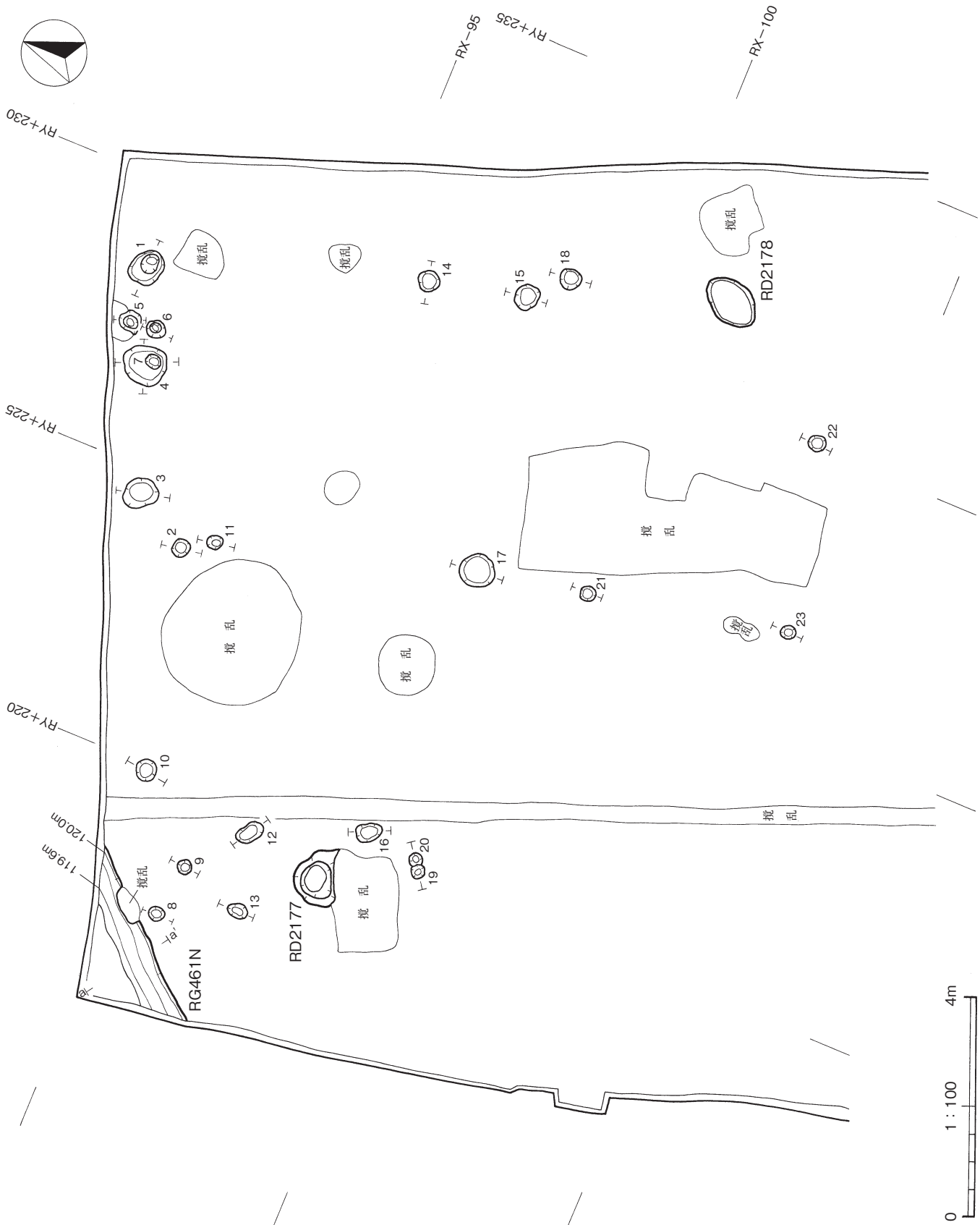
第28図 台太郎遺跡第74次調査Ⅲ区RA667竪穴建物跡(1)



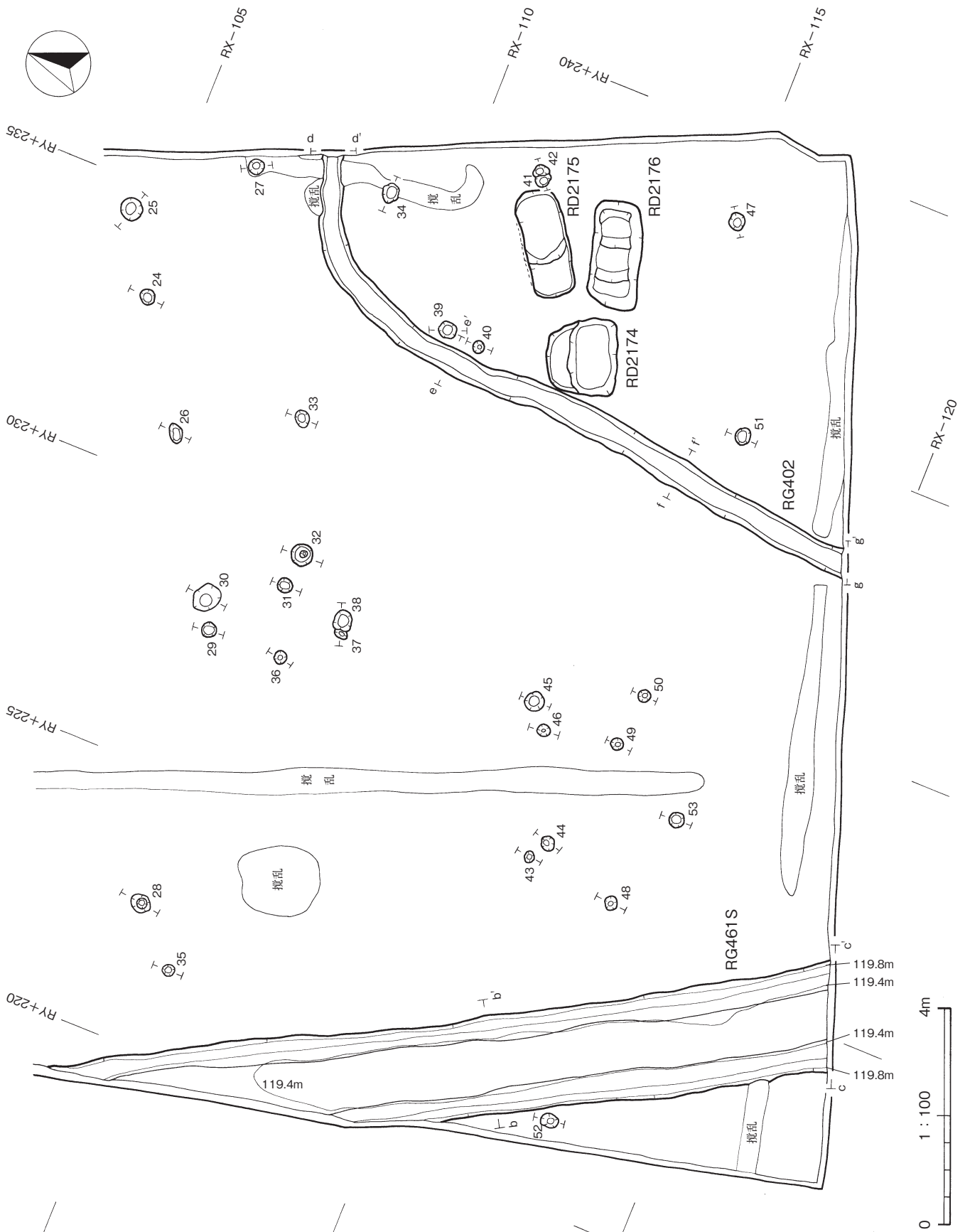
第29図 台太郎遺跡第74次調査Ⅲ区R A667竪穴建物跡 (2)



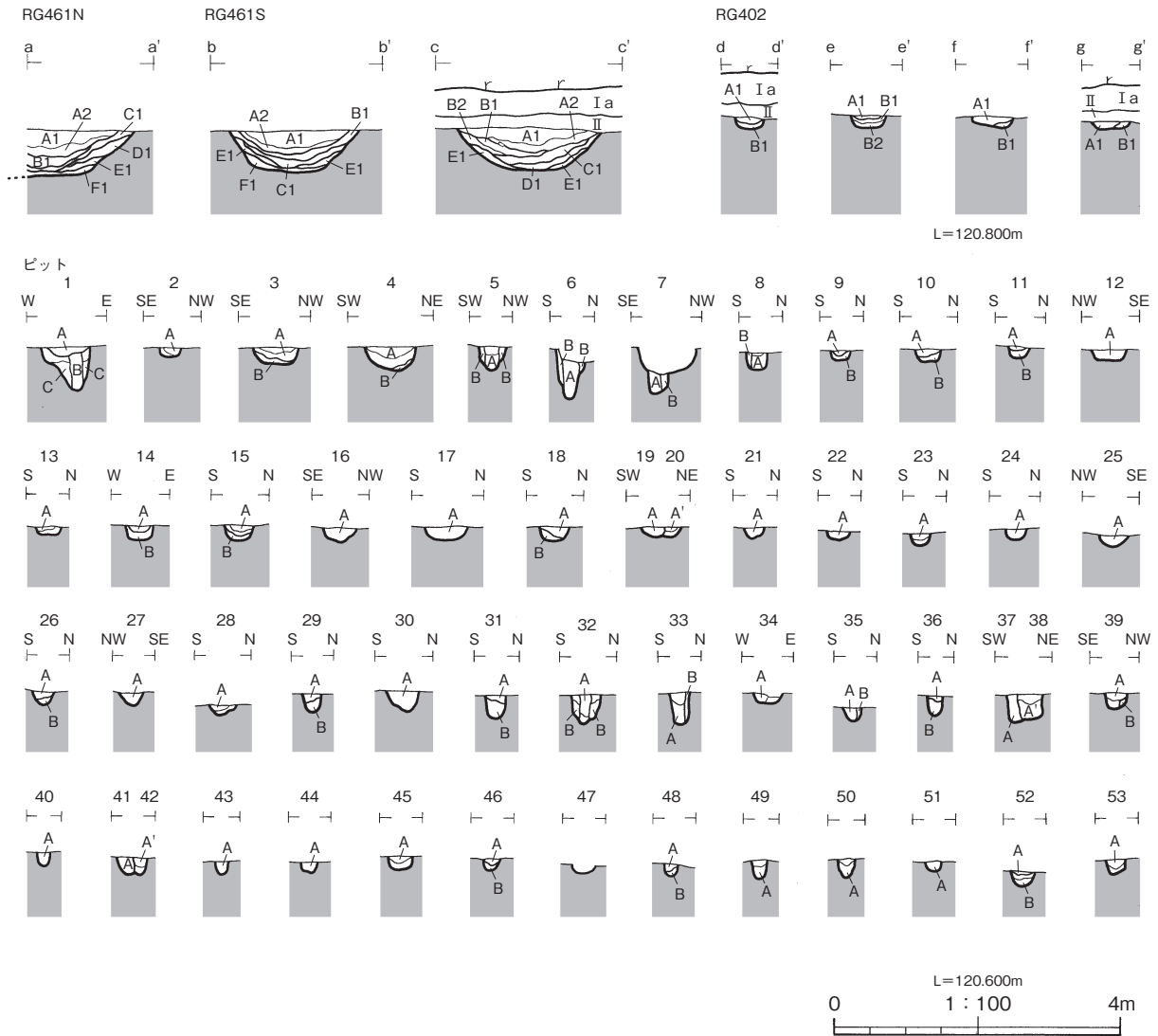
第30図 台太郎遺跡第74次調査Ⅲ区RD2174~2178土坑



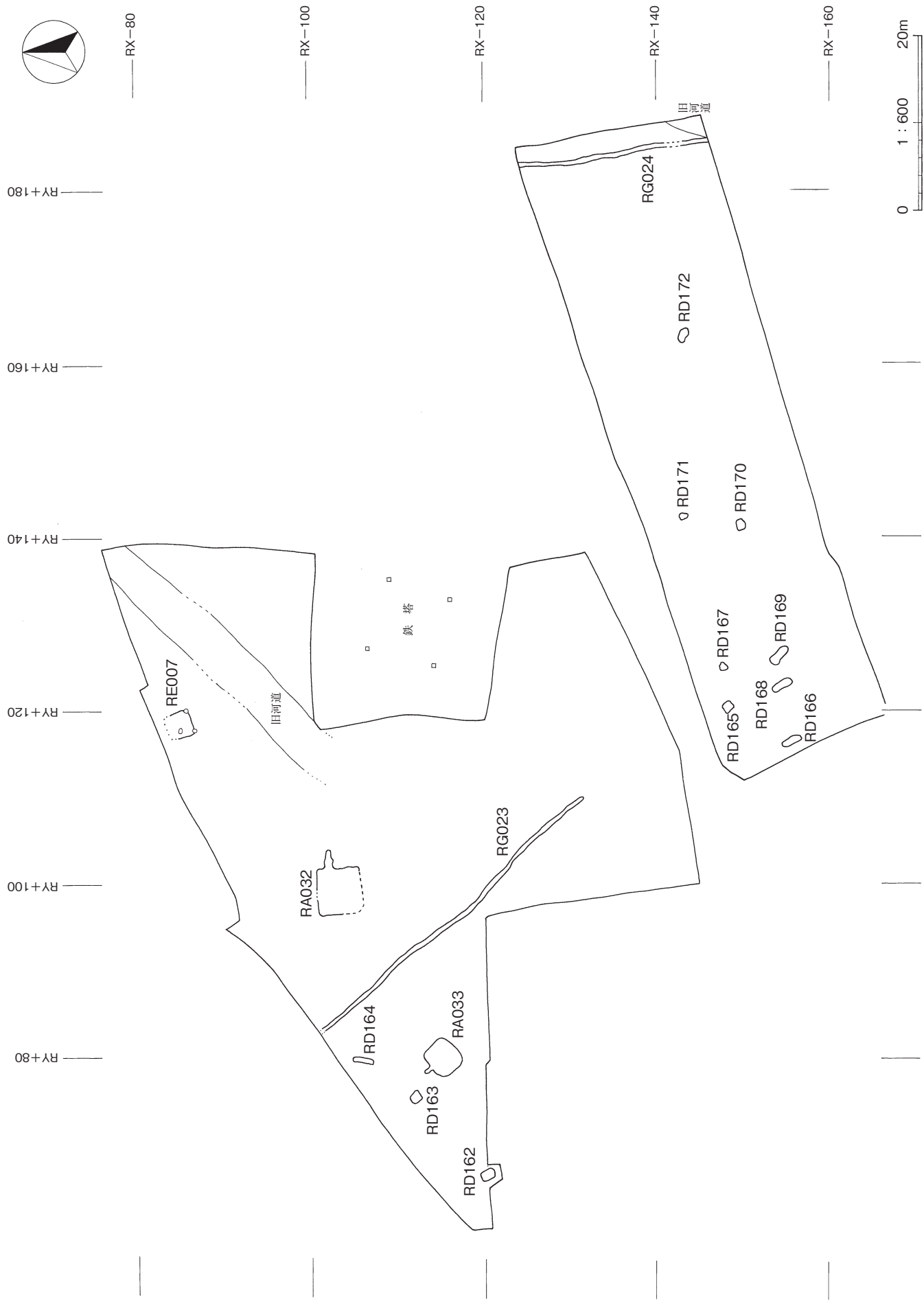
第31図 台太郎遺跡第74次調査Ⅲ区RG461堀跡, ピット



第32図 台太郎遺跡第74次調査Ⅲ区RG461堀跡, RG402溝跡, ピット (1)



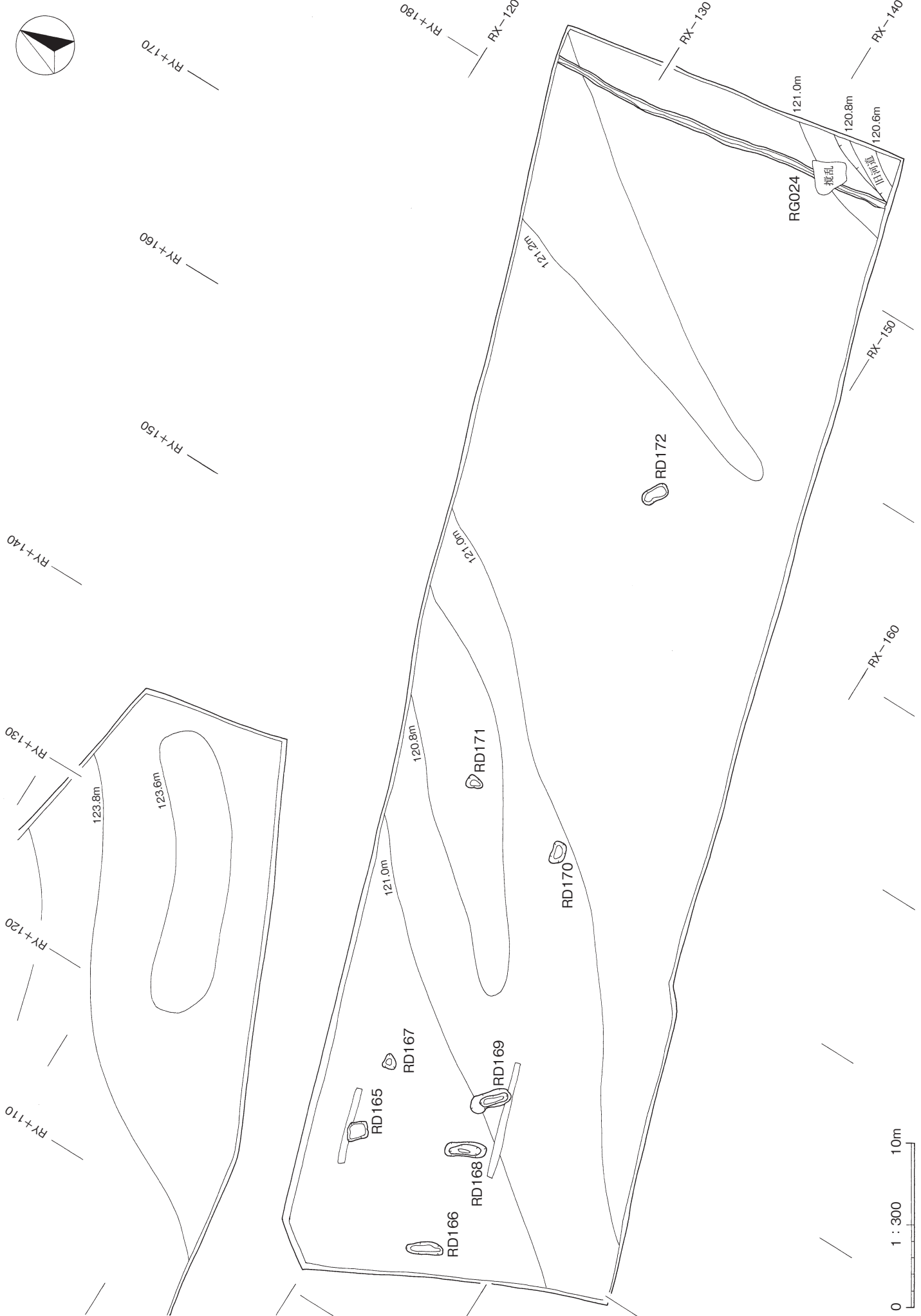
第33図 台太郎遺跡第74次調査Ⅲ区RG461堀跡, RG402溝跡, ピット (2)



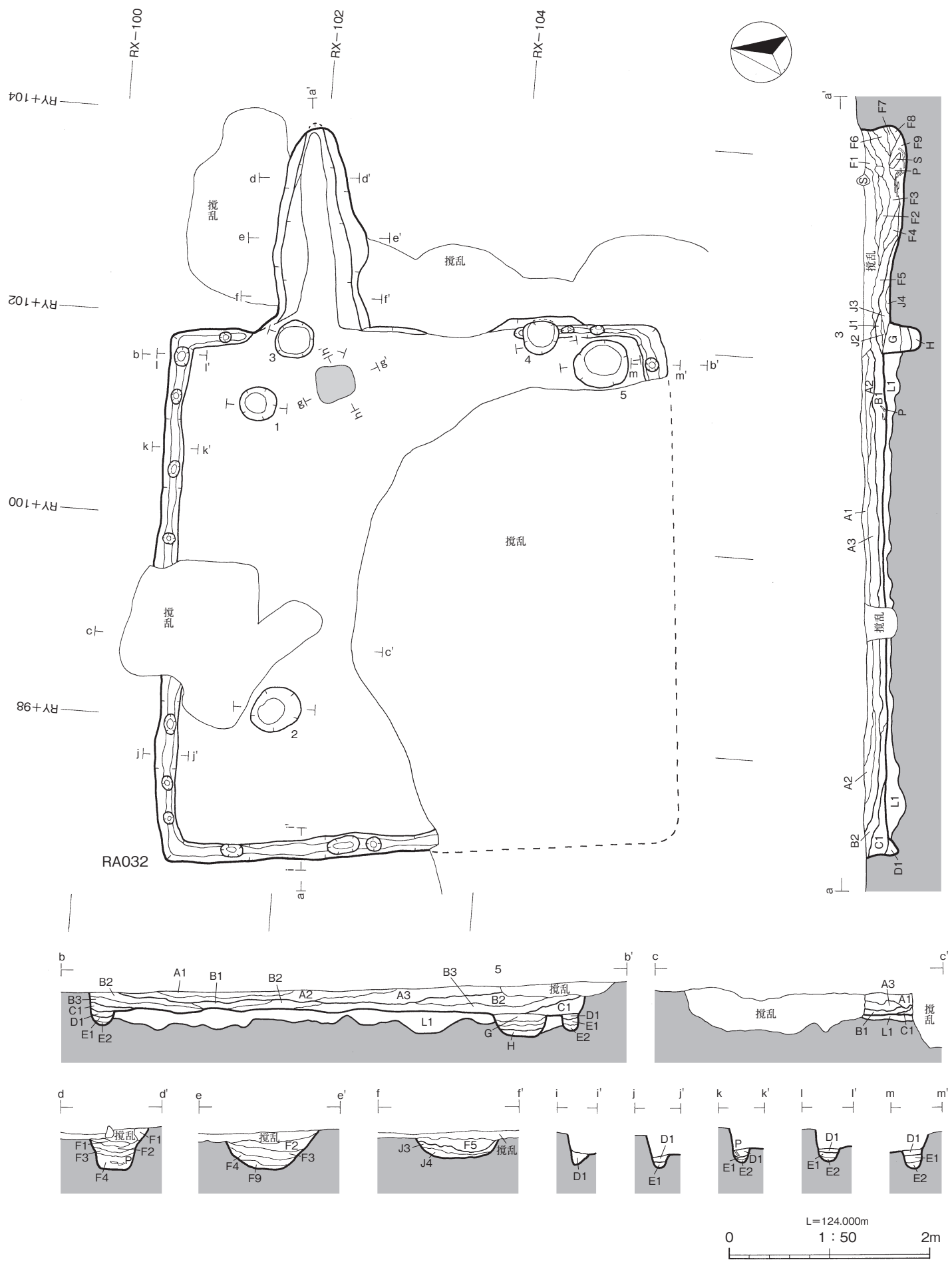
第34図 飯岡沢田遺跡第13次調査区全体図



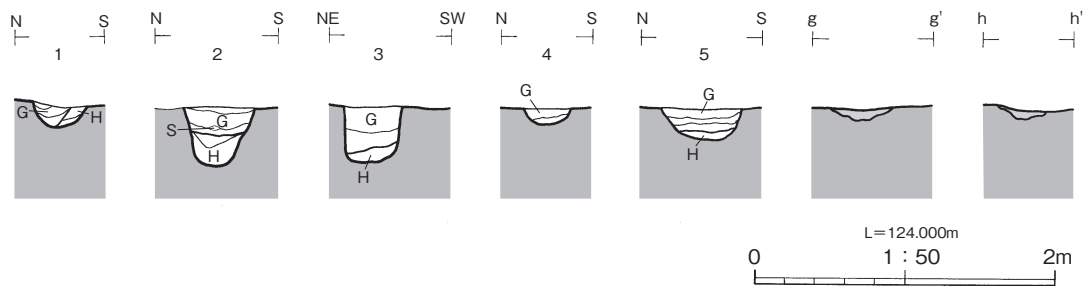
第35図 飯岡沢田遺跡第13次調査区北部全体図



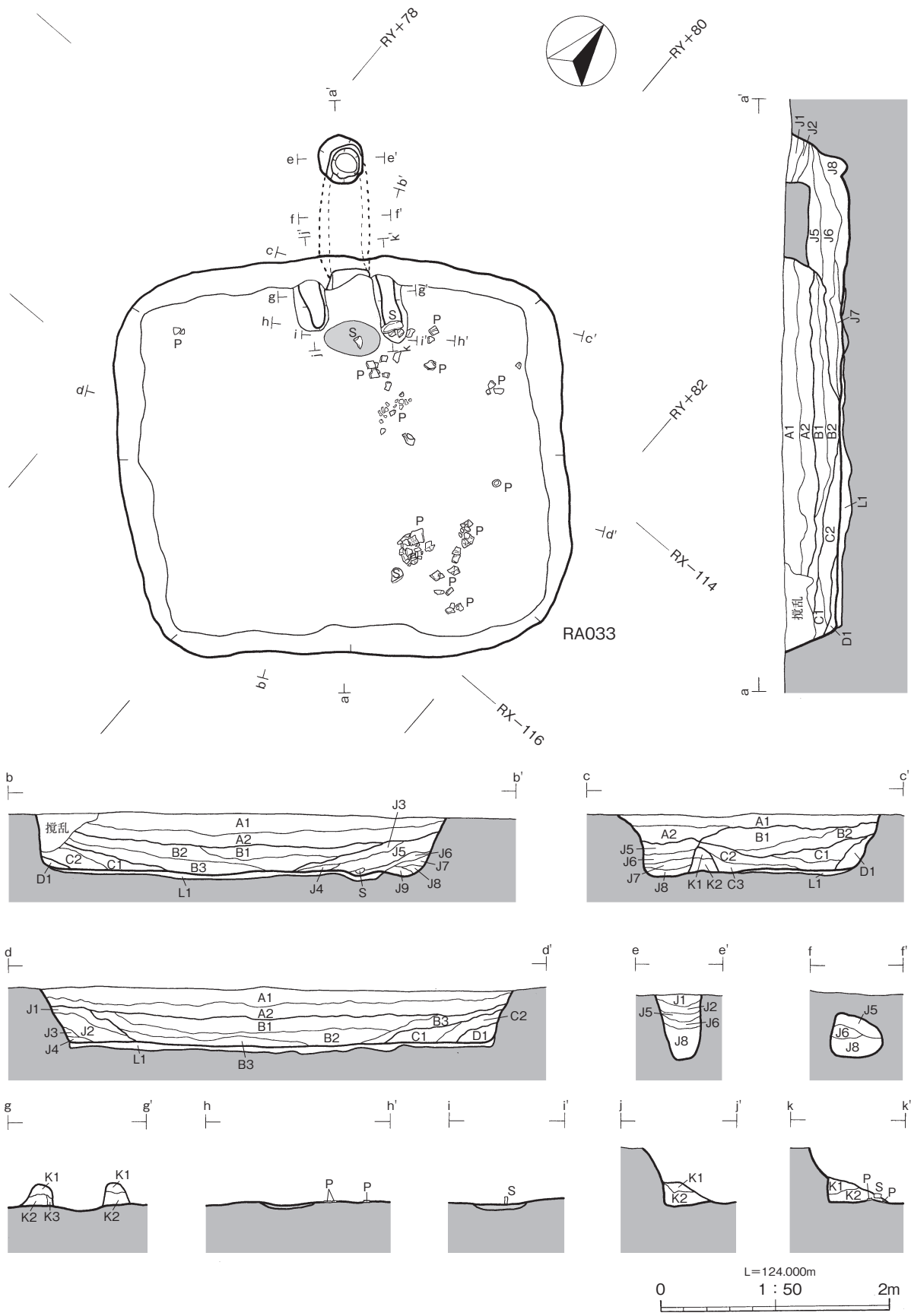
第36図 飯岡沢田遺跡第13次調査区南部全体図



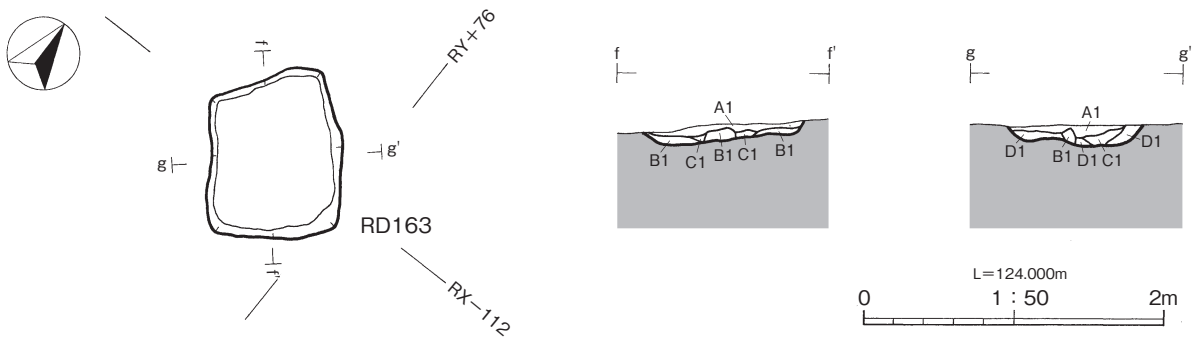
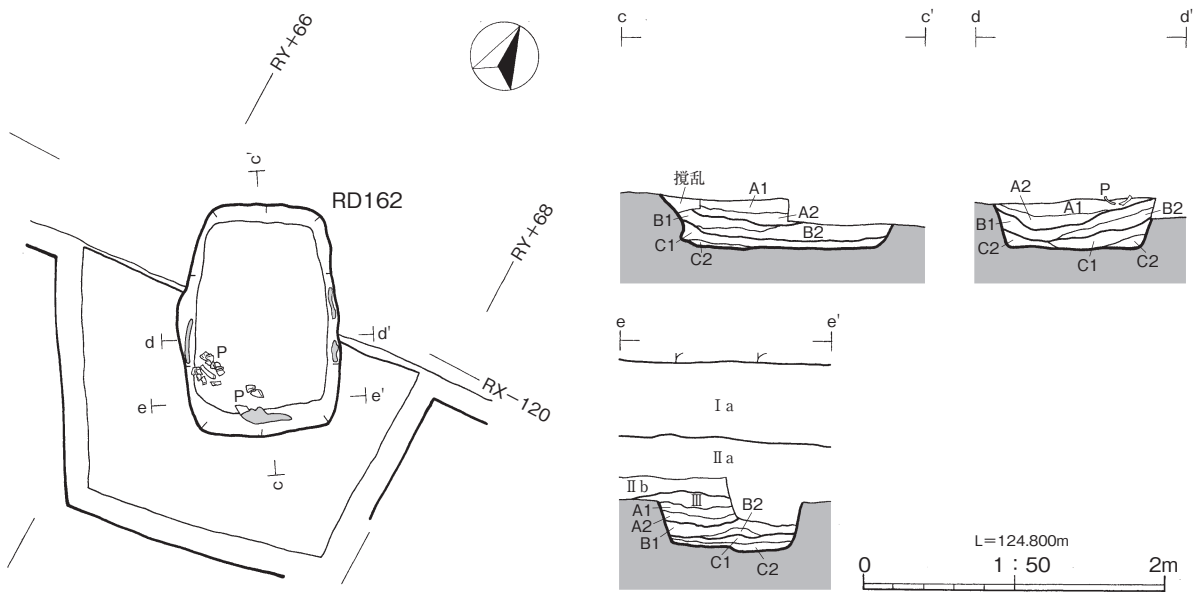
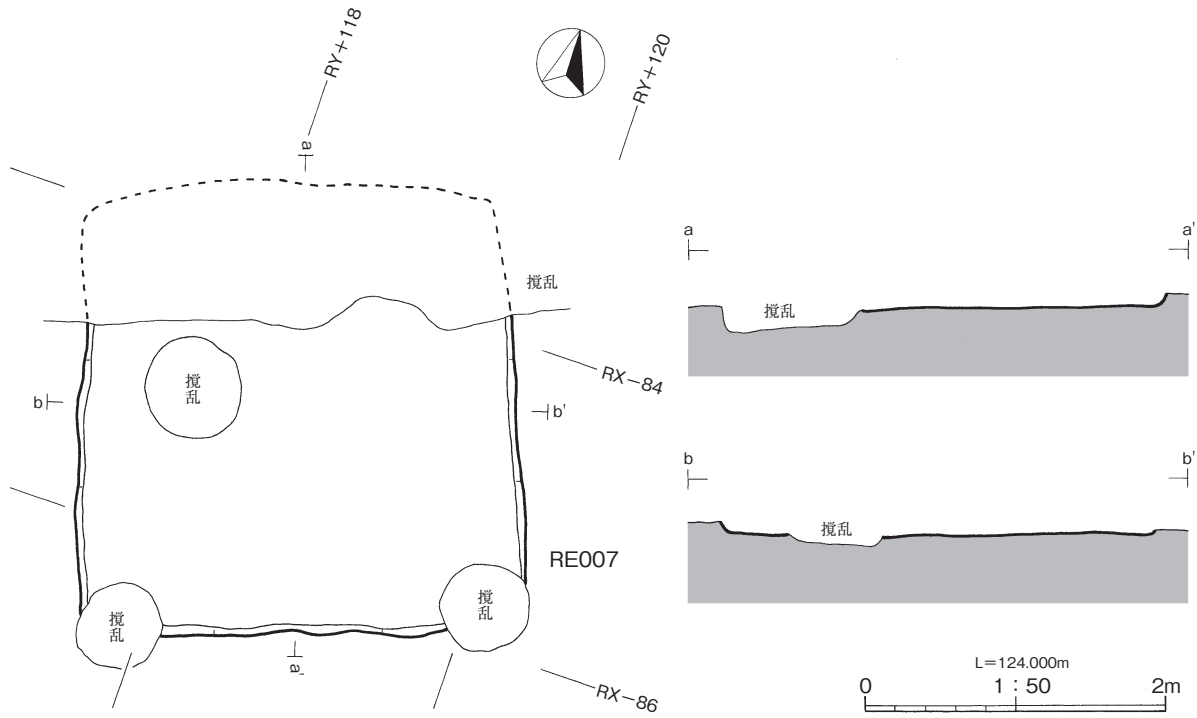
第37図 飯岡沢田遺跡第13次調査RA032竪穴建物跡(1)



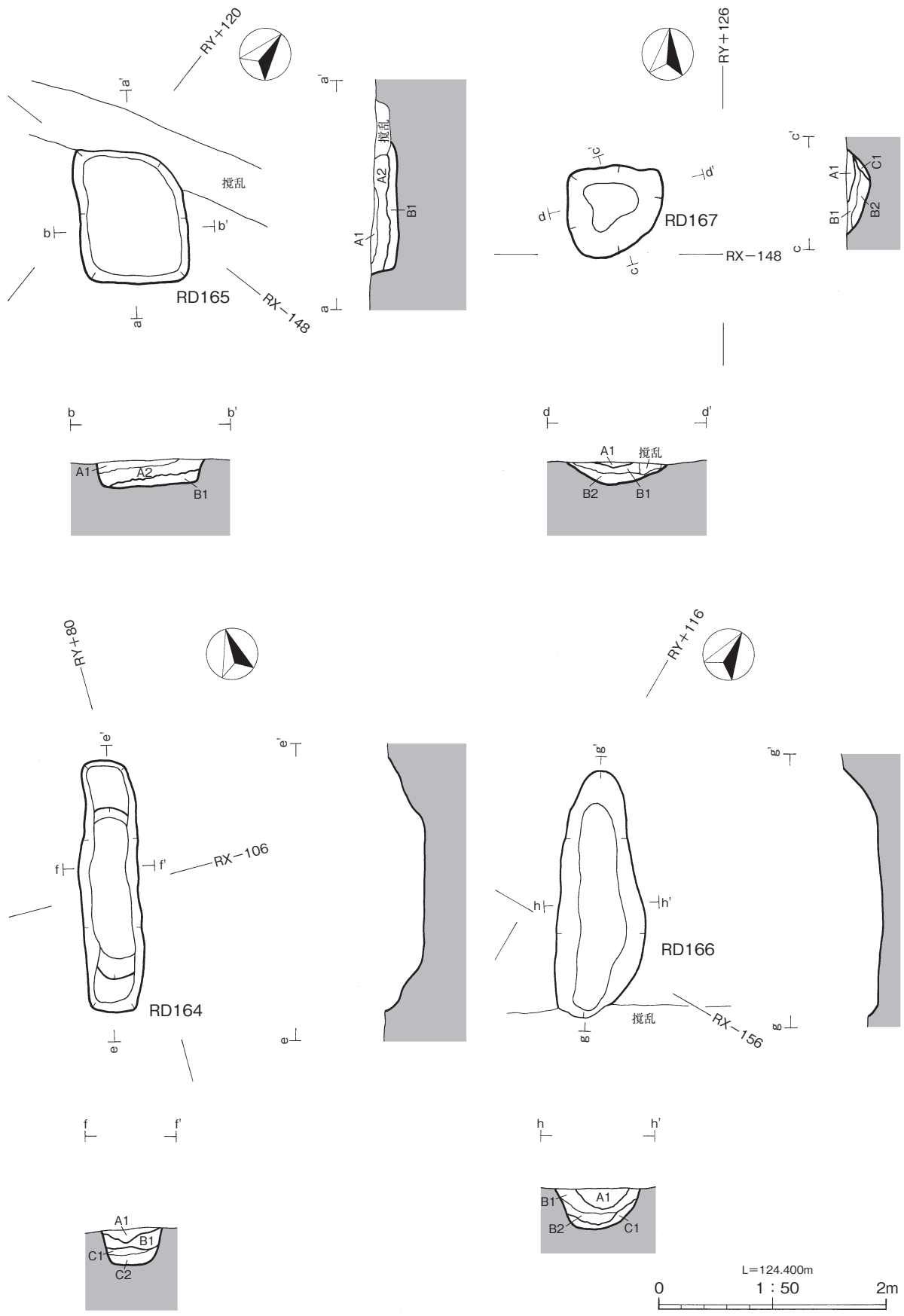
第38図 飯岡沢田遺跡第13次調査RA032竪穴建物跡(2)



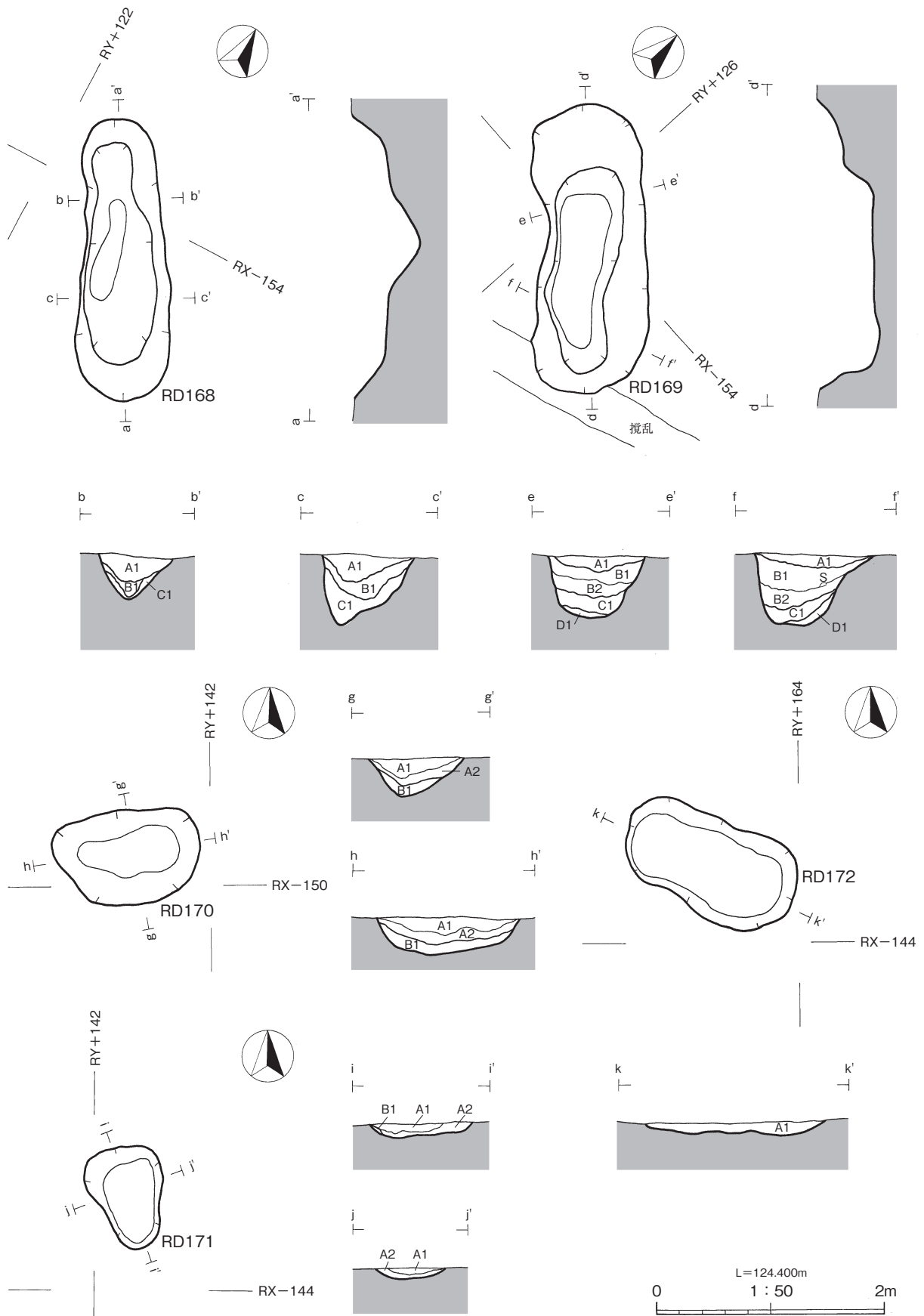
第39図 飯岡沢田遺跡第13次調査R A033竖穴建物跡



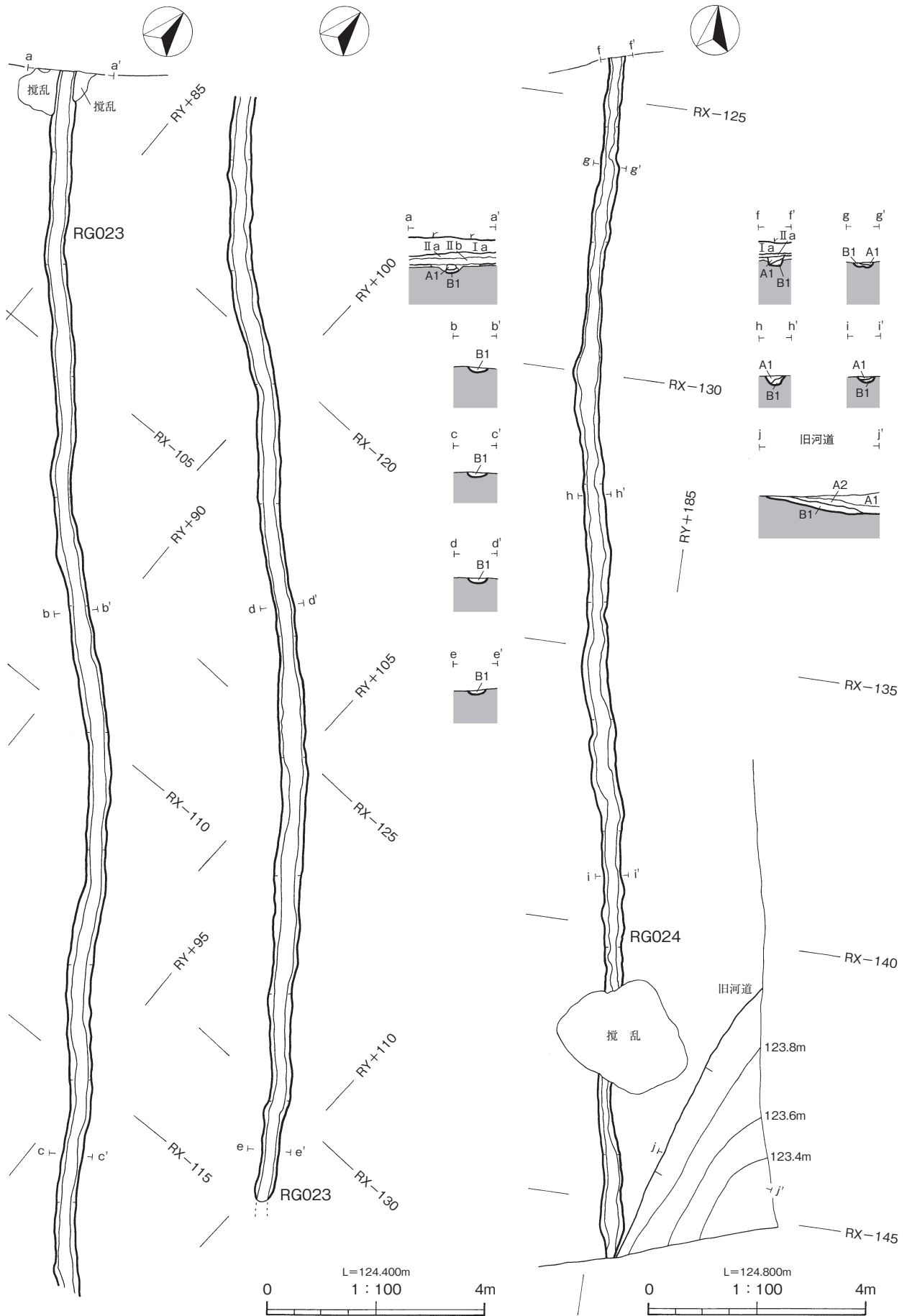
第40図 飯岡沢田遺跡第13次調査RE007竪穴状遺構, RD162・163土坑



第41图 飯岡沢田遺跡第13次調査RD164~167土坑

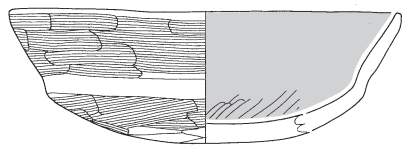


第42図 飯岡沢田遺跡第13次調査RD168~172土坑

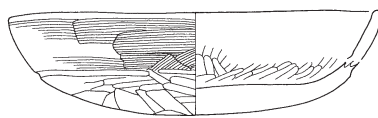


第43図 飯岡沢田遺跡第13次調査RG023・024溝跡

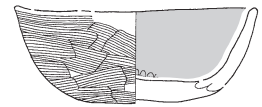
遺物 図 版



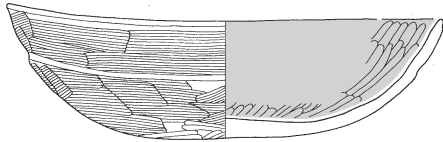
001 土師器坏-RA652-D層 (No.7)



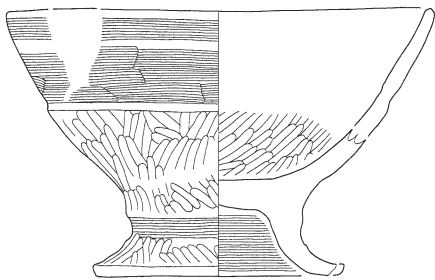
003 土師器坏-RA652-床面 (No.2)



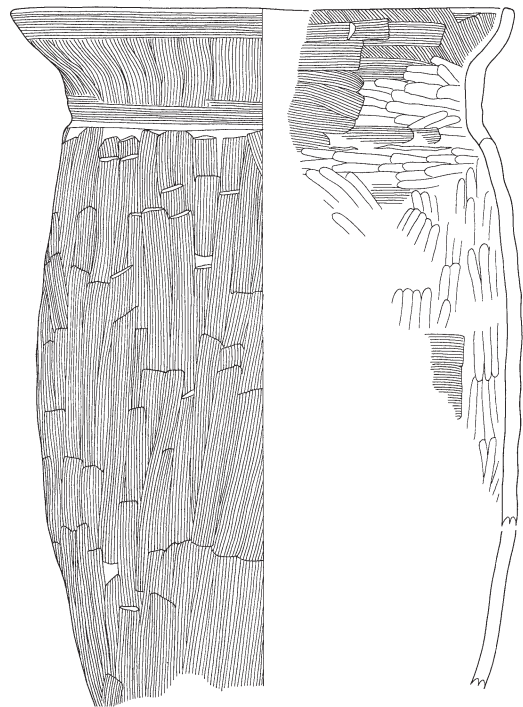
004 土師器坏-RA652-SW区床面



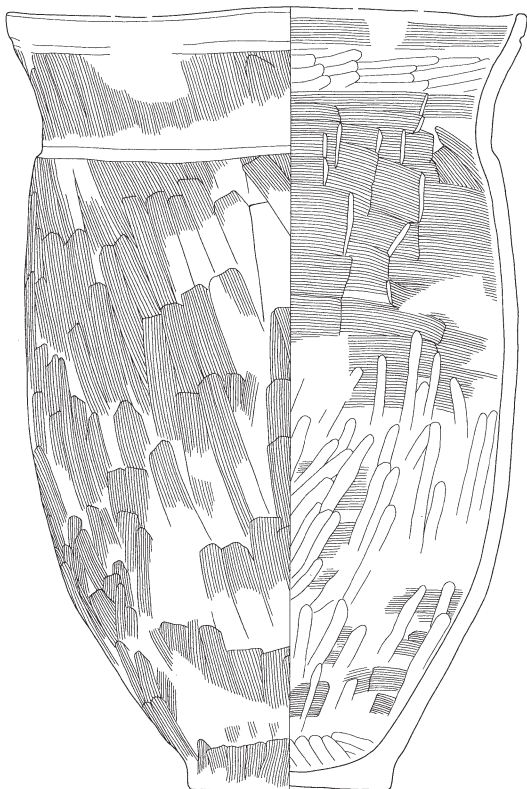
002 土師器坏-RA652-C層 (No.9)



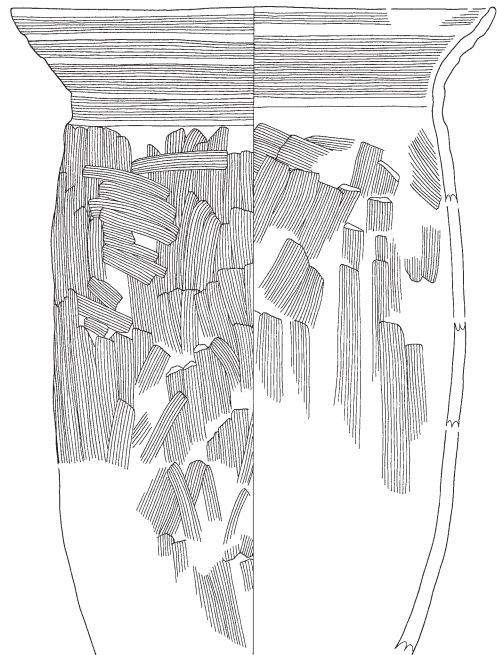
005 土師器高台付碗-RA652-床面 (No.14)



007 土師器甕-RA652-D層 (No.5)



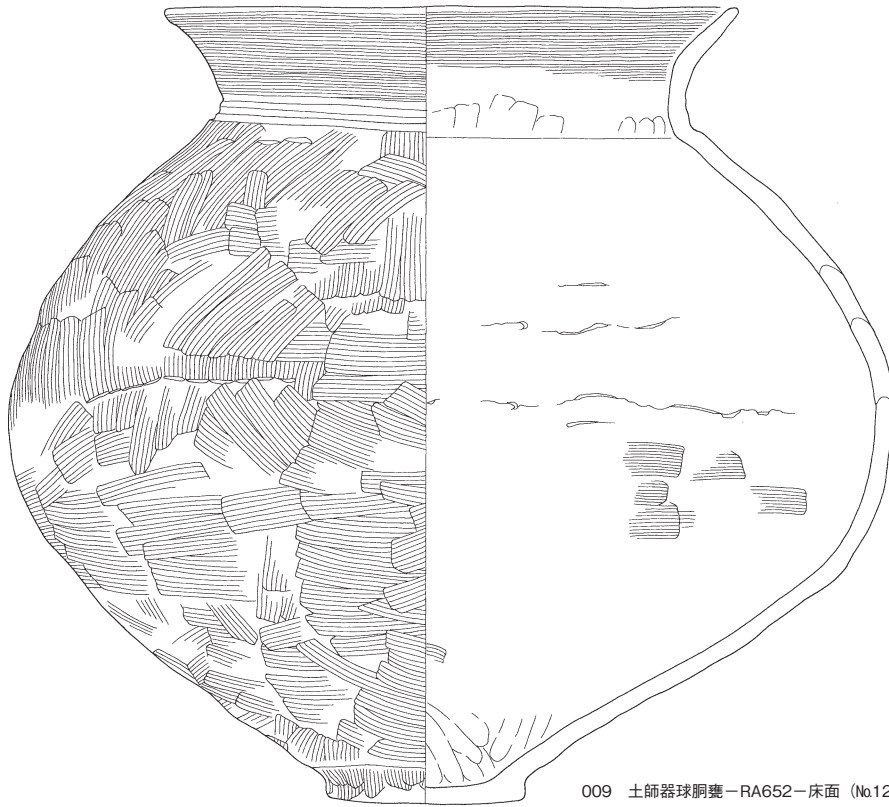
006 土師器甕-RA652-C層 (No.3)



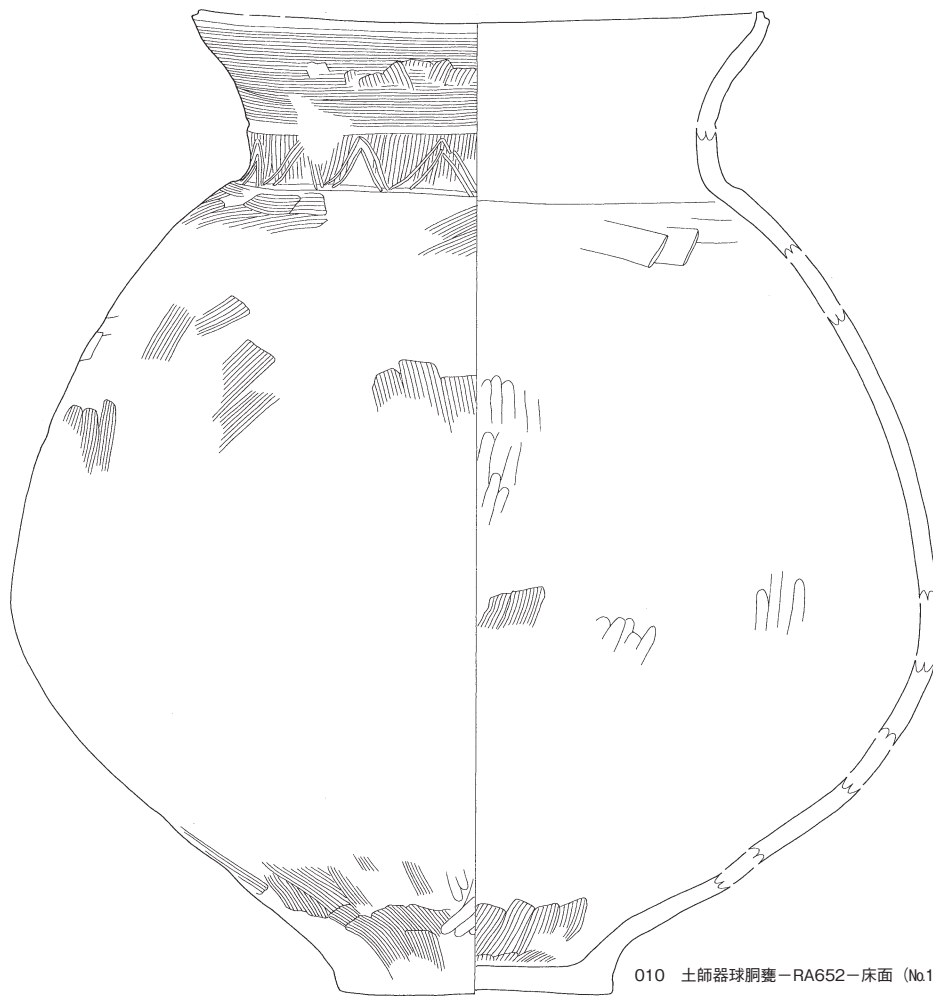
008 土師器甕-RA652-床面 (No.1)

0 1 : 3 10cm

第44図 台太郎遺跡第72次調査RA652出土土器 (1)



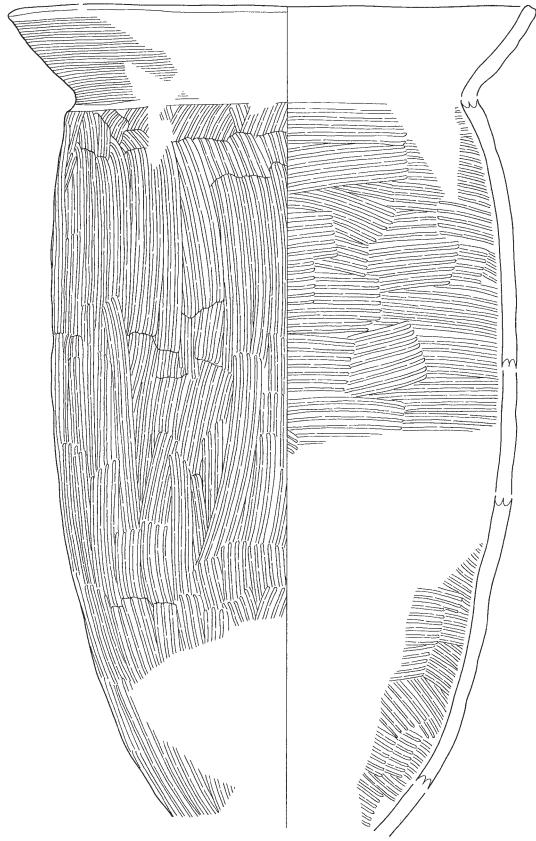
009 土師器球胴甕-RA652-床面 (No.12)



010 土師器球胴甕-RA652-床面 (No.13)

0 1 : 3 10cm

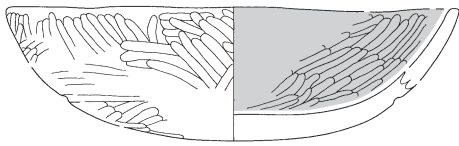
第45図 台太郎遺跡第72次調査RA652出土土器 (2)



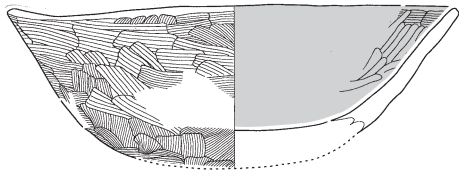
011 土師器壺-RD2140-A1・2層

0 1:3 10cm

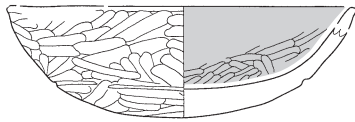
第46図 台太郎遺跡第72次調査RD2140出土土器



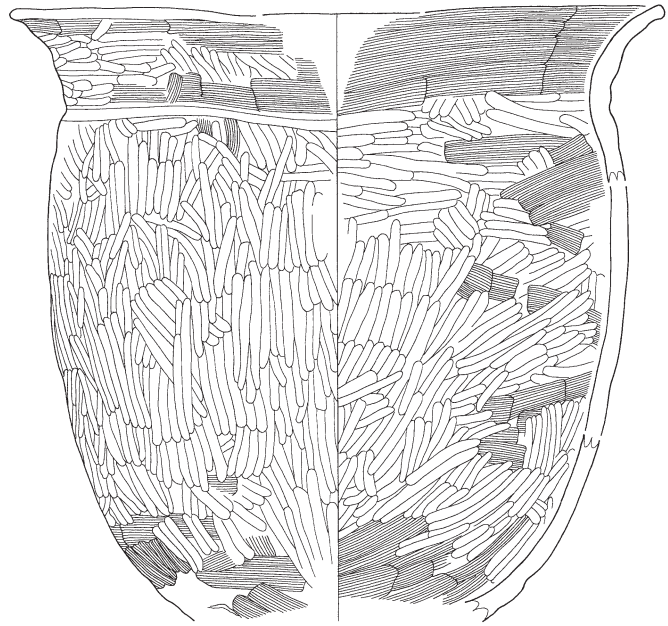
012 土師器坏-RA661-B層



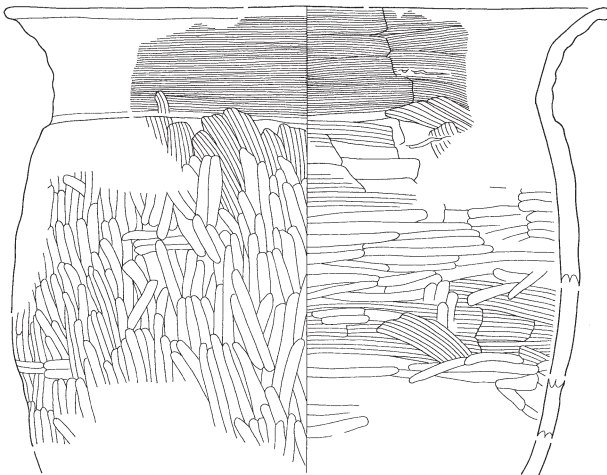
013 土師器坏-RA661-L層



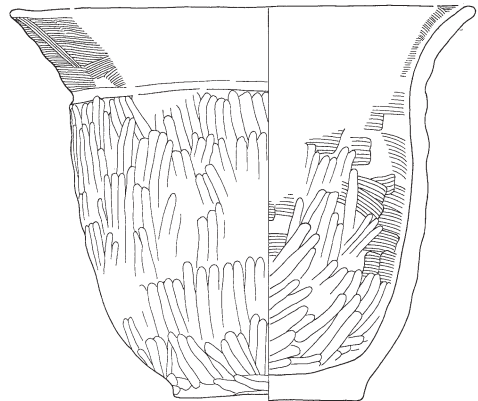
014 土師器坏-RA661-床面 (No2)



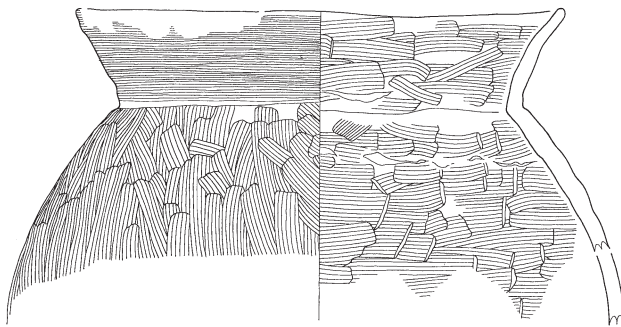
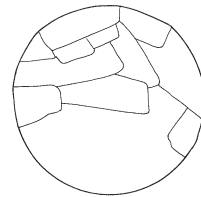
015 土師器甕-RA661-床面



016 土師器甕-RA661-A1層



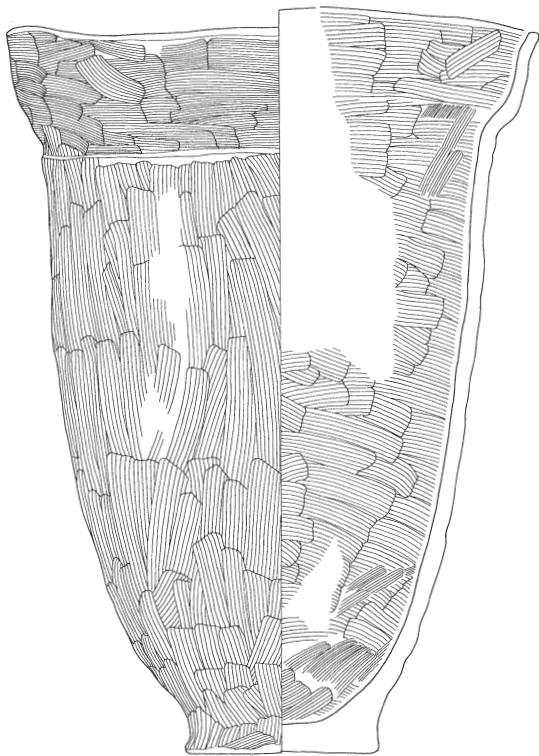
017 土師器甕-RA661-床面 (No5・6)



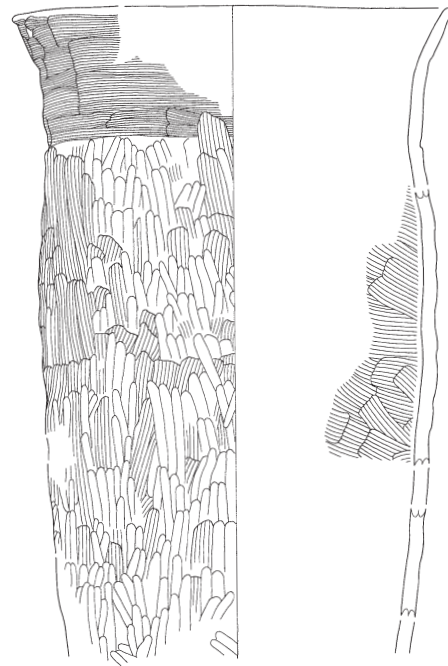
018 土師器球胴甕-RA661-床面 (No1)

0 1:3 10cm

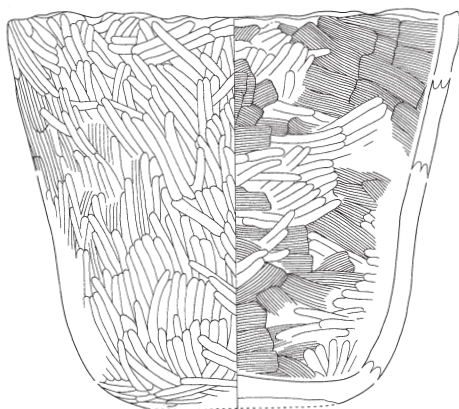
第47図 台太郎遺跡第74次調査I区RA661出土土器



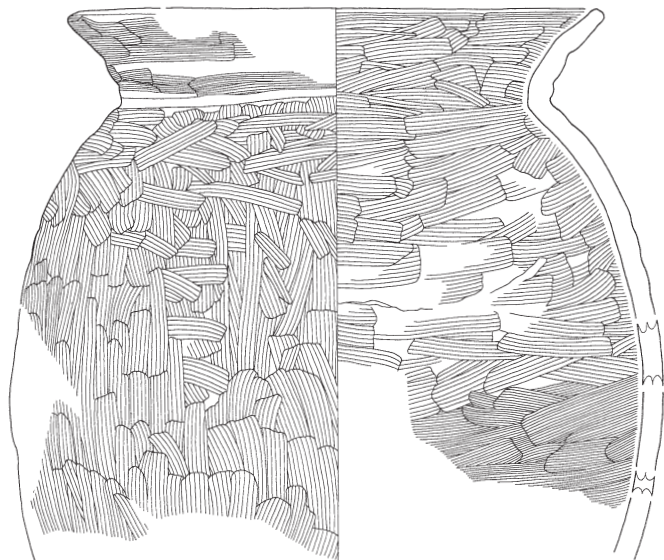
019 土師器甕-RA662-A層



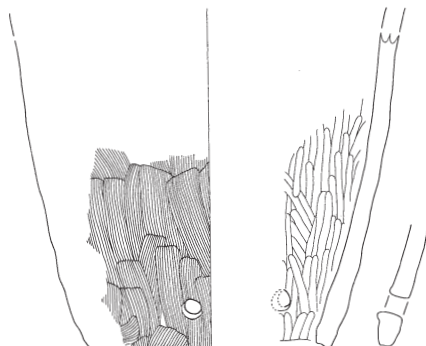
020 土師器甕-RA662-A層



022 土師器鉢-RA662-A層



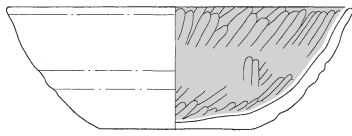
021 土師器球胴甕-RA662-A層



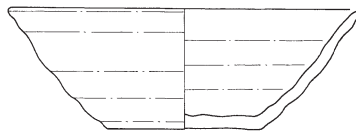
023 土師器甗-RA662-B層

0 1:3 10cm

第48図 台太郎遺跡第74次調査 I 区 RA662出土土器



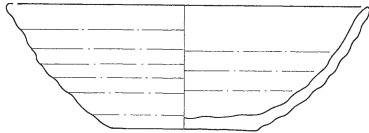
024 土師器環-RA664-C層



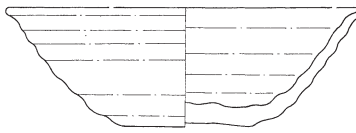
025 須恵器環-RA664-A層



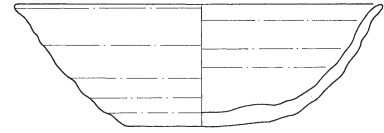
026 須恵器環-RA664-C層



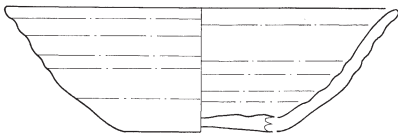
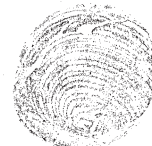
027 須恵器環-RA664-カマド左袖J層



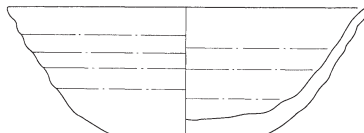
028 須恵器環-RA664-B層



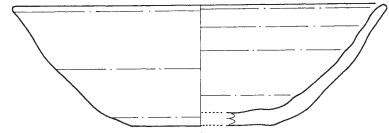
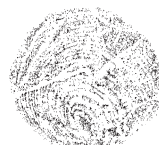
029 須恵器環-RA664-B層



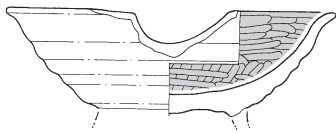
030 あかやき土器環-RA664-煙道カマド口J層



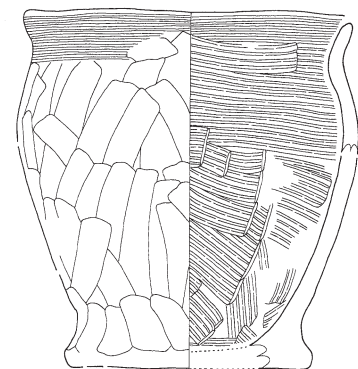
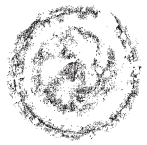
031 あかやき土器環-RA664-pit 1



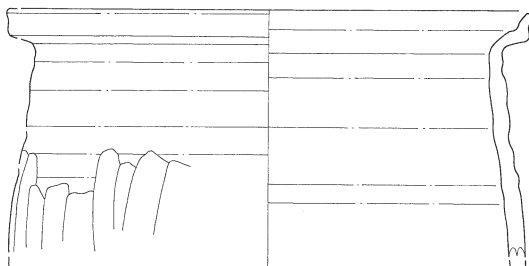
032 あかやき土器環-RA664-カマド左袖J層



033 土師器高台付環-RA664-B層



034 土師器小型甕-RA664-床面 (No.4)



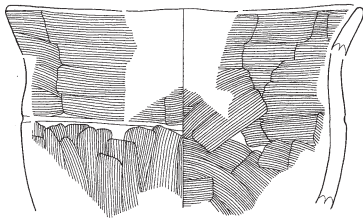
035 あかやき土器甕-RA664-床面 (No.1)

0 1 : 3 10cm

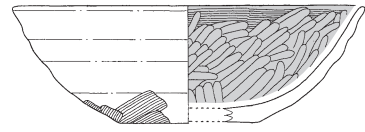
第49図 台太郎遺跡第74次調査 I 区 RA664出土土器



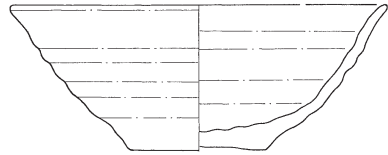
036 土師器甕—RA663—B3層



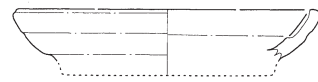
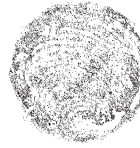
037 土師器甕—RA663—pit 5



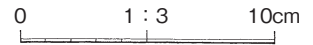
038 土師器杯—RA665—A層



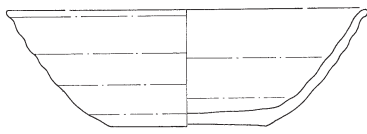
039 あかやき土器杯—RD2163—B層



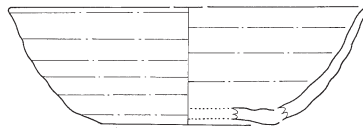
040 かわらけ—ピット



第50図 台太郎遺跡第74次調査 I 区 RA663・665, RD2163, ピット出土土器



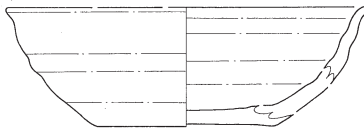
041 須恵器坏-RA666-L層



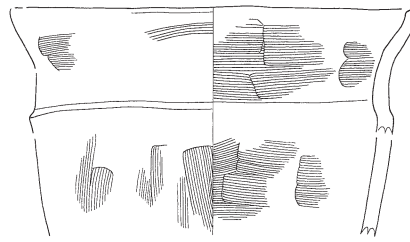
042 須恵器坏-RA666-L層



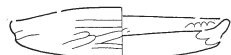
043 須恵器坏-RA666-床面



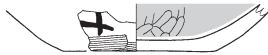
044 あかやき土器坏-RA666-pit2



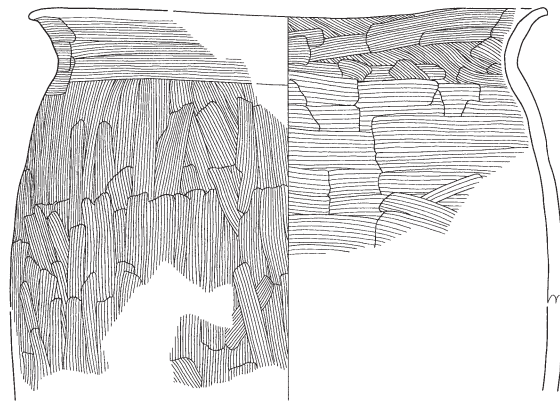
045 土師器甕-RA666-L層



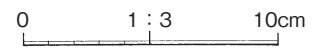
046 かわらけ-RG273-D2層



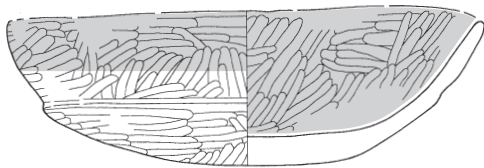
047 土師器坏-RG461-B層-墨書「+」



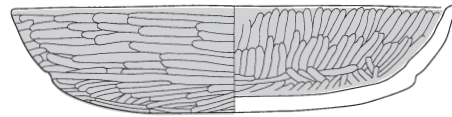
048 土師器甕-ピット



第51図 台太郎遺跡第74次調査Ⅱ区RA666, RG273・461, ピット出土土器



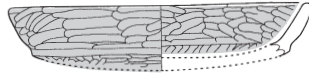
049 土師器坏-RA667-B層



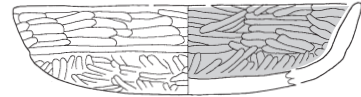
050 土師器坏-RA667-B層



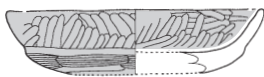
051 土師器坏-RA667-B層



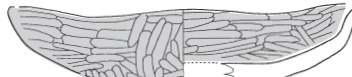
052 土師器坏-RA667-B層



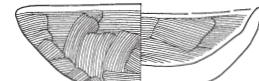
053 土師器坏-RA667-床面 (No.3)



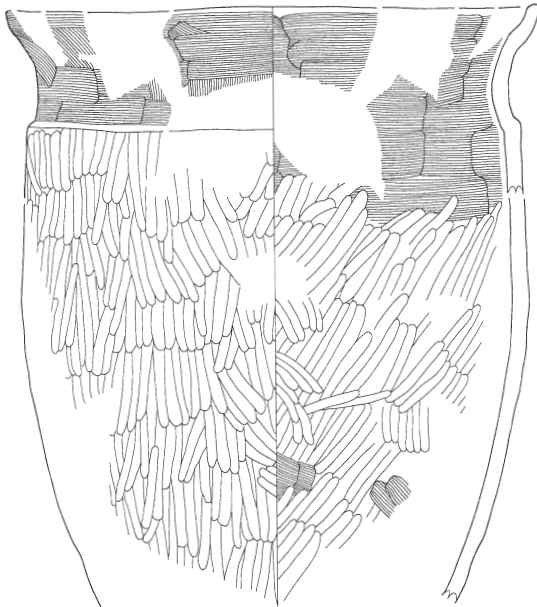
054 土師器坏-RA667-A2層



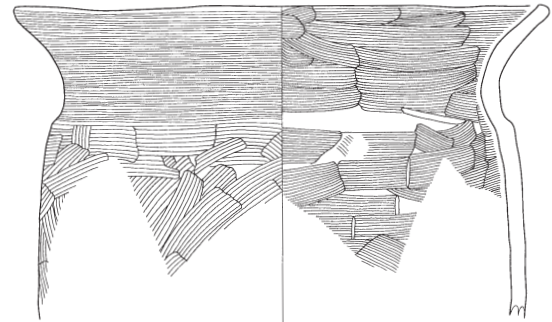
055 土師器坏-RA667-pit5



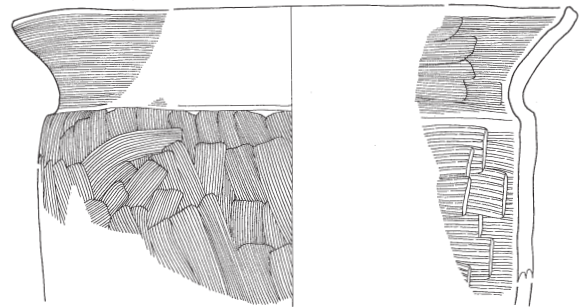
056 土師器小型坏-RA667-床面 (No.4)



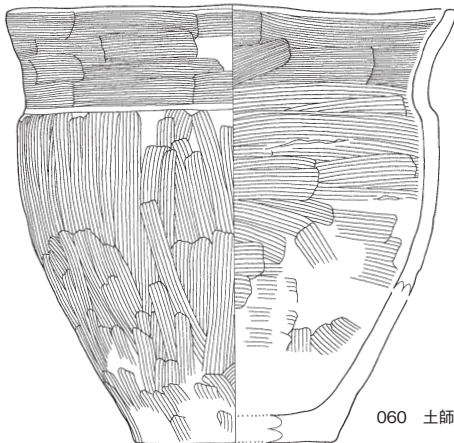
057 土師器甕-RA667-A1層



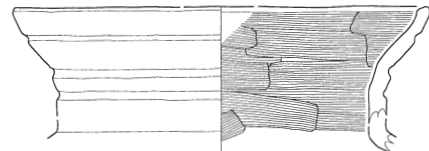
058 土師器甕-RA667-床面 (No.1)



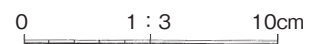
059 土師器甕-RA667-pit18



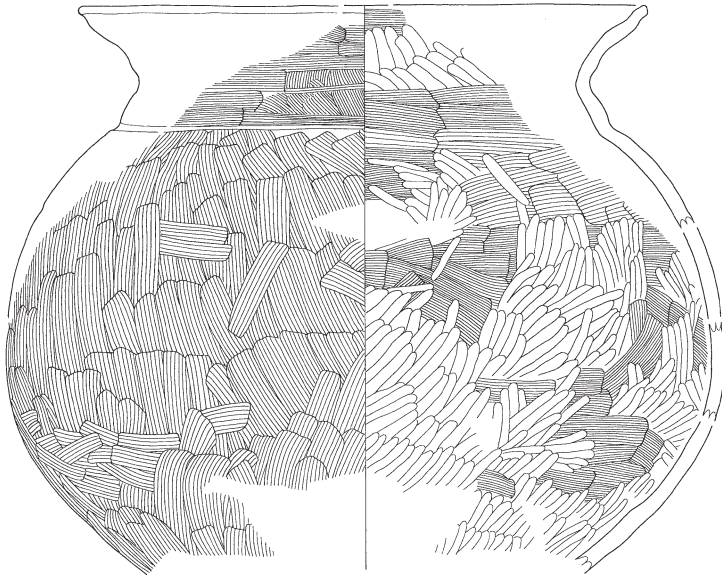
060 土師器甕-RA667-床面 (No.1)



061 土師器甕-RA667-床面 (No.2)



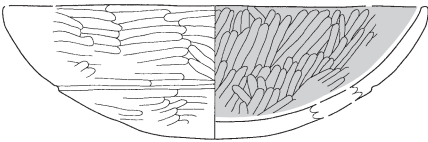
第52図 台太郎遺跡第74次調査Ⅲ区RA667出土土器



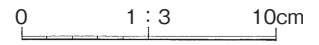
062 土師器球胴甕—RA667—床面 (No.6)



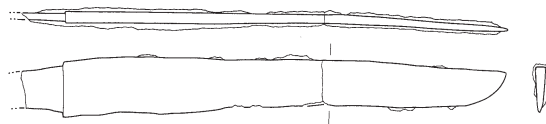
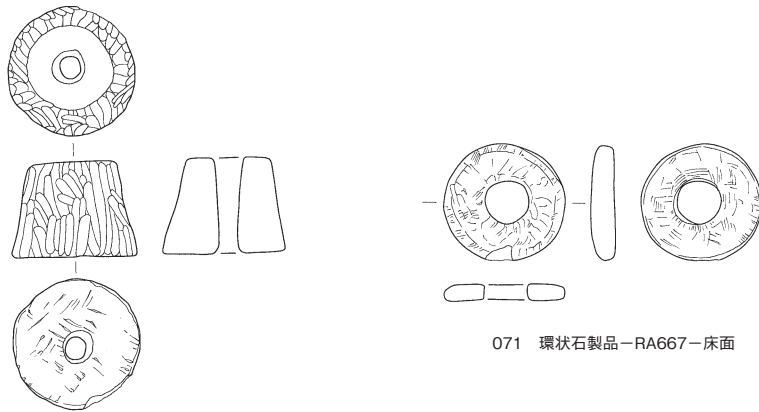
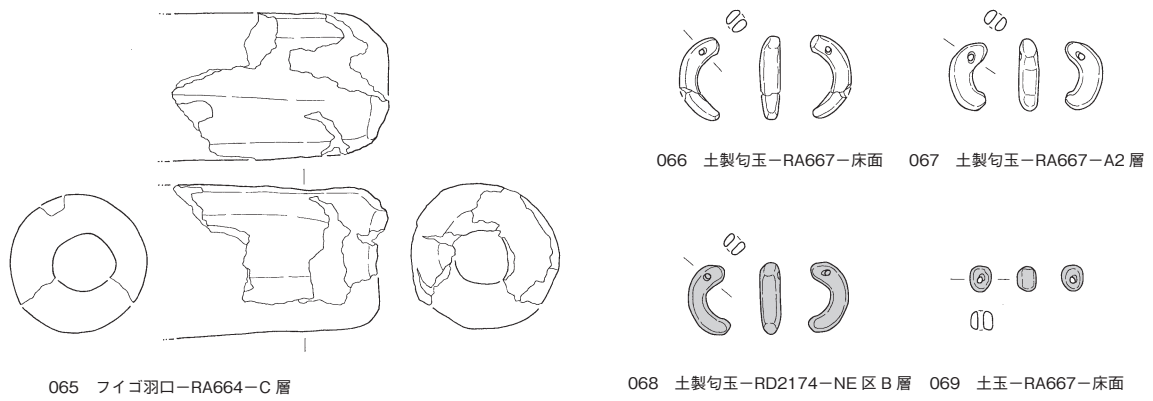
063 土師器小型壺—RA667—A2層—赤彩



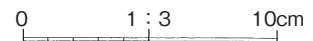
064 土師器环—RD2175—F層



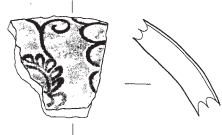
第53図 台太郎遺跡第74次調査Ⅲ区RA667, RD2175出土土器



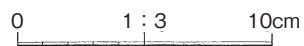
072 刀子-RD2176-C1層



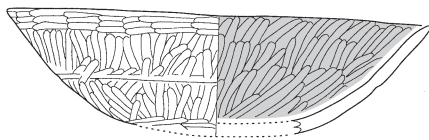
第54図 台太郎遺跡第74次調査Ⅰ区・Ⅲ区出土土製品・石製品・鉄製品



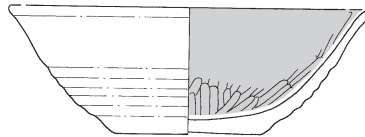
090 古瀬戸灰釉壺-RA664-A層



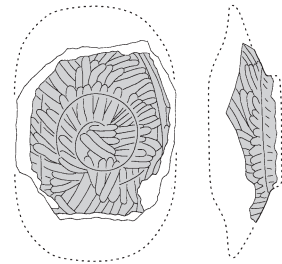
第55図 台太郎遺跡第74次調査Ⅰ区出土中世陶器



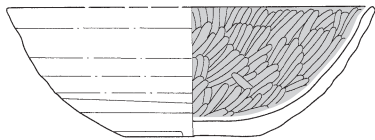
073 土師器坏-RA032-pit5



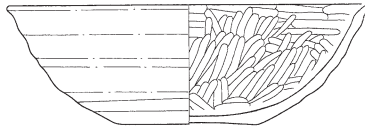
074 土師器坏-RA032-床面 (No.28)



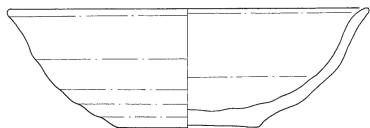
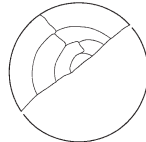
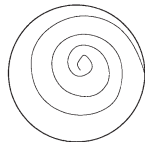
077 土師器耳皿-RA032-床面



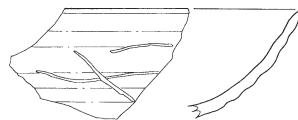
075 土師器坏-RA032-床面 (No.49)



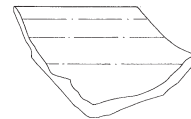
076 土師器坏-RA032-床面 (No.4)



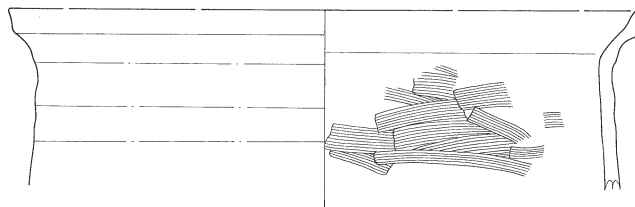
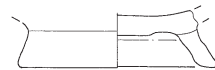
078 あかやき土器坏-RA032-床面 (No.2)



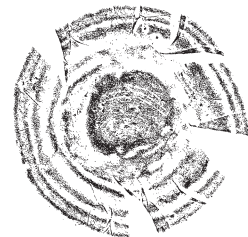
079 あかやき土器坏-RA032-床面 (No.42)-刻書「×」



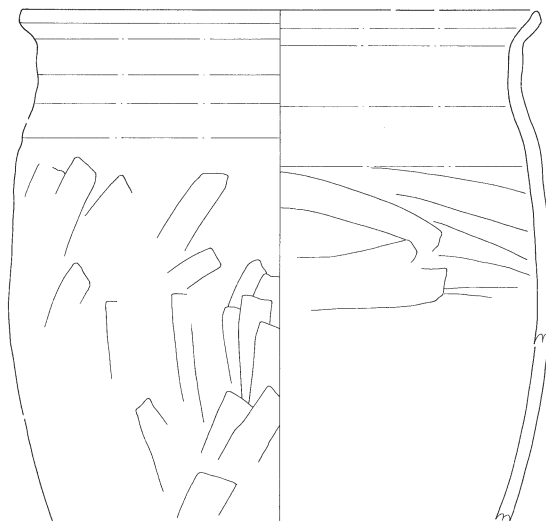
080 あかやき土器小型坏-RA032-床面 (No.6)



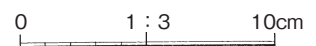
082 あかやき土器甕-RA032-床面 (No.19)



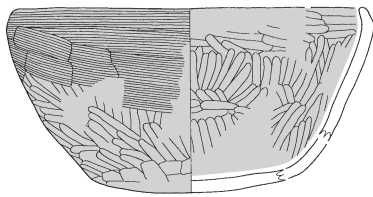
081 あかやき土器高台付坏-RA032-床面 (No.3)



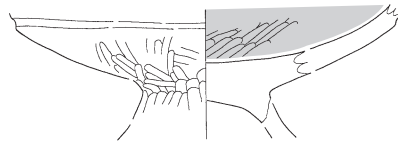
083 あかやき土器甕-RA032-床面 (No.1)



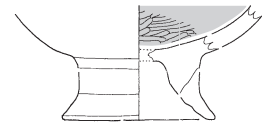
第56図 飯岡沢田遺跡第13次調査RA032出土土器



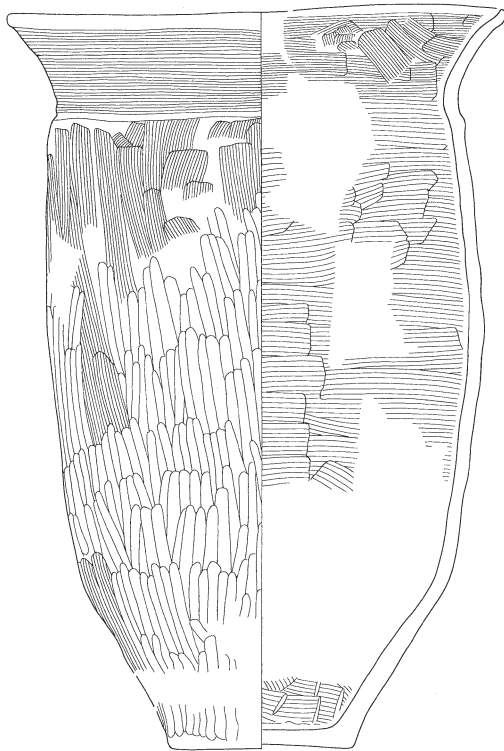
084 土師器碗—RA033—B層 (No.7)



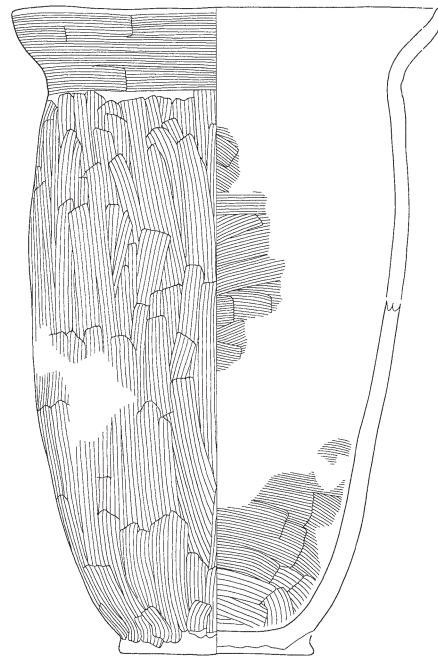
085 土師器高台付杯—RA033—B層 (No.3)



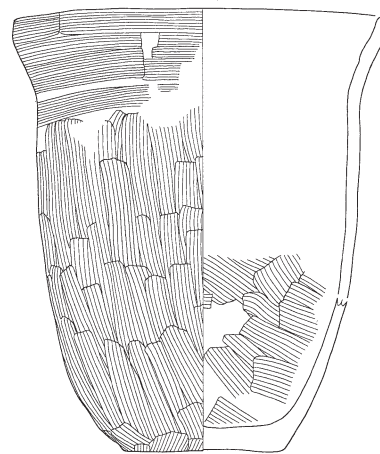
086 土師器高台付杯—RA033—B層 (No.5)



087 土師器甕—RA033—B層 (No.11)



088 土師器甕—RA033—床面 (No.1)



089 土師器甕—RD162—B層

0 1:3 10cm

第57図 飯岡沢田遺跡第13次調査RA033, RD162出土土器

写 真 图 版



第1図版 盛南開発地区航空写真（平成24年（2012）撮影，上：垂直，下：北から）



調査区全景（北から）



調査区全景（西から）

第2図版 台太郎遺跡第72次調査（1）



RA652竪穴建物跡（南から）



RA652竪穴建物跡
遺物出土状況（西から）



RA652竪穴建物跡
土師器球胴甕出土状況



調査区全景（北から）

第4図版 台太郎遺跡第74次調査I区（1）



調査区全景（南から）



調査区全景（西から）

第5図版 台太郎遺跡第74次調査I区(2)



RA661 竪穴建物跡（南東から）



カマドと煙道



土師器球胴甕出土状況



RA662竪穴建物跡（南から）



カマドと煙道



土器出土状況



RA664竪穴建物跡（南から）



カマドと煙道（新期）



繊維状炭化物



RA663 竪穴建物跡（南東から）



RA665 竪穴建物跡（東から）

第9図版 台太郎遺跡第74次調査 I 区 (6)

RG424W堀跡北部土層断面
(南から)



RG424W堀跡南部土層断面
(南東から)



RG424E堀跡土層断面
(東から)



第10図版 台太郎遺跡第74次調査 I 区 (7)



調査区全景（南東から）



調査区全景（北西から）

第11図版 台太郎遺跡第74次調査Ⅱ区（1）



RA666竪穴建物跡（南西から）



RA666竪穴建物跡
須恵器坏出土状況



RA666竪穴建物跡
鉄製品出土状況



RG273・461堀跡（南東から）



RG273堀跡北端部土層断面（南から）



RG273堀跡中央部土層断面（南から）



RG273堀跡北部D2層かわらけ出土状況



RG273堀跡南端部土層断面（北から）



RG461堀跡（南東から）



RG461堀跡西部土層断面（東から）



調査区北部全景（南から）



調査区南部全景（南から）

第14図版 台太郎遺跡第74次調査Ⅲ区（1）



RA667 竪穴建物跡（南東から）



主柱穴位置



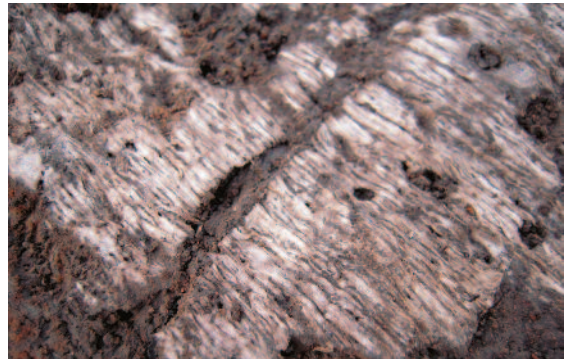
カマドと煙道



p4 底面柱圧痕



貯蔵穴付近土器出土状況



RA667竪穴建物跡床面出土布状製品（右：拡大）



p4出土石製紡錘車（右：拡大）



床面出土土製勾玉



床面出土土玉



床面出土環状石製品

第16図版 台太郎遺跡第74次調査Ⅲ区（3）



調査区南東部土坑墓群



RD2174土坑墓（西から）



RD2175土坑墓（北東から）



RD2176土坑墓（東から）



RG461S堀跡（南東から）



RG461S堀跡土層断面（南東から）



RG461N堀跡（南西から）



調査区北部全景（北西から、手前は野古A遺跡県埋文第30次調査区）

第18図版 飯岡沢田遺跡第13次調査（1）



調査区北部全景（南東から）



調査区北部全景（南西から）

第19図版 飯岡沢田遺跡第13次調査（2）



RA032竪穴建物跡（西から）



カマドと煙道



遺物出土状況



煙道底面土器出土状況（左）、土師器坏出土状況（右）



RA033竪穴建物跡（南東から）



カマドと煙出し



RD162土坑（北から）



遺物出土状況



調査区南部全景（東から）



RD165～169土坑（北東から）

第22図版 飯岡沢田遺跡第13次調査（5）



第72次調査R A652出土土器



001 土師器坏-R A652



002 土師器坏-R A652



003 土師器坏-R A652



004 土師器坏-R A652



006 土師器甕-R A652



008 土師器甕-R A652



005 土師器高台付埴-R A652

第23図版 台太郎遺跡出土遺物(1)



009 土師器球胴甕－R A652



010 土師器球胴甕－R A652



第74次調査 I 区R A661出土土器

第24図版 台太郎遺跡出土遺物 (2)



第74次調査 I 区 R A664出土土器



第74次調査 I 区 R A667出土土器

第25図版 台太郎遺跡出土遺物 (3)



012 土師器坏-R A661



013 土師器坏-R A661



014 土師器坏-R A661



017 土師器甕-R A661



018 土師器球胴甕-R A661

第74次調査 I 区



019 土師器甕-R A662



021 土師器球胴甕-R A662



022 土師器鉢-R A662



023 土師器甕-R A662

第26図版 台太郎遺跡出土遺物(4)



024 土師器坏-R A664



025 須恵器坏-R A664



026 須恵器坏-R A664



027 須恵器坏-R A664



028 須恵器坏-R A664



029 須恵器坏-R A664



030 あかやき土器坏-R A664



031 あかやき土器坏-R A664



032 あかやき土器坏-R A664



033 土師器高台付坏-R A664



034 土師器小型甕-R A664



036 土師器甕-R A663



039 あかやき土器坏-RD2163



040 かわらけ-ピット

第74次調査 I 区



043 須恵器坏-R A666



044 あかやき土器坏-R A666



046 かわらけ-R G273



048 土師器甕-ピット

第74次調査Ⅱ区

第74次調査Ⅲ区



049 土師器坏-R A667



050 土師器坏-R A667



051 土師器坏-R A667



053 土師器坏-R A667



055 土師器坏-R A667



056 土師器小型坏-R A667



057 土師器甕-R A667



059 土師器甕-R A667



060 土師器甕-R A667

第28図版 台太郎遺跡出土遺物(6)

047 墨書「+」(土師器坏)
第74次調査Ⅱ区RG461



063 赤彩(土師器小型壺)
第74次調査Ⅲ区RA667



土製品（第74次調査Ⅰ区RA664）
フイゴ羽口（065）



土製品・石製品
（第74次調査Ⅲ区RA667）
土製勾玉（066, 067）
土玉（069）
環状石製品（071）
石製紡錘車（070）



鉄製品・土製品（第74次調査Ⅲ区）
刀子（072, RD2176）
土製勾玉（068, RD2174）



第30図版 台太郎遺跡出土遺物（8）



近世陶磁器（第72次調査Ⅱ区）
 肥前染付湯呑碗・輸花皿・碗蓋
 肥前瑠璃釉碗，肥前京焼風陶器皿
 瀬戸美濃染付湯呑碗
 瀬戸美濃灰釉植木鉢
 大堀相馬系灰釉鉄釉かけわけ猪口
 （18～19世紀）



中世陶器（第74次調査Ⅰ区）
 古瀬戸灰釉壺（瓶子）：
 窖窯Ⅲ期（13世紀末～14世紀）
 常滑捏鉢（12世紀）
 瓷器系大甕（12～13世紀）

近世磁器（第74次調査Ⅰ区）
 肥前染付碗・茶碗（18～19世紀）

第31図版 台太郎遺跡出土遺物（9）



第13次調査R A032出土土器



073 土師器坏-R A032



075 土師器坏-R A032



076 土師器坏-R A032



078 あかやき土器坏-R A032



080 あかやき土器小型坏-R A032



083 あかやき土器甕-R A032



077 土師器耳皿-R A032



084 土師器碗-R A033



087 土師器甕-R A033



088 土師器甕-R A033



079 刻書「×」(あかやき土器坏)
第13次調査R A032

報告書抄録

ふりがな	せいなんちくいせきぐんはつかつちょうさほうこくしょ 8							
書名	盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅶ							
副書名	盛南南新都市開発整備事業関連遺跡平成22～24年度発掘調査① 台太郎遺跡・飯岡沢田遺跡・夕覚遺跡							
編著者名	津嶋知弘							
編集機関	盛岡市遺跡の学び館（刊行：独立行政法人都市再生機構・盛岡市・盛岡市教育委員会）							
所在地	〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13番地1 電話 019-635-6600							
発行年月日	2016年9月30日							
ふりがな	ふりがな	コード	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因	
所収遺跡名(略号)	所在地	市町村	遺跡番号	(世界測地系)		(㎡)		
台太郎遺跡 (ODT)	岩手県盛岡市向中野 1・2・5丁目	03201	LE16-2296	39° 40' 57"	141° 08' 25"	71次：2010.8.9-8.18 72次：2010.10.21-12.17 74次：2011.5.30-11.11 75次：2012.11.22 76次：2013.3.02-3.13	1,310 506 1,120 21 177	土地区画整理事業等
飯岡沢田 (ISD)	岩手県盛岡市向中野 3丁目, 北飯岡1丁目	03201	LE16-2169	39° 40' 42"	141° 8' 13"	13次：2010.6.1-8.10	5,730	
夕覚 (IYK)	岩手県盛岡市北飯岡3・ 4丁目, 飯岡新田5地割	03201	LE16-2169	39° 40' 8"	141° 8' 12"	7次：2010.9.9-9.17 10次：2011.11.28	894 264	
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物	特記事項	
台太郎71次	集落	古代		堅穴建物跡, 土坑, 溝跡等			試掘確認 (一部保存)	
台太郎72次	集落	古代以降		堅穴建物跡1, 土坑1 堅穴状遺構2, 土坑5, 溝跡4, ピット		土師器 土師器, 近世陶磁器		
台太郎74次Ⅰ区	集落	古代	古代以降	堅穴建物跡5, 土坑10 溝跡2, 方形周溝1		土師器, 須恵器, あかやき土器 フイゴ羽口		
		中世		堀跡2, ピット		土師器, 須恵器, あかやき土器, 常滑, 瓷器系陶器, 肥前染付 かわらけ, 古瀬戸灰釉壺		
台太郎74次Ⅱ区	集落	古代	古代末	堅穴建物跡1 堀跡1		土師器, 須恵器, あかやき土器 かわらけ		
		古代以降		土坑1, 溝跡2, ピット		土師器, 須恵器, 墨書土器「十」		
台太郎74次Ⅲ区	集落	古代	古代末	堅穴建物跡1, 土坑墓3 堀跡1		土師器, 土製勾玉, 土玉, 石製紡錘車, 環状石製品, 刀子		
		古代以降		土坑2, 溝跡1, ピット				
台太郎75次	集落			なし			試掘確認	
台太郎76次	集落	古代		堅穴建物跡, 溝跡など		土師器, 須恵器など	試掘確認 (本調査)	
飯岡沢田13次	集落	古代		堅穴建物跡2, 堅穴状遺構1, 土坑11, 溝跡2		土師器, 須恵器, あかやき土器, 刻書土器「×」		
夕覚7次	集落			なし				
夕覚10次	集落			なし				
要約	<p>盛南地区遺跡群は、平安時代初頭の延暦22年(803)に朝廷が造営した古代城柵「志波城」の南東方に位置し、7世紀より続く一大勢力「志波エミシ」が10世紀まで拠点とした古代集落群が主に確認されている。</p> <p>本書掲載のうち、盛南地区遺跡群で最大規模の古代集落である台太郎遺跡では、計8棟の堅穴建物跡(住居)を精査し、多くの遺物が出土しており、遺跡中央部及び東部の集落の様相を明らかにすることができた。また、遺跡東部に位置する不整形の区画の堀について、埋土下層よりかわらけが出土したことにより、古代末の12世紀中葉～後葉の年代であることが明らかとなった。また、不整形で一部二重に堀が囲む中世の居館跡の南西部において、二重区画の内側にあたる古い時期の堀のコーナー部分を確認することができた。</p> <p>台太郎遺跡の西方に位置する飯岡沢田遺跡では、古代の堅穴建物跡(住居)2棟を精査し、過年度の調査成果と合わせ、遺跡の西半部が古代集落の閑散とした縁辺部であったことが明らかとなった。</p>							

盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅷ

— 盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡平成22～24年度発掘調査① —
台太郎遺跡・飯岡沢田遺跡・夕覚遺跡

平成28年9月30日

編集 盛岡市遺跡の学び館

〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13-1

電話 019-635-6600 ファクス 019-635-6605

E-mail iseki@city.morioka.iwate.jp

URL <http://www.city.morioka.iwate.jp/>

発行 独立行政法人都市再生機構

盛岡市・盛岡市教育委員会

印刷 河北印刷株式会社

〒020-0015 岩手県盛岡市本町通2-8-7

〈表紙の色〉

浅緋（うすきひ）：奈良・平安時代の律令国家では、儀式において官人は位階に応じた色の袍（ほう：ロングジャケットのようなもの）を着用しました。浅緋は、五位の色でした（延喜式等）。

